

第九十回帝國議會 臨時物資需給調整法案委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
商工協同組合法案(政府提出)
昭和二十一年九月二十六日(木曜日)午前十時二十四分開議

出席委員
委員長 竹田 儀一君
理事加藤 一雄君 理事小島 徹三君
理事塚田 十一郎君 理事原 健三郎君
理事宮前 進君 理事西村 榮一君
理事前田 榮之助君 理事高川 芳雄君
理事正田 敏男君 理事福田 繁男君
安部 俊吾君 井田 友平君
飯國 壯三郎君 西村 久之君
厚東 常吉君 田中源三郎君
田中 實司君 瀧澤 修作君
山田 善三君 馬越 晃君
金光 義邦君 九鬼紋十郎君
早稻田 實徳門君 鈴木 明良君
川崎 秀二君 澤田 富士君
金子益太郎君 竹谷源太郎君
中崎 敏君 山口 靜江君
加藤 勘十君 東 隆君
稲田 健治君 駒井 藤平君
伊藤 恭一君 戸叶 里子君
布 利秋君

出席國務大臣
商工大臣 星島 二郎君
出席政府委員
內閣事務官 橋井 眞君
商工事務官 小林 鏡君
商工參事官 小柴 敬治君
商工事務官 吉田 二郎君
商工事務官 松田 太郎君
商工事務官 池田 欽三郎君
商工事務官 小出 榮一君

本日ノ會議ニ付シタ議案
商工協同組合法案(政府提出)
○前田委員長代理 會議ヲ開キマス
布君

○布委員 私ノ質問ノ申込ミガ凡ソ順番モ來テ居ルト思ヒマスノデ、組合ニ對シマスル簡條書ノ性質問フ一ツ許シテ戴キタイト思ヒマスガ如何デスカ
(委員長著席、前田委員長代理退席)

○竹田委員長 加藤一雄君ニ對スル答辯ガ殘ッテ居リマスカデ……
○池田(欽)政府委員 先般加藤委員カラ御質問ノゴザイマシタ石油ノ配給機構ノ問題デケリマスルガ、將來ノ問題ト致シマシテ、需給調整法ガ成立致シマスレバ、ソレニ依リマシテ、原油ニ付キマシテハ採掘權者カラ一手ニ原油會社ガ買取り、ソレヲ商工大臣ノ指示スル方法ニ依リマシテ、ソレハ製油業者ニ配給スル、サウシテソレデ出來マシタモノハ、總テ是レ亦商工大臣ノ指示ニ依リマシテ、石油配給會社ニ賣渡シマシテ、ソコカラ政府ノ立テマシタ計畫ニ依リマシテ、販賣業者ヲ通ジテ消費者ニ流スト云フヤウナ建前デヤッテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤(一)委員 其ノ場合ニ外國ノ原油ガ來マシタゾドウナリマスカ
○池田(欽)政府委員 只今ノ所、原油ノ輸入ニ付キマシテハ聯合軍ノ方ニ申請ラシタノデアリマスガ、現在ノ所其ノ輸入ラシナイト云フヤウナコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、我が國ノ事

情ト致シマシテ、原油ノ輸入ト云フ問題ハ非常ニ重要デアリマスノデ、之ニハ出來ルダケノ努力ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、假ニ原油ガ輸入サレマシタ場合ニドウスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、現在貿易關係ニ出來テ居リマス所ノ輸入協會デ扱フカ、或ハ又其ノ他ノ方法ニ依ルカ、其ノ時ニナリマシテ決定ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○加藤(一)委員 ソレデハ是ハ政府ニ大變ナ「ミス」ガアルヤウニ思ヒマス、僅カ三十萬「キロ」ノ國內原油ニ對シテ、原油輸送株式會社ヲ作ラナケレバナラヌ理由ガ何處ニアリマスカ、御答辯願ヒマス

○池田(欽)政府委員 原油ニ付キマシテ、現在ノ生産量ハ御話ノヤウニ二十五、六萬「キロ」、三十萬「キロ」弱デアリマスガ、ソレハ帝國石油採掘シテ居ルモノガ大部分デアリマス、其ノ他ニ中小企業業者ガ採掘致シマス分モ多少アルノデアリマスガ、其ノ原油ノ配給ヲ統制致シマシテ、横ニ流レナイヤウニ、政府ノ計畫ニ從ッテ流レルヤウナコトニシナケレバナラヌト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤(一)委員 左様ニ考ヘルコトモ考ヘラレマスガ、今御提案ニチツテ居ル商工協同組合法云フモノハ、何ノ爲ニ作ッテ居ルノデスカ、モット詳細ニ言ヒマス、零細ナル石油業者ヲ商工協同組合法デ組合ヲ結成サセル、横ニ流レヌ方法ハ民主的ニ何ボデモアルデ

ハナイカ、何モ戰時中ニ出來タ型ヲ其ノ儘踏襲シテ、原油輸送株式會社ノ如キモノヲ今日僅ク必要ハ毛頭ナイト思フ、而モ日本石炭ガ昨日ノ新聞ニ依レバ、商工大臣ハ是ノ速カニ廢メルト仰シヤッテ居ル、斯ウ云フ御宣託ガ出テ居ル、然ルニ三十萬「キロ」ニ足ラヌ石油ヲ相手ニ、國內デ原油輸送株式會社ト云フモノヲ作ラレル、昔石油界ニ働イテ居ッタ人間ノ失業救済ナラザラズ、ソレデナカッタラ、此ノ原油輸送株式會社ノ如キハ即日廢止シテ然ルベキデアルト私ハ思ヒマスガ、如何デスカ

○池田(欽)政府委員 原油輸送會社ハ、御承知ノ通り戰時中原油ノ貯藏配給ヲスルト云フヤウナ目的ヲ以テ出來タノデアリマスガ、終戰後ハ其ノ輸送方面ヲ擔當致スモノト致シマシテ、協同輸送會社、ソレカラ其ノ他ノ仕事ヲ致シマス爲ニ協同企業ト云フ會社ニ分レタノデアリマスガ、協同企業ノ會社ニ付キマシテハ、戰時中原油ノ貯藏ト云フ目的ガナクナリマシタノデ、ソレヲ解散スルコトニ致シマシテ、現在其ノ清算ヲ進メテ居リマシテ、近ク其ノ手續ガ済ムモノト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ原油ノ輸送ヲ致シマス面ニ付キマシテハ、先般申シマシタヤウニ、帝國石油其ノ他カラ出マスモノヲ、從來一括シテ扱ッテ居リマシタ經驗モアリ、此ノ石油ノ統制モ暫定的ノ措置デアリマスノデ、暫ク此ノ機構ヲ使ヒマスコトガ、仕事ヲ「スムース」ニヤリマス上ニ於テ適當デハナイカト云

フヤウナコトニ依リマシテ、現在サウ云フヤウナコトデ以テ進ンデ居ルノデアリマス

○加藤(一)委員 モウ一點御尋ネ致シマス、私ハドウモアナタノ御説明ニ納得ガ行キマセマスガ、要スルニ石炭ニ對シテモ、商工大臣ハ昨日「コークス」石炭ノ委員會デ重大發言ヲサレテ居ル、油ノ問題ニ付キマシテ、政府ガ自ラ計畫ヲ立テテ橫流シテ防グ方法ハ何ボデモアルト思ヒマス、左様致シマスレバ非常ニ「スムース」ニ物ガ運ンデ、而モ原價ハ安クナル、消費者ガ非常ニ便利アルト云フコトヲ御考ヘナサレテ然ルベキモノト思ヒマス、今ノ狀態ヲ見マシテ、石油統制配給株式會社ガ石油ノ關係ヲ今日圓滑ニヤッテ居ルト思ヒマス、ソレハ大間違ヒデアリマス、聯合軍ノ作用ガ加ヘテ居ルガ故ニ旨ク行ッテ居ル、アンナ處大ナ組織デ、日本ノ石油ガ旨ク行クト思ッたら大間違ヒデアリマス、アナタガ御案內ノ通り、「スタンダード」ノ組織ヲ御覽ニナリマス、直ク御分リニナリマスガ、「マノーチャー」ガ居リマシテ、「タイプ」ガアリ、電話ガアル、人ガ話スル「タイプ」デ直ク打ッ、電話ヲ掛ケル、次第ガソレヲ受次イデ世界各國ニ資料ヲ散布スル、二人カ三人デ出來ル譯デアリマス、アノ大キナ處大ナル組織ヲ以テ廻ッテ居ルノハ聯合軍ノ作用デアリマス、ソレヲ御考ヘニナリマスレバ、原油輸送會社ノ如キハ一日モ早クナクシテ、經濟安定本部ガ出來ルナリ、ソコデ計畫立案ヲシテ、而モ下部

組織ハ民主的ニ組織セラレタモノデヤ
ツテ行クノガ、一番私ハ良イ方法ダト
思ヒマス、何ノ爲ニ經濟安定本部ヲ作
ルカ、一體何ノ爲ニ商工協同組合法案
ヲ御出シナリマスルカ、少シ御考ヘ
ナサヌト困ルと思ヒマス、其ノ點ハ
如何ナモノデセウカ

○池田(欽)政府委員 先程申シマシタ
ヤウニ、横流レノ防止ト云フコトノ爲
ニ、原油會社ヲ以テ一手ニヤルト云フ
ヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、ソレハ飽クマデモ暫定的ナ方法デ
アリマシテ、其ノ他ノ方法ヲ以テマシ
テ其ノ弊害モ防グルト云フヤウナ目安
モ付キマスレバ、サウ云フ方法ニ付キ
マシテモ研究ヲ致シテ見タイ、斯様ニ
考ヘテ居リマス

○加藤(一)委員 然ラバ其ノ問題ニ付
キマシテハ是デ質問ヲ打切りマスガ、
速カニ石油ノ根本對策ヲ立テラレマシ
テ、將來國交ガ調整セラレ、原油ガ外
國カラ來ルカ來ナイカ分リマセヌガ、
戴カナケレバ日本ハヤリ切レマセヌカ
ラ、七ツノ石油會社モ今日アルノデア
リマスルカラ、其ノ方面ニ政府モ努力
セラレルト共ニ、ソレヲ勘案セラレ
デ、石油ノ配給其ノ他ノ機構ヲ連カ
ニ、根本的ニ確立セラレントウ希望
致シテ置キマス、次ノ議會ニ又質問致
シマス

○池田(欽)政府委員 石油ノ配給機構
ニ付キマシテハ、現在石油配給會社ニ
付キマシテ色々批判モ行ハレテ居ルノ
デアリマシテ、我々モ十分ソレヲ承知
致シテ居リマス、其ノ機構ナリ陣容ナ
リ、又下部組織ナドニ付キマシテ現在
檢討ヲ致シテ居ルノデアリマス、先般
ノ總會ニ於キマシテ、一部陣容ノ更迭
モ見タノデアリマス、又下部機構ト致

シマシテ、石販聯ノ支部ト、ソレカラ
石油配給統制會社ト出張所トノ間ノ關
係ヲドウスルカ云フ問題ニ付キマシ
テモ、具體的ニソレヲ取上ゲマシテ、
只今折衝ヲ致シテ居ルノデアリマス、
又配給方法ノ民主化ト云フ點ニ付キマ
シテモ、部門別ノ割當ハ商工省ノ方デ
ヤルノデアリマスガ、其ノ際十分需
要方面ノ意見モ聽イテ、ソレヲ決メタ
イト考ヘテ居リマス、又地方ニ於キマ
シテ直接消費者ヘノ配分ニ付キマシテ
モ、地方ニ配給協議會ヲ作リマシテ、
需要方面其ノ他ノ意見ヲ十分聽キマシ
テ、民主的ナ方法ニ依リマシテ配給ヲ
致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、御話ノ點ハ十分承リマシテ、其
ノ改善ヲ促進致シタイ、斯様ニ考ヘテ
居リマス

○加藤(一)委員 ソレカラ此ノ間ノ質
問ノ中ニ、農山漁村ノ部面ニ七萬三千
「キロ」御渡シニナルカナラマカ聽イテ
居リマシタガ、アレハドウナツテ居リ
マスガ、配給「ルート」ノ關係デ、工礦
業ト農山漁村ノ關係ノ石油ノ配給ハ違
ツテ居リマセウ、農林省ハ年額七萬三
千「キロ」ヲヤツテ居リマスネ、アノ點
ハ爾今御續ケニナリマスガ

○池田(欽)政府委員 農林水産用ニ付
キマシテハ、現在農林省ト折衝致シマ
シテ、商工省ノ方デ其ノ粹ヲ決メ、消
費者向ノ割當ハ農林省ノ方デヤツテ居
ルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデ
アリマスガ、大體サウ云フヤウナコト
デヤツテ行キタイと思ツテ居リマス
○加藤(一)委員 是デ私ノ質問ヲ終リ
マス

○竹田委員長 加藤謝十君
○加藤(勸)委員 私ハ主トシテ中小工
業——此ノ組合法ハ商工協同組合法ト

ナツテ居リマスガ、商ノ方ハ暫ク別ニ
シマシテ、工業關係ノ事柄ニ付テ御尋
ネジタイと思ヒマス、第一點ハ、提案
ノ御説明ノ中ニモアリマシタヤウニ、
戰後ノ經濟再建ニ對シテ、戰時中軍事
の官僚的統制ノ爲ニ至メラレタ中小工
業、戰災ノ爲ニ著シイ災害ヲ受ケタ中
小工業、サウシテ戰後ノ日本經濟ニ占
ムル中小工業ノ重要性ノ故ニ、之ヲ如
何ニ正シイ道ニ發達セシメラカ、サウ
シテ又其ノ復興ヲ、如何ニスレバ急速
ニ自主的ニ行ハシメルコトガ出來ルカ
ト云フ建前デ、此ノ協同組合法案ガ立
案サレタモノト思フノデアリマスガ、
サウデアアルトスルナラバ、實際ノ問題
トシテハ、一片ノ組合法ガ出來タト云
フダケデハ、少シモ其ノ復興ヲ助成ス
ルコトニモ、又正シイ道ニ發達ヲ促進
スルコトニモナラナイと思フノデアリ
マス、之ニ對シテ、政府ハドウ云フ建
前カラ具體的ニ方法ヲ講ゼラレルカト
云フコトニナレバ、言フマデモナク、
中小工業ノ正シイ發達ト復興ノ爲ニ横
ハツテ居ル障礙ガ取除カレナケレバナ
ラヌト思フノデアリマス、障礙ヲ取除
クノ途ハ、具體的ニドウノ工業ニハドウ
云フ障礙ガアルカ、又何ヲ一番必要ト
シテ居ルカト云フ觀點ニ立ツテ見ラレ
ナケレバナラヌト思ヒマスルガ、私ハ
其ノ點ニ付キマシテ、第一ノ點ハ、勿
論工業ノ種類ニ依リマシテ様々ナ障礙
ガアルト思ヒマスガ、戰後ノ中小工業
ノ復興ハ、一番大キナ障礙トナツテ居ル
モノハ、言フマデモナク資材ノ不足、
是ガ一番大キナ問題ダト思フノデアリ
マス、ソレカラ今一ツハ金融ノ關係ダ
ト思ヒマス、隨テ私ハ此ノ際、其ノ二
ツノ點ヲ中心トシテ御尋ネ致シタイト
存ジマス、原料資材ノ不足ハ、絕對量

ガ非常ニ不足シテ居ルコトハ勿論言フ
マデモアリマセウガ、非常ニ偏在シテ居
ルコトモ爭ハレナイ事實デアルト思ヒ
マス、何レニシテモ、戰災ニ依ツテ多
クノ打擊ヲ受ケタ日本ノ經濟界ガ、サ
ウシタ材料ノ絕對量ニ於テ乏シト云
フコトハ、誰シモガ得心ガ行クノデア
リマスケレドモ、急速ニ絕對量ノ不足
ヲ補フコトガ出來ナイトスルナラバ、
現在偏在シテ居ル資材原料ヲ適當ニ配
分スルコトガ一番大キナ問題デヤナイ
カト思ヒマス、先般此ノ委員會デ審議
サレマシタ物資需給調整法モ、專ラ此
ニ偏在資材ヲ如何ニシテ適正ニ生産面
ニ配給スルカ、斯ウ云フコトニ主力ガ
注ガレル性質ノモノダト思フノデアリ
マス、ソレト中小工業助成ノ問題トハ
密接ナ關係アルト思ヒマスガ、此ノ點
ニ付テ先ツ第一ニ、商工大臣ハドウ云
フ具體的ナ方法ニ依ツテ、偏在シテ居
ル原料、資材ヲ適正ニ、生産設備ヲ遊
バセナイヤウニ配給スルト云フ方針ヲ
御持チデアアルカ、ソレヲ先ツ御伺ヒ致
シタイト存ジマス

○星島國務大臣 中小工業ノ振興ヲ圖
ル爲ニハ、加藤君御セノ通りニ資材ヲ
潤澤ナラシメ、同時ニ金融ヲ圖ルト云
フコトガ主ナルコトト思ヒマスガ、其
ノ中デモ金融方面ニ付キマシテハ、今
出來マシタ復興金融公庫、或ハ其ノ
手足トナツテヤル商工組合ノ中央金
庫、其ノ他其ノ未端ノ色々ノ機關ガ之
ヲ援フ、併シナガラソレデハマダ迎モ
足りマセヌノデ、今回産業設備團ガ
現在シテ居ルノデ、之ヲ改組シテ、產
業復興團ト名前ヲ變ヘテ、平和型ニ
シテ之ヲ一ツ十分活用シテ見タイ、是
ハ多分議會ニ問ニ合フヤウニ御協賛ヲ
仰ギタイト思ツテ居リマス、ソレデ關

係筋ト大體話ガ付イタルデアリマス、
モツト早く、此ノ法案ノ審議等ト並行
シテ、此ノ委員會ニデモ御願ヒシタ
イ、斯様ニ思ツテ居リマシタガ、モウ
少シ間ニ合ヒマセス、若シ出來ルナラ
バ、今明日ニモウ一遍再努力致シマ
シテ、之ヲ一ツ御審議願ヒタイ、斯様
ニ思ツテ居ル譯デアリマス、是ハ色々
ナ設備ヲ作ツテ貸シ與ヘルト言ヒマス
カ、或ル機關ヲ通シテ、コチラガ作
タノヲ向フニ最後ニ渡ス、今度ハサウ
デナシニ、凡ニル仕事ガ出來ルヤウ
ニ、小サナ仕事モ出來ルヤウニ、貸工
場モ出來レバ、或ハ機械工具ヲ貸スコ
トモ出來ルト云フヤウニ、餘リ因ハレ
ナイコトヲヤツテ見タイ
ソレカラ資材ノ入手デモ、是ハ隱
退職ヲ調ベマシタ所デモウ凡ソ見當
付イテ居リマスカラ、到底之ヲ以テ日
本ノ再建ヲ圖ルヤウナ原料ハナイカ
ラ、勢ヒドウシテモ、日本ノ内地デ生
產出來ナイモノハ輸入ニ仰ガネバナ
ナイ、輸入ニ付キマシテハ凡ソ見當
付ケマシテ、關係筋ノ方ニ懇請ヲ致
シテ居ル譯デアリマス、例ヘバ鐵ニ致
シマシテモ「ゴム」ニ致シマシテモ、
其ノ他ノ原料資材ニ致シマシテモ、殊
ニ纖維ノ方面ハ相當數量——實ハ日本
ノ力以上ノモノヲ今送ツテ貰ツテ、少
シ困ツテ居ルヤウナ位ニヤツテ居ル譯
デアリマス、併シ只今仰セノヤウニ、
需給調整法等ヲ十分活用致シマシテ、
現在アルモノモ重點的ニ一ツ考ヘテヤ
ツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デ
アリマス、殊ニ中小工業ニ付テハ、單
ニ抽象的ニ唯政府ガヤルノダト云ツテ
モ仕様ガナイカラ、實體的ニ助成スル

機關ヲ作ツテヤリタイ、是ハ今安座本
部ニ作ルガ宜イカ、商工省ニ作ルガ宜
イカ、モウ少シ相談ガ纏マツテ居マセ
ヌガ、中小工業振興助成局、假稱デ
スガ、サウ云ツタ機關ヲ設ケマシテ個
個ノ世話ヲシタイ、勿論商工省自體
ガ、工務局モ凡ソ局全部ガ今後ハ中
小工業ニナルノデアリマスカラ、商工
省自體ガ活動スルコトガ中小工業振興
策ト云ハレヌコトハナイガ、ヤハリ仕
事ヲ分ケマシテ、助成スル爲メ特殊機
關ヲ設ケテヤリタイ、斯様ニ考ヘテ居
ルヤウナ譯デアリマス

萬六千俵ノ原毛ガ紡績サレテ絲ニナ
リ、更ニ之ニ「スフ」ナリ絹ナリ混
ゼテ混紡サレマスレバ、優ニ日本ノ
現在アル紡績機「フル」ニ運轉シ
テ、一箇年以上ノ原料デアルト云フコ
トハ、專門家ノ詳細ナ計算ニ依ツテ明
カナ點デアリマス、然ルニ今申シマス
ルヤウナ、折角申小工業トシテノ毛織
物業、申上ゲルマデモナク尾西方面
ノ毛織物業ハ、日本ノ毛織物業ノ發
生地デアリマシテ、戰前ニ於テハ輸出
ノ八割近ク此ノ地方ダケヲ擔任シテ
居ルト云フ狀態デ、戰爭中ハ是等ノ業
者モ企業整備ニ遭ツテ多クノ犠牲ヲ拂
ヒ、現在デハ相當強固ナ業者ダケガ殘
ツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ設備ヲ
運轉スルニ付テモ、相當ノ織造ヲ賣ツ
テモ尙且十分デハナイ、併シソレハ
當然我慢シナケレバナラヌ所デアリマ
スカラ、我慢シテ居リマスガ、其ノ割
當テラタタ全額ヲ賣ツデモ尙毛織物
ノ機械ガ餘ルト云フ時、更ニ實際ニハ
三割シカ與ヘラレテ居ラスト云フコト
ニナリマス、本當ノ機械設備ノ操業
狀態ト云フモノハ二割位ニシカ當ラナ
イ譯デアリマス、後ハ皆遊ンデ居ル譯
デアリマス、ソレナラバ外ノ方ハドウ
カト申シマス、聞ク所ニ依レバ關
東、關西ノ地方ニ對シテハ、相當量ノ
六割位ガ配給サレテ居ル、ソレカラ手
持シテ居ル此ノ五大紡績、外ニマダ東
証紡トカ大和業トガアリマスガ、是等
ノ紡績業者ハ、自分デ絲ヲ紡イデ、之
ヲ原料トシテ自分ノ工場ダケハ「フル」ニ
運轉シテ居ル、要スルニ大資本ハ何時
デモ自由ニ欲スル儘ニ行ヒ、サウシテ
自分ノ都合ニ依ツテハ何時デモ中小企
業ヲ壓迫スル、是ハ實例デアリマス
ガ、而モ是等ノ五大紡績、更ニ二ツヲ

加藤勸委員 一般のナ概念トシマ
シテハ、只今商工大臣ノ御答辯ハ十分
了解ノ出來ル所デアリマスガ、私ハ茲
ニ現在手持資材ノ偏在シテ居ル實情
ヲ、一例ヲ舉ゲテ見タイ、商工省デモ
是ハ十分御承知ノコトと思ヒマス、其
ノ前ニ、私ノ申上ゲタ原料資材ノ絕對
量ノ不足、云フコトハ、重ネテ申上ゲ
ルマデモナイコトデアリマスガ、現
在日本國內ニ手持サレテ居ル原料材料
ハ、國際關係ガ正常ニ復シテ、輸入ガ
出來ルマデノ緊ギトシテノ期間間ニ合
フカ間ニ合ハヌカ、之ヲ如何ニシテ間
ニ合ハセルヤウニスルカト云フコトガ
主デアリマスガ、茲ニ私ノ懸ゲマスル
例ハ、具體的ニ申上ゲマスレバ、尾西
毛織物業組合ノ例ナシマス、此ノ例
ニ依リマス、四、五、六ノ三箇月間
ノ配給額當ハ三百五十萬「ポンド」デ
アリマシタ、然ルニ其ノ配給サレタ量
ハ僅カニ三〇%ニ過ギナイ、而モ其ノ
持ツテ居ル業者ハ、俗ニ五大紡績ト云
ハレテ居ル日本毛織、大東紡、東洋
紡、大日本紡、鐘紡、此ノ五大紡績ガ
手持シテ居ル原毛ハ、昨年十一月ノ發
表ニ依レバ十七萬六千俵デ、此ノ十七

加ヘタセツノ毛織紡績ノ會社ガ持ツテ
居ル十七萬六千俵ト云フ原毛ハ、終戰
ノ當時、ドサクサ粉レニ軍カラ拂下ゲ
タ物ガ其ノ大部分ヲ占メテ居ル、御承
知ノヤウニ原毛ノ公定價格ノ改訂ニ依
リマシテ、殆ド十億近イ利益ヲ擧ゲテ
居ルト云フコトデアリマス、勿論此ノ
中カラ調整金トシテ政府ニ納メタモノ
モアリマスガ、兎モ角是等ノ原料ハ、
戰前自分達ガ輸入シタモノヲ持ツテ居
ツタト云フモノノデナク、戰爭中軍方統
制シテ居ツタモノヲ終戰ノドササニ紛
レテ拂下ゲテ居ル、元來ナラバ當然
ハ國家ノ手ニ所屬シナケレバナラナイ
性質ノモノデアアルノヲ、是等ノ大會社
ガ軍トノ結託ニ於テ拂下ゲテ居ル、而
モ今日原料ガ非常ニ不足シテ居ル時
ニ、之ヲ獨占シテ居ル、斯ウ云フ狀態
ハ恐ラク外ノ産業ニモアルと思フ、私
ハ外ノコトハ能ク知リマセヌカラ尋
マセヌガ、毛織物ノ實例ニ付テハ今言
フヤウナ狀態デスカラ、唯單ニ商工省
ニ於テ、今度ノ物資需給調整法ヲ十分
ニ活用サレルト云ハレマスガ、斯ウシ
タ面ニ對シテ、具體的ニドウヤウナ活
用ヲナサラウトスルノデアルカ、其ノ
具體的ナ方法ヲ御伺ヒシタイと思ヒマ
ス

○星島國務大臣 纖維ノ方面カラ考ヘ
マス、オ蔭様デ終戰後相當數量ノ軍
ノ物資ガアリマシタノデ、是ガ取敢ズ
民需ニナリマシテ、占領軍ノ方モ全部
ヲ民需ニ廻シテ宜シイト云フ非常寬
大ナ處置ニ依リマシテ、取敢ズ衣料問
題ノ方ハ他ノ食、住ヨリモ稍、落著イタ
狀態ニアリマス、殊ニ其ノ中デモ、之ヲ見返
リ物資ニ相當大量出スヤウニト云フ
デ、殊ニ向フノ注文ガ非常ニ急イデモ

ノデアリマスカラ、隨テ平素ノ相當等
カラ若干超越シテ、紡績ヲ主ニシテ
一貫的ニ早クヤラセル、ソレ以下ノコ
トハ、義務ヲ終ツテシマヘバソレハ普
通ノ「ルート」ニ流シテ、皆ニ公平ナ配
給ヲスルト云フヤウナコトデアリマス
テ居ルノデアリマスガ、ソレガ中ニ思
フヤウニ運バナイ、其ノ爲メトモスレ
バ中小ノ人達カラ常ニ文句ヲ受ケテ居
ルコトハ事實デアリマス、私共此ノ點
ハ非常ニ氣ヲ付ケテヤリタイと思ヒマ
シテ、殊ニ今日終戰後ハ、從來アリマ
シタ上カラノ統制機關ヲ廢メマシテ、
纖維協會ト云フ下カラ盛リ上ツタ一ツ
ノ機關ニ依リマシテ、皆ノ賦課金ニ依
リ、皆ノ運出シタ役員ニ依ツテ出來タ
全體ノ協會ガ、按配ヲ取ツテ行クコト
ニナツテ居リマス、サウ云フ弊ハ
ナイト思ヒマスガ、併シナガラ尙ホ其
ノ中心ハ、何ト云ヒマシテモ紡績デア
リマスカラ、ツイ今御話ノヤウナコト
ガアルノダラウト思ヒマス、ソレ等ハ
今後十分注意致シマシテ、公平ニ仕事
ヲ分配シテ、同じ設備ガアルナラバ、
皆ヲ活カシテ行クヤウニシナケレバナ
ラヌト、斯様ニ思ツテ居リマス、一時
偏在シテ居ルモノハ十分今後調ベマシ
テ、ソレハ適當ニ仕事ノ分配ヲ按配シ
テ、皆ニ分ケルヤウニシテ行カケレ
バナラヌト思ツテ居リマス、丁度今纖
維局長ガ出テ居リマスカラ、モウ少シ
詳細イ御答辯ガ出來ルカト思ヒマス

○松田（公）政府委員 只今大臣ノ御話
デ要點ハ盡キテ居ルノデアリマスガ、
モウ少シ最近ノ棉花ノ輸入等ノ實情、
或ハ生産ノ實情等ヲ補足的ニ申上ゲマ
スナラバ、大體本年內ニ「アメリカ」ノ
棉花ノ入ツテ參リマス豫定數量ハ八十
九萬俵ニナツテ居リマス、其ノ中デ、
既ニ今日現在ニ於キマシテ日本ニ著荷
致シマシタ數量ガ四十六萬俵ニナツテ
居リマス、其ノ中國內デ使ツテ宜シイ
ト云フ解除ノ許可ヲ受ケテ居ルマシモ
ノガ約十一萬二千俵ゴザイマス、此ノ
中一萬九千俵ガ國內ノ需要ニ充テラレ
ルコトニナツテ居リマシテ、他ハ總テ
輸出ニ向ケルト云フコトニ今話ガナツ
テ居ルノデアリマス、ナゼサウ云フコ
トニナツテ居ルカト申シマス、今日
聯合軍ト致シマシテハ、世界ノ衣類飢
饉ヲ一刻モ早ク救済シナケレバナラナ
イ、ソレニ付テハ今日殘ツテ居ル、日
本ノ纖維設備ヲ極力活カシテ、之ニ依
ツテ世界ノ衣類飢饉ヲ救ヒタイ、斯ウ云
フ所ニ其ノ主張ガアリマス爲メ、將來
ノ輸出ト國內向ケトノ調整ニ付キマシ
テハ勿論考ヘテ賣フコトト思ヒマス
ケレドモ、取敢ズ大部分ハ輸出ノ方ニ向
ケナクチャナラヌ、而モ急ギマス爲
メ、出來ルダケ早クソレガ仕上ゲザレ
ルヤウニト云フ情勢カラシテ、今日ニ
於キマシテハ所謂紡績一貫作業ヲシテ
居リマス所デ約六十工場、ソレカラ織
布ノ專業者ニ於キマシテ約百工場ヲ活
用シテ、今ノ生産ニ進ンデ居ルノデア
リマス、併シナガラ今日マデノ生産成
績ト云フモノハ餘リ芳バシクナイノデ
アリマシテ、七月、八月ノ生産ヲ加ヘ
マシテ約五萬九千五百細ト云フモノガ
生産サレテ居ルヤウナ狀況デアリマ
ス、併シナガラ是ガ陸路ニ付キマシテ
ハ、政府當局ト致シマシテモ出來ルダ
ケ之ヲ打開シ、又業界ノ方ニ於キマシ
テモ一踏張リシテ賣ツテ、少クトモ年
內ニハ更ニ三十萬細位消化致シタイ、
斯様ニ考ヘテ居リマス、之ニハ勿論紡
績專業者ダケデア出來ル仕事デハナイノ
デアリマシテ、中小ノ所謂專業ノ機屋

第六期第二十三號 臨時物資需給調整法案委員會議錄 第十二回 昭和二十一年九月二十六日

サン、ソレカラ又最近聯合軍ノ方ノ要求モアリマシテ、從來ハ生地ノ儘出シテ賣ヒタイト云フノガ、最近之ヲ染色シテ出シテ賣ヒタイト云フヤウニ變リマシテ、隨テサウ云フ意味ニ於キマシテハ、染色業者モ大ニ仕事ガ出來ルコトニナツテ參ッテアリマス、我々ト致シマシテハ、出來ルだけ大業者モ中小業者モ、本當ニ棉花ニ依ツテ世界的ニ貢獻スルト云フ意味ニ於キマシテハ、日本國民トシテ名譽ノアルコトデアリ、仕事ノ仕甲斐ノアルコトデアリマスカラ、ソコハ出來ルだけ均等に保チマシテ、中小商工業者モ此ノ恩惠ニ浴セナイト云フヤウナコトハ、絕對ニナイヤウ、其ノ點ハ十分聯合軍ノ方ニモ諒解ヲ付ケテ賣ヒマシテ、今後トモ其ノ間ノ均衡ハ取ツテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○加藤(勸)委員 只今纖維局長ノ御話ヲ聽キマス、專ラ棉花、棉紡ニ關スルコトバカリデアリマシタガ、私ノ御尋ネラシテ居ルノハ主トシテ毛織工業ニ關スル問題ヲ御尋ネシタ譯デアリマス、毛織ノ狀況ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松田(太)政府委員 毛織ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ、今日相當程度ノ、約十五、六萬俵ノ羊毛「ストック」ハアルノデアリマス、併シナガラ其ノ中ノ大部分ガ所謂紡毛ト云フモノデアリマシテ、服地等ニ使ヒマスル梳毛關係ハ其ノ中ノ約三四萬俵程度ノモノデアリマス、ソレデ何トカ梳毛ニ付キマシテモ供給量ヲ殖シタイト云フノデ、色々聯合軍等ノ方ニモ打合ヤラシテ居リマシテ、今日聯合軍ノ方ト致シマシテハ、濠洲等ノ羊毛ニ付テ相當ノ數量、大體十一萬俵位ハ年間ニ入

レテモ宜イヤウナ話モ、實ハ内部的ニゴザイマシテ、隨ヒマシテサウ云フヤウナ問題モ解決致シマスナラバ、粗毛紡毛ヲ通ジマシテ相當ノ量ガ國內ニ入ッテ來ルコトニナルデアリマス、之ニ付キマシテハ、今日マデハ或ハ石炭ノ問題デアリマス、或ハ輸出ノ計畫等ノ問題カラ致シマシテ、綿紡績ニ比ベマシテハ進捗致シテ居リマセス、併シナガラ今申シマシタヤウナ原料ヲ向フカラ入レテ與レルヤウナ曉ニ於キマシテハ、恐ラクソレニ對スル代金ノ決済等ノ方法カラ致シマシテモ、或ハ羊毛製品ヲ輸出スルト云フヤウナコトモ考ヘラレテ參リマス、ソレカラ又、ソレニ付テ國內ニ對シマシテモ、相當ノ量ヲ國內配給ニモ廻シテ賣ヘルヤウナ時ニモナツテ來ルト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、特ニ名古屋方面ノ、所謂羊毛織物關係ノ一番ノ中心地デアリマスヤウナ所ニ對シマシテ、從來ノ希望、要望、或ハ期待ト云フモノハ非常ニ大キイノデアリマス、ソレデ今日動モシマスと云フト、羊毛ニ付キマシテモ、綿紡績ニ於ケルト同ジヤウナ問題ガアリマシテ、其ノ間ノ連絡ト云フモノガ、動モスレバ不圓滑ヲ來シ居ルヤウナコトガゴザイマシタノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、先般來纖維協會内部ニ於キマスル羊毛部會ト云フ所ニ、所謂羊毛ノ紡績關係業者ノ方ト、ソレカラ織布關係ノ業者モ其ノ羊毛部會ニ今度一緒ニ入ッテ來ルコトニナリマシテ、今ノ兩者ノ間ニ於ケル、從來ノ色々氣マツイ問題ハ、總テ此ノ際キレニ解決スルト云フコトニ先般話モアリマシテ、今日ゴザイマス「ストック」ノ處理ニ付キマシテモ、又將來サウ云フモノ

ガ入ッテ參リマシタヤウナ場合ニ於キマシテモ、先般綿紡績ニ付キマシテ織屋サントノ關係ニ付テ、同ジ方針ノ下ニ、之ヲ善處シテ參ル、又業界ノ方ニ於ケラマシテモ、サウ云フ氣持ニ最近ハナツテ參リマシタト云フコトヲ御報告申上ゲテ置キマス

○加藤(勸)委員 只今ノ御答ヘハ、主トシテ、今聯合國側ト交渉シテ居ル原料ノ輸入ガ實現シタナラバト云フ、將來ノ計畫ニ付テノ御説明ノヤウデアリマシタガ、私ノ御尋ネノ焦點ハサウ云フ所ニナクシテ、其ノ實現ヲ見ルマデノ間ノ、日本ノ生産設備ヲ如何ニ演轉スルカ、或ル一方ニ於テハ機械ガ遊シデ居ル、或ル一方ニ於テハ夜業マデシテ居ル、此ノコトハ私ハ失業問題トモ非常ニ大キキ關聯ヲ持ツテ來ルト思フノデアリマス、自分ガ手持チシテ居ル原毛ヲ、今申シマスヤウナ理由ニ依ツテ、入手シタ原毛ヲ、偶々纖維協會ニ割當テテ、是ハ恐ラク商工省ノ方モ此ノ割當ニ關シテオイデニナラレルガ、割當テラレタモノヲ、多クノ設備ガ遊シデ居ルニモ拘ラズ、其ノ方ニハ廻サレナイデ、自分ノ方ハ夜業マデシテヤツテ居ル、此ノ偏頗ノ狀態ヲドウスルカ、具體的ナ問題ト云フノハ、之ヲドウスルカト云フ點ニアルノデアリマシテ、將來ノ計畫ハ、是ハ其ノ時ニナツテ初メ色々考慮サルベキデアアルシ、別箇ニ考フベキデアアル、其ノ原毛輸入ガ實現スルマデハ、日本ノ生産設備ヲドウシテサウ云フ偏頗ノ狀態デナクシテ、全部ガ圓滑ニ運轉スルヤウニ出來ルカ、斯ウ云フコトニ付テ、商工省ハドウ云フ御考ヘデアアルカ、之ヲ御聽キシタイノデアリマス

○松田(太)政府委員 只今私ガ主トシテ輸入羊毛等ノ將來ニ付テノ話ヲ重點ニ置イテ申上ゲタノデ、洵ニ足ラナイ所ガアツタト思ヒマスガ、私ハ將來ノ問題ニ付テモ、サウ云フ方針ノ下ニ、現在アリマス羊毛ニ付テ、先程來私ガ申上ゲタヤウナ經緯ガ、從來加藤サンノ御話ノヤウニ確カニアリマシタ、羊毛ノ織物業界カラモ、再三私ノ方ニサウ云フ御話ガアリマシテ、ソレニ付テ先般來我々ノ方トシテモ十分色慮討致シマシテ、其ノ結果纖維協會内部、從來羊毛紡績ノ部會ト羊毛ノ織布ノ方ノ部會ノソレノ二ツニ分レテ居ツタノヲ、ソレヲ先ヅ機構ノ問題カラモ一本ニ致シマシテ、向ホ其ノ間出來ルだけ羊毛紡績ノ方カラ出タモノヲ、本當ノ機屋サンノ方ニ廻スモノニ付テハ、今御話ノヤウニ、現ニ機屋サンノ方ハ機械ガ遊シデ居ル、然ルニ紡績ノ方ハ、苦シイニモ拘ラズ自分ノ方デ之ヲ全部使ツテシマフト云フヤウナ機ヒモ、實ハナニシモアラズデアツタノデアリマス、其ノ點ヲ調整シテ、今日ニ於キマシテハ、順次羊毛紡績ノ專業者ノ方カラ、今ノ機屋サンノ方ニ廻リツ、アルト云フ實情ニナリテ居リマスカラ、其ノ點モ段々ト改良サレテ參リマシタト云フコトヲ御報告申上ゲテ置キマス

○加藤(勸)委員 今ノ纖維協會ノ組織ガ變更サレテ、内部統制ガウマク行クト云フコトハ非常ニ結構デアリ、又是非サウシテ藏カケレバナラヌト思ヒマスガ、尙ホ開ク所ニ依リマス、ト、四、五、六ノ三箇月間ノ割當ニ付テ、今私ガ申上ゲタヤウニ、三〇〇程度シカ配給サレテ居ナイバカリデナク、其ノ後ノ七、八、九ノ三箇月間ノ割當ニ付テモハ前同ト始メ同様ノ狀態ニナ

ッテ居ル、サウスレバ何時ニナツタナラバサウ云フ圓滑ナ割當ガ實際上行ヘルヤウニナルノデアリマス

○松田(太)政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、此ノ話ヲ大體纏メマシテハ、實ハ正直ニ申シマシテ七月ノ末カラ八月初メ頃ニ大體決メマシタ爲ニ、或ハ七、八、九ノ間ニ於テハ、四、五、六ノヤウナ狀況ガ殘ツテ居タカト思ヒマス、併シ之ニ付テハ此ノ間カラ色々話ヲ致シマシテ、十月頃ト云フカ、第三四半期以降ニ於テハ、從來ノ狀態ヲ十分調整シテ參リタイ、今斯ウ云フ積リデ居リマス

○加藤(勸)委員 九月以降ノ問題ハ今後ノコトデアリマスカラ、此處デ彼此レ言フコトハ出來ヌト思ヒマスガ、只今纖維局長ノ御説明デ、是ガ實際ハ實現スルヤウニ商工省トシテモ努力願ヒタイ、此ノ點ニ付テハ斯ウ云フ希望ヲ述ベテ置キマス、モウ一ツ是モ羊毛ニ關スル問題デアリマスガ、製品ガ非常ニ多ク「ストック」サレテ居ルト云フコト、是ハ御承知ノ點ニ思ヒマス、多クノ商業倉庫ニハ相當莫大ナ量ガ「ストック」サレテ居ル、是ハ一體生産業者カラ、織物統制販賣會社デスカ、織物統制會社ニ渡サレル、渡サレタノガ其ノ儘ソコヘ「ストック」サレテ、實際ハ配給面ニハ上ツテ來ナイ、是ハ一ツノ價格ノ値上リヲ待ツト云フノカ、或ハ政府ノ方針トシテ、將來衣料切替デモ出サレル時ノ準備ヲサレルト云フノカ、兎モ角一方ニ於テハ衣類ガナクテ困ッテ居ルト云フノニ、一方デハ、聞ク所ニ依ルト或ル會社ノ如キハ、五十「ヤード」巻ノ物ヲ五萬本カシ「ストック」シテ居ルト云フコトモ聞イテ居ルノデスガ、其ノ他ノソレニ類スル會社モ似

タリ寄ツタリノ數據ヲ「ストック」シテ
居ル、是ハマダ織物統制會社ニ渡シテ
居ナイ、生産會社ノ所有トシテ倉庫ニ
保管サレテ居ルト云フ實情デアリマス
ガ、斯ウ云フコトハ配給面ト直接ノ關
係ヲ持ツテ來ルノデアリマス、私ノ今
主トシテ御尋ネスルノハ生産面ノコ
トデアリマスガ、斯ウシタ生産會社ノ
手ニアル「ストック」ガ、雖テ中小工
業ヘノ一ツノ壓迫トナツテ現ハレテ來
ルト云フコトモ、避ケ難イ事實ダト思
フデス、斯ウ云フコトニ對シテ商工省
デハドノヤウニ御考ヘニナツテ居リマ
スカ

ハ、中央ニ於テ或ル程度減メテ、之ヲ
其ノ方面ニ廻シヤウニ致シテ居リマス
ガ、何分ニモ全體ノ數據ト云フモノ
ガ、國民全體ニ分ケマス上ニ於キマシ
テハ非常ニ少イモノデアリマスカラ、
「コデ」ノ本當ニ間違ヒナイ、又横流
レガセヌヤウニ之ヲ流スト云フコト
デ、中央ノ方デモ色々其ノ配給ノ上ニ
付キマシテハ、纖維協會ノ智慧モ借リ
テヤツテ居ル譯デアリマスガ、ソレガ
今御話ノヤウニ、輸送ノ關係デアリマ
ストカ、色々ナ關係カラ致シマシテ、
今日マダ最末端マデ至ツテ居ラヌト云
フコトハ、我々トシテモ洵ニ遺憾ニ存
ジテ居リマス、今後ハ今御話ノヤウナ
點ハ十分考慮致シマシテ、早く必要ナ
方面ニサウ云フ物ガ流レルヤウニ、何
時マデモサウ云フ物ヲ、生産業者ノ手
ニ致シマシテモ、統制機關ノ手ニ致シ
マシテモ、殘シテ置クノガ國家トシテ
ノ本意デハナイノデアリマスカラ、ソ
レ付キマシテハ、及バズナガラ出來ル
ダケノ努力ヲ致シマシテ、早く必要ナ
方面ニ廻シヤウニ致シタイト考ヘテ居
リマス

○加藤勸委員 其ノ必要ナ努力ト云
フコトデスガ、今マデノ政府ノ御答ヘ
ハ、何時モ努力スルトカ、研究スルト
カ、ヤルトカ仰シヤルガ、其ノ具體的
ナ努力ノ方法ヲ御聽カセ願ヒタイト思
ヒマス

○松田(太)政府委員 其ノ點ニ付キマ
シテハ、只今ノ斯ウ云フ工合ニシタイ
ト思フテ居リマスノハ、ドウシテモ中
央デ、或ル程度調整シナケレバナラヌ
ト云フモノハ中央デヤリマススケレド
モ、昔ノヤウニ何デモ彼デモ、配給計
畫ト云フモノハ中央デ總テヤルト云
フコトニナリマス、ドウシテモソコ

ニ時間的ニ申シマシテ「ギャップ」ガ生
ジ、又非常ニ遅レマスデ、今後ハドウ
シテモ中央ガ或ル程度全國的ニ見テ、
之ヲ總括的ニ考ヘナケレバナラヌ以外
ノモノハ、全部ソレノ「物ガアリマ
ス」地方長官ニ之ヲ配給ヲ御任セマス
ル、勿論其ノ時ニハ先程申シマシタヤ
ウニ、或ハ引揚民デアルトカ、或ハ戰
災者デアルトカ、サウ云フ時ニ困ツテ
居ラレルヤウナ方ニ重點ヲ置イテ配給
スルト云フ工合ニ、出來ルダケサウ云
ツタヤウニ、配給ニ付テハ其ノ枠ト云
フモノヲ地方長官ニ與ヘマシテ、地方
長官ニ於テ、ソレノ「地方々々」實
情ニ應ジテ配給ヲシテ戴キタイ、尙ホ
物ガ或ル地方バカリニ偏シテ居ルト
云フヤウナ場合ニハ、商工省ノ一ツノ
出店ト云ヒマス、地方商工局ニ於テ
其ノ地方ニ於ケル調整ヲシテ實ヒタ
イ、斯様ナ方針デ今後進メテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス

○加藤勸委員 其ノ點ハ、サウ云フ
風ニ具體的ナ方法ヲ御示シ下サレバ結
構デアリマスガ、サウシマス地方長
官ニ此ノ配給ヲ大體一任サレルト云フ
コトニナルト、織物統制會社、是ハ全
國的ノモノデアリ、又地方ニハ地方統
制會社ガアル、府縣知事ト云フモノハ
中央ノ織物統制會社ニハ手ガ及バナイ
譯デスネ、勢ヒ地方的ナ統制會社ニナ
リマスナ、今仰シヤルヤウニ物ニ依ツ
テハ非常ニ地方ニ偏シテ居ツタモノ
デス、例ヘバ今申シタヤウナ毛織物ノ
如キハ、愛知縣ニハ織物ニナツタモノ
ガ相當アルト思フ、サウスルト是等ノ
モノハ、地方長官ガドウ云フ率デ、其
ノ地方ノ織物統制會社ノ比率ヲ御決メ
ニナルノデアリマセウカ、ソレハヤハ
リ商工省ノ方針ニ依ルノデスカ

○松田(太)政府委員 ドウ云フ工合ニ
各縣ニ割振ルカト云フコトハ、一應中
央デアリノデアリマスガ、其ノ場合ニ
中央デ、是ハ何ノ太郎兵衛ニヤレト云
フヤウナ、譬喩的ニ申シマスナラバ、
サウ云フ細カナコトマデ、從來ハ中央
デ動モスレバヤリ勝チデアツタノデア
リマスガ、ソレヲ止メマシテ、枠ダケ
ヲ與ヘテ、其ノ枠ノ範圍内ニ於テ、地
方長官ニ於テ自由ニ必要ナ方面ニ廻シ
テ戴キタイト考ヘテ居リマス

大體見テ居リマシテ、隨テ織統ト金融機關ノ間ノ金融ノ條件ニ付キマシテモ、三箇月位ヲ期間トシテ、織統トシテ生産者ニ早ク金ヲ廻スダケノ、金額ノ融通ニ付テノ話合ヒヲ付ケルヤウニ致シテ居リマス、其ノ間今御話ノヤウニ、下カラ段々ト織統ノ方ニ金ガ廻ッテ参リマス場合、ソレガ段々ト新圓ノ方ガ減ッテ、封鎖ノ範圍ガ廣クナツテ來ルト云フ御話デアリマス、サウ云フ點モ或ル程度アルヤウニ私モ聞イテ居リマスガ、ソレハ出來ルダケ新圓デ、其ノ各統制機關ノ必要ナ經費ハソレダケ差引カネバナリマセヌケレドモ、サウデナイ限リハ、出來ルダケ早ク織統ニ新圓ガ回收出來テ、ソレニ依ッテ金融機關トノ決済モ早ク付ケルヤウニト云フヤウナ方針ノ下ニ、今日指導致シテ居リマスガ、今御話ノヤウナ點ニ付キマシテモ、十分今後檢討致シマシテ、又サウ云フ方針デ居リマシテモ、サウ云フヤウナ問題ガアリマス場合ニハ十分氣ヲ付ケテ、今後我々ノ企圖致シテ居リマスヤウナ方向ニ進ンデ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○竹田委員長 加藤君ニ御諮リシマシガ、商工大臣ヘノ御質問ハ大體ゴザイマスマイカ

○加藤勸委員 織維局長デ宜シイ

○竹田委員長 サウ致シマス、實ハ貴族院ノ審議ノ關係上商工大臣ヲ要求シテ來テ居ルノデスガ、アナタノ方ノ山口サントカ、中崎君ナドガ商工大臣ヲト言ツテ居ルノデス

○加藤勸委員 ソレデハ僕ハ譲リマス

○竹田委員長 ソレデハ途中デスガ、サウ云フコトニシテ實ヒマセウ——ソ

レデハ山口靜江君

○山口(靜)委員 商工協同組合法ニ對シマシテ質問申上ゲタイト存ジマス、商工協同組合法ニ依リマス、其ノ目的ハ「組合員ノ事業ノ經營ノ合理化を圖るに必要ノ共同施設をなすこと」ニ相成ツテ居リマス、尙ホ同法ノ提案サレマシタ理由ハ、中小企業ヲ組織化シ、其ノ自主的協同ニ依リ企業ノ合理化ヲ圖リ、我が國産業ノ急速ナル再建ヲ圖ル爲メト存ズル次第デアリマス、開戦ト同時ニ中小商工業ハ整備サレマシテ、一部重點企業ニ集中サレ、企業ノ總テが軍需産業一色ニ塗ラゲラレタノデアリマス、ソレガ爲ニ中小商工業ニ依リマス平和産業ハ壊滅ノ状態ニゴザイマス、戦前ニ於キマシテ、我が國ノ企業ノ中樞ハ中小商工業ニアツタノデアリマス、内地ノ需要ハ固ヨリ、輸出ニ至ルマデ驚クベキ數字ヲ示シテ居リマス、勿論大企業家ノ手ニ依リモノモ相當ゴザイマシタガ、之ニ對シマシテモ下請業トシテ、中小商工業ノ力ガ寄ツテ大ナルモノデアツタノデゴザイマス、結論ト致シマシテ、中小商工業ガ我が國産業ノ基礎ヲナシテ居リマシタコトハ、爭ハレヌ事實デゴザイマス、故ニ我が國産業ノ促進ニ當リマシテ、中小企業ニ對シテ急速ナル再建ヲ圖ルコトハ當然デアリマス、併シ政府ハ此ノ指導ニ對シテ萬全ヲ期サナケレバナラナイト存ズルモノデゴザイマス、先ヅ第一ニ資本主義的獨占企業、或ハ資本ニ依リ「コンツェルン」ノ如キ組織ヲ避ケマシテ、眞ニ中小企業者ヲ民主的ニ組織致シマシテ、其ノ運営ハ計畫的ニ行ハナケレバナラヌト信ズルモノデゴザイマス、第二ニ戰時ニ於ケル統制ニ依リ整備セラレタ業者、戰災ヲ蒙リタ

ルモノ、軍需産業ニ轉換セルモノ、應召ノ依リ、或ハ外地ニ進出セルモノ等、再建ヲ圖ル中小企業者ヲ考ヘナケレバナリマセヌ、之ニ對シマシテ組織サレル商工協同組合ハ、戰時ニ於ケル統制組合ノ如キ排他的ヲ指導精神ヲ改メマシテ、新企業者ノ再建ニ便宜アラシメルヤウ、同組合ノ事業トハ、共同施設其ノ他ヲ社會的ニ運営致シマシテ、我が國産業ノ振興ヲ促進致サナケレバナリマセヌ、最後ニ最重要ナル點デアリマスガ、現在組織サレテ居リマス團體ハ、本法ノ施行ト同時ニ商工組合法廢止ニ伴ヒ解體サレルコトニ相成ツテ居リマス、舊法ニ依ル團體ハ、戰時中已ムヲ得ヌ事情ニ依リマシテ、平和文化國家建設ノ基礎ヲナス企業團體ニ適セザル指導精神ニ依ツテ、尙ホ今日繼續サレ、又一部解體シテ自主的ナ團體ヲ組織セルモノモアリマスガ、ソレハ單ニ看板ノ塗替ヘニ過ギナイノデアリマス、是等ノ團體ノ中ニハ、其ノ内容ニ思ハシカラザルモノモアルヤニ聞キ及ンデ居ルノデゴザイマス、折角政府ガ民主主義國家再建ノ爲ニ御提案ニナリマシタ本法案モ、從來ノ企業團體ガ協同組合ノ看板ニ塗替ヘラレタノニ等シイ結果ニナリマセヌヤウニ、舊法ニ依リ組織合並ニ擬裝セル團體ハ、完全ニ解體整理ヲ行ハシメマシテ、本法ニ依ル組合ハ全ク新シイ、一部有力者或ハ舊勢力ノ專横ヲ避ケ、組合員ノ自由ナ意思ニ基キ、民主的ニ組織サレ、且ツ運用サレルヤウニ希望スルノデゴザイマス、政府提案ノ商工協同組合法中、特に以上ノ三點ニ對スル趣旨ヲ徹底セシメルヤウニ、之ニ對シマシテ御回答ヲ御願ヒ致シタイ次第デゴザイマス

○星島國務大臣 本法提案ノ趣旨モ、概ネ今山口サントノ御意見ヲ含シタル御質問ノ通りデアリマシテ、御質問ノ趣旨ノ通りマスヤウニ運用シテ行キタイ、例ヘバ資本主義的ナ「コンツェルン」ノ如キハ、今回「ボツダム」宣言受諾ノ精神カラ見マシテモ、無論當然排除サルベキデアリマスガ、併シ協同組合ノ目的トスル所ハ、中小故ニ個々ニ分レテ力弱イ、ソレヲ纏メル爲ニハ從來ノヤウナ行キ方デナシニ、所謂協同精神ニ依ツテ、組合ノ力ニ依ツテ、小サイ力ヲ總テ纏メテ、一ツノ共同施設或ハ協力體ヲ作りタイ、斯様ナ趣旨デアリマスカラ、其ノ邊ノ所ハ十分御意見ノヤウニ今後運バレルコトと思フノデアリマス、サウシテ殊ニ戰災ヲ受ケタ人、或ハ引揚同胞等ノ人ガ、自由ニ加入ガ出來テ仕事ノ再建ガ出來、又新タニ仕事ガ出來得ルヤウニ、自由ナル企業ノ下ニ總テガ考ヘラレル、其ノカ弱キ人達ヲ共ニ率キテ起ツ所ニ、此ノ協同組合ノ向フ途ガアルと思フノデアリマス、殊ニ只今仰セノ如キ、從來ノ唯看板ノ塗替ニ終ツテハイケナイト云フノデ、今回ノ法案ハ、普通カラ言ヒマスレバ、從來ノ組合ニ唯形ヲ變ヘテ、サウシテ從來役員ガ任命デアツタモノガ、或ハ選舉ニナツタリ、或ハ從來ノ資産其ノ他ヲ其ノ儘受繼ゲバ、私ハモウ是ノ大部分ハソレデ宜イ點モ多イダラウト思ヒマス、中ニハ間違ツタ意味ハ、戰時型ノ一ツノ指導者原理デ以テヤツテ居ツタ組合モアリマスカラ、唯看板デケラ替ヘテシマヒマシテモ、其ノ儘精神ガ殘リマスカラ、一應今回ハ全部解散セシメテ、サウシテ今度ハ全々新タニ設立セシメルト云フ點モ、只今御述べノ點ヲ十分ニ酌取ツテ

出來タ譯デアリマス、併シ私ハ政府ノ追放ト同ジヤウニ、ズツト末端ノ中小ノ所デハ、從順ニ戰時型ニナツテ居ツタノデ、今日平和ニナリマスレバ、頭サヘ切替ヘテ行ケバ、私ハサウ御心配ニナル點ハナイ、一面カラ見レバ、事務所モ資産モ其ノ儘受繼イデ行ツテ宜イモノモ相當ニアルト思ヒマス、此ノ點ハ最初立案ノ時モ議論ガアツタノデアリマスガ、只今仰セノヤウニ看板塗替ノ弊ニ陷ツトハ、假令ソレガ大部分デナイニシテモ、惜シイコトと思ヒマスノデ、スツカリ之ヲヤリ變ヘテ、全然新タナル組合ノ結成、斯様ナコトニナツタ次第デアリマス、大體只今ノ御主張ノ御意見ノアツタ所ハ、全部此ノ法律ノ目的トスル所デアリマシテ、又政府ノ運用ニ付キマシテモ、十分御意見ヲ尊重シテ今後處シタイと思ツテ居リマス

○山口(靜)委員 引續キ御質問致シマス、商工協同組合法案中、第七十六條ニ付テ御同ヒ致シタイト存ジマス、同條ニ依リマス「舊法」により設立され、この法律施行の際現に存する施設組合は、これをこの法律により設立された商工協同組合とみなす」トゴザイマスガ、舊法ニ依ル施設組合ト本法ニ依ル商工協同組合トハ、内容ニ於キマシテハ大同小異デアリマスカラ、便宜主義ニ依リ其ノ儘移行セシメルヤウニ考ヘマス、施設組合ガ初メ現存スル組合、其ノ他之ニ準ズル團體ハ、何レモ戰時中戰時遂行ヲ目的トシテ指導精神ヲ大ナリ小ナリ持ツテ居ルト存ズルノデゴザイマス、又戰爭中ハ勿論、戰後ニ於テモ、其ノ混亂時ニ思ハシカラ運營業ヲ致シタモノモ多クアルヤニ聽及ンデ居リマス、故ニ此ノ際折角日本産

樂建設ノ爲ニ、大キナ希望ト期待ヲ掛
ケテ發足致シマス商工協同組合ハ、舊
法ニ依ル組合並ニ團體、及ビ終戰後便
宜上作ラレタ團體ヲ整理セシメ、本法
ニ依ル組合ニ移行セシメルコトヲ禁ジ
マシテ、本法ノ示スヤウニ、組合員ノ
自由ナ意思ニ基キ、民主的ニ組織サレ
ネバナラナイト存ジマス、仍テ之ニ對
シマシテ本法七十六條ヲ適當ニ改メ
御意思ガゴザイマセヌデスカ、其ノ點
ヲ御質問致シマス

○星島國務大臣 一應御趣旨ノヤウナ
點モ考ヘラレルノデアリマスガ、元來
施設組合ハ、御承知ノヤウニ一種ノ共同
施設ノヤウナモノデアリマシテ、成程
戰時中カラ言ヒマシレバ、國民全體ガ
戰ツタノデアリマスカラ、國民全部ガ追
放サルベキデアルガ、心ヲ改メテ掛レ
バ又全部ガ許サレル、斯ウ云フ見地カ
ラ、統制組合ノ方ハ相當戰時型ニ屬シ
タノデアリマスルカラ、是ハ一ツ追放
致シマシテ、全部ヤリ替ヘサス、ケレ
ドモ施設組合ノ程度ハ、其ノ末端ノ仕
事ヲシテ居ツタト云フ程度ニ罪一等ヲ
減ジテ、サウシテ便宜カラ言ヒマシテ
モ、上カラ臨シテ統制方式モ比較的小
ク、從來ノ施設組合ニ付キマシテハ極
メテ自主的デアリマシタシ、色々ナ點
ヲ勘案致シマシテ、ソコマデヤラヌデ
宜イダラウ、斯様ナ考ヘカラ、是ハ其ノ
機移行サスコトニ致シタ譯デアリマス、
別段之ヲ修正シテマデアルコトハナカ
ラウ、此ノ中ニハ、澤山ノ中一、二位
ハ或ハ御説ノヤウナモノガアツタカモ
知レマセヌケレドモ、全體ノ便宜ヲ考
ヘ、手數ヲキマス爲ニ、斯様ナ處置
ヲ執ツタ譯デアリマシテ、出來マスナ
ラバ此ノ通りデヤツテ行キタイ、斯様
ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○山口(靜)委員 モウ一ツ質問サセテ
戴キマス、此ノ商工協同組合ガ施行
サレマス際ニ、舊法ニ依リ設立サレテ
居ル組合ノ資産並ニ負債ノ引續キ禁ズ
ルヤウナ條項ヲ、之ニ加ヘルヤウナ御
意思ハアリマセヌデセウカ

○星島國務大臣 實ハ是ハ全部前ノモ
ノハ解散シテ、新タナモノヲ設立ス
ル、斯様ナ建前ヲ執ツテ、看板塗替
ノ氣持ヲ一掃スルコトガ主デアリマ
ス、但シ其ノ中ノ大半ノ幹部ガ迭リ、
新タナル選舉ニ依ツテ出タ人ガ、同
ジヤウナ程度ノ仕事ヲナサル場合ニ
ハ、ソレ等ノモノハ一應解散シテ、
全部清算シテ、資産ヲソレハ出資
者ニ返スト云フヤウナコトヲセヌデ
モ、中ニハ大多數ノ御意向ニ依ツテ、
若シ是ガ大部分其ノ儘受繼ガレルヤウ
ナコトガアレバ、其ノ便宜ヲ何モ止メ
ル必要ハナイ、出來タモノガ極メテ民
主的ナ形ニ於テ出來マシレバ、其ノ邊
ノ便宜ヲ圖ツモ宜イ、斯様ナ考ヘデ
居リマスガ、是ハ今後運用ニ任セマ
シテ、看板塗替ニ依ツテ從來ノ統制者
ガ其ノ儘、中ニハ極メテ立派ナ人ガ
アルカラ、再び當選サレテ其ノ首腦部
ニナル人ガアルカモ知レマセヌガ、マ
ア衆議院議員ノ選舉ト縣會議員、町村
會議員ノ選舉トガ、若干其ノ追放ノ點
ニ於キマシテモ寬大デアリマシマス
ニ、施設組合ハ其ノ儘便宜シ、ソレ
カラ統制組合ニ致シマシテモ、今後改組
サレマシテ新タナモノガ出來ル場合ニ、
財産ノ處置ヤ或ハ封鎖預金等ノ處置ニ
付キマシテハ、精々便宜ヲ圖ツテヤリ
タイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマ
ス、併シ御説ノヤウナ、看板塗替ノナ
意味ノ援助ハ斷ジテ致サヌ、斯様ナ考
ヘデ居ルマシ

○山口(靜)委員 只今何故ニサウ云フ
ヤウナ質問ヲ申上ゲタカト申シマス
ト、從來組合ニ參加致シテ居ル方々ノ
多クガ、組合ニ依リマシテ何等カノ恩
惠ヲ受クルト云フコトハ更ニ考ヘテ居
リマセヌデ、寧ろ役所ノ出店ノヤウナ
關係ヲ持ツテ居リマシテ、組合ニ加入
セザレバ營業ガ出來ナイカラ、已ムヲ
得ズ加入ラシテ居ルト云フヤウナ、義
理デ組合費ヲ支拂ツテ居ルト云フヤウ
ナ實情ガ多クアリマシタ爲ニ、一部指
導者ノ組合ノヤウナ形ニナツテ居リマ
シタ、其ノ爲ニ、此ノ一部指導者ノ舊
勢力ヲ一掃シナケレバ、絕對ニ民主化
ヲ圖ルコトハ出來ナイト私ハ信ジテ居
リマス、故ニ從來ノ組合等ニ於キマス
負債並ニ資産等ノ引繼ヲヤリマス、
其ノ舊イヤハリ一ツノ交渉ト申シマセ
ウカ、何か後閣レゴザイマス爲ニ、
ドウシテモ民主化シタモノガコ、ニ設
立サレナイノデハナイカト云フ憂慮ガ
アルノデハナイカト存ジマシテ、只今
質問ヲ申上ゲタノデアリマス

○星島國務大臣 確カニ御説ノヤウナ
コトガアラウカト存ゼラレマス、ソコ
デ本當ヲ言ヘバ、同ジ事務所デ唯看板
ダケ協同組合ト書換ヘタト云フヤウナ
コトニナルノデハ、本當ハイケナイト
思フノデアリマスガ、併シソレハ極ク
特殊ナ例デアツテ、私ハ地方ニアリマ
スル多クノモノハ必ズシモサウデナ
イ、同ジ議事堂デ、ヤハリ憲法ガ變リ
マスレバ氣持ガ變ツテ參ル譯デアリマ
シテ、是ニハヤハリ從來ノ考ヘ方ガ、
逐次本當ニ民主的ニ總テノ國民ノ氣持
ガ變ツテ參リマスレバ、訓練サレマス
レバ、隨テサウ云フ點ハ漸次私ハ改
善サレルト思ヒマス、併シ此ノ邊替ヘ
ト言ヒマスガ、過渡期ニ當ツテハマ
ダマダ相當戰時型ノ氣持ガ失セマセヌ

デ、昨今統制會社其ノ他ノ點ニ付キマ
シテモ、一應尙ホ理事者ガ取締役トナ
リマシテ選舉ニ移リマシタケレドモ、
大半ノ職員或ハ其ノ他ノ氣持ハ、マ
ダ戰時型ガ去リマセヌ所ハ確カニ
見届ケルノデアリマスルガ、併シ漸次
時ガ經テマスルシ、又組織ガ變リマス
レバ、ヤハリ結果ト致シマシテハ自然
ト民主化サレマシテ、ソレ等ノ寧ろ此
ノ法ノ運用デ、是ハ政府ノ方モウシ
宣傳ニハ努メマスケレドモ、國民自ラ
ガ、組合員自ラガ自覺シテ行カケレ
バ、本當ノ目的ハ達セラレヌト思フ譯
デアリマスガ、併シ只今御意見ノヤウ
ナ弊害ノナイヤウニ、精々努メテ參リ
タイト思ヒマス

○山口(靜)委員 只今何故ニ致シマシ
テハ、ドウ致シマシテモ舊法ニ依ル組
合デ其ノ儘移行セシメルコトハ、政府
ニ於テ如何ナル監督或ハ調査ノ後ニ許
可スルト致シマシテモ、本質ニ變テハ
中々難カシイ問題ダト存ジマスガ、商
工大臣ニ於キマシテ其ノヤウナ御意見
デアリマスナラバ、何卒慎重ナル監督
或ハ御調査ノ後許可サシマスヤウ、
御願ヒ致ス次第デアリマス、私ノ質問
ハ是デ終リマス

○星島國務大臣 御趣旨ハ十分尊重致
シマス、殊ニ法律ノ面カラ見マスレ
バ、全然新イモノガ出來ル形ニナツ
テ居リマスカラ、唯實際面ト致シマシ
テサウ云フ結果ガアルダラウガ、ソレ
ニ對シテハ十分善處シタイト思ヒマス
○井田委員 今ノ山口サシノ質問ニ關
聯シテ一寸……私モ此ノ舊組合カラ資
産ヲ引繼グコトハ、非常ニ重大ナ問題
ダト思フノデスカ、大體協同組合ハ、
小サイモノナリ大キイモノナリノ、業
態ノ相似タ人ガ寄ツテ福利ノ施設ヲシ

テ行クト云フノガ一ツノ目的デスカ、
舊組合ハ全部ヲ網羅致シマシテ、サウシ
テ是ガ統制ノ組合ヲ作ツテ居ツテ、是
ハモウ上カラ下マデ全部ノ人ガ入ツテ
居ルノデ、結局此ノ資産ヲ一度解散シ
テ、組合員ニ全部引渡シテ、サウシテ
舊イ組合ヲ完全ニ解散シナイコトニ
ハ、協同組合ノ精神ハソコニ現ハレテ
來ナイト思ヒマス、又實際ニ於テ本法
ヲ作ツタ精神ガ全然現ハレテ來ナイ、
大臣ハドウモ、餘リ小サイ末端ノ方ハ
能ク御知りニナラヌカラ、今ノヤウナ
御答辯ヲナサルケレドモ、是ハ一番ハ
急所デヤナイカト思フノデスカ、此ノ
點ヲ一ツ大臣ニ再考シテ戴キタイト云
フコトヲ一應申上ゲテ置キマス

○星島國務大臣 施設組合ハ、先程御
答辯シマシタヤウニ大體引繼グコトヲ
原則トシテ居リマスケレドモ、統制組
合ハ此ノ法律ノ建前ハ引繼ガナイノデ
ス、全然新タナモノデアリノデスカ、唯
極メテ圓滿ニ總テガ行ツテ居ル中ニ、
今度出來上ルモノガ、新シイ參加者ガ
比較的少クテ、サウシテ同ジモノガ出
來上ツタト云フ場合ニハ、必ズシモソ
レヲ排斥セヌデモ宜イデハナイカ、併
シソレハ何モ政府ガ認メタ譯デアナイ
ノデアリマス、併シ法律ノ建前ハ、全
然別ナモノヲ作ルノダト云フコトニ徹
底シナケレバナラヌ、斯様ニ思ウテ居
リマス、御意見ハ尊重シテヤリマス

○井田委員 大臣ガ言フノハ、旨ク行
ツタラ宜イデヤナイカト云ハレマシタ
ケレドモ、大體舊イ統制組合ト云フモ
ノハ一定地域ノ全部ノ、其ノ味噌モ皆
一緒ニシテアルノデアリマス、是ガ協
同組合デ旨ク行ク譯ガナイ、デスカラ、
是ハ根本ガ旨ク行ク譯ガナイノデスカ
ラ、ソレヲ旨ク行ケレバ、必ズ看板

第六類第二十三號 臨時物資需給調整法案委員會議錄 第十二回 昭和二十一年九月二十六日

ノ邊境ダケデ、協同組合ノ精神ハソコ
ヘ發露シテ來ナイ、デスカラハ舊イ
統制組合一度完全ニ解消スルノニ
ハ、ドウシ、モ資産、負債ト云フモノ
ヲ全部清算シテ、次ノ協同組合ニ引繼
ガセナイト云フコトガ、一番大事ナモ
ノデヤナイカト思フノデス、商工省デ
許可スルシナイト言ツテモ、表面旨イ
モノガ來タラ許可シナイ譯ニハ行カナ
イノデスカラ、是ハ此ノ條項ヲ我々委
員會デハ是非入レテ裁キタイト云フ希
望ヲ持つテ居ルノデスガ、此ノ點商工
大臣、御考ヘト根本的ニ違フノデスカ
ラ、旨ク行ク譯ガナイ、行クト云フノ
ハ要スルニ看做ノ邊境ダケ、何カソコ
イ指導者ガ、自己ノ有利ナ立場組合
ヲ作ランガ爲ニヤルノデアツテ、根本
ハ旨ク行ク譯ガナイ、是非其ノ點ハ
商工大臣ノ御考ヘテ變ヘテ裁キタイ
○星島國務大臣 今一寸私ノ御答辯ガ
誤解ヲ受ケタカモ知レマセヌガ、引繼
ガナイノデス、法律ノ建前デハ全然
引繼ガナイノデスカラ、御心配ハナイ
ノデス、唯非常ニ圓滿ニ行ツタ場合
ハ——要ラヌコトヲ言ツタカラ誤解ヲ
招イタカモ知レマセヌケレドモ、全會
一致的ノ空氣デヤル場合ハ、何モソレ
ヲ排斥スル必要ガナイ、是ハ併シ法律
デ許ス譯デハナイノデスカラ、自ラ別
個ノ御話デス、井田君ノ御質問ノ通り
デ、左様デゴザイマスト言ツテ答辯シ
テ宜イカト思ヒマス

○中崎委員 私人極々簡單ニ商工大
臣ニ御尋ね致シマス、最初配給部
面ノ問題ニ關シマシテ一ツ質問申上
ゲマス、肥料國家管理法案ガ政府
ニ於テ考慮中ダト云フコトヲ傳ヘラレ
テ居リマス、肥料ノ生産ガ重要デアル
コトハ申スマデモアリマセヌガ、本年

ノ増産ノ報ヲ入レマシテ、幾分肥料
ニ對スル熱意ガ減退スルヤウデハ、更
ニ日本經濟再建ノ上ニ於テ、大ナル困
難ガ起ルコトガアリマスルノデ、此ノ
點ニ付テハ一層ノ熱意ヲ以テヤツテ戴
クコトハ勿論デアリマシテ、我が黨ニ
於キマシテハ、肥料ノ國家管理主張シテ
參ツテ居ル譯デアリマスルガ、政府ニ
於テハ、國家管理ヲ以テ之ヲヤツテ行
クト云フ方針ノヤウニ考ヘテ居リマ
ス

(委員長退席、加藤(一)委員長代
理著席)

就キマシテハ肥料ノ配給面ニ於キマシ
テ、日本肥料株式會社ヲシテ肥料ヲ一
手ヲ買入レ、之ヲ販賣セシメルト云フ
風ニ一般ニ考ヘラレテ居ルヤウデゴ
ザイマス、之ニ對シマシテ農業會ト致
シマシテハ、自分ノ組織ヲ末端マデ持
ツテ居ル關係上、之ヲ運用スルコトニ
依ツテ今後ノ肥料ノ配給ヲ一手ニ扱ヒ
タイト云フ風ナ、強力ナ反對ト言ヒマ
スカ、意見ガ玆ニ擡頭シテ居ル譯デゴ
ザイマスルガ、此ノ點ニ對シテ、政府
トシテハドウ云フ風ナ方針ヲ以テ臨マ
レルノカ、御答辯ヲ御願ヒ致シマス
○星島國務大臣 肥料問題ニ付キマシ
テハ、大體民間側ノ御意見、或ハ政黨
各派ノ御意見ハ、大凡モ盡キテ居ル
ヤウデゴザイマス、私ハ石炭問題ニ付
キマシテモ、丁度同様、此ノ議會中凡
ユル方面ノ御意見ヲ實ハ探ツテ居ツタ
ヤウナ譯デアリマス、サウシテ其ノ粹
ヲ集メテ最後ニ決定スル所ヲ、商工省
トシテハ決メテ譯デゴザイマス
ガ、併シ是ハ最後ハ、ソレハ、ノ委員
會ニ諮ツテ最後ノ應キヲ掛ケル、斯様
ナ方針ヲ執ツテ居ル譯デアリマスガ、
肥料ニ付キマシテモ同様デアリマシ

テ、大凡社會黨ノ意見、自由、進歩黨
ノ意見、其ノ他民間團體、産業團體
等ノ意見モ大凡出盡シマシテ、肥料行
政ハ斯クアルベキダト云フ所ニ、大凡
ノ項目ニ付キマシテハ略々出盡シタヤ
ウデアリマス、ソコデ最後ニ、今度出
來マシタ經濟安定本部ノ中ニ、肥料對
策委員會ト云フヤウナモノガ今設ケラ
レテ居リマシテ、之ニ依ツテ最後の
決定ヲシタイト思ツテ居リマス、現在
ノ制度ト致シマシテハ、「イデオロ
ギー」ニ因ハレズ、何處デモ増産
第一主義デヤツテ行ク、サウシテ世
中ガ落著イタ所デ徐ロニ考ヘテ行キタ
イ、斯様ニ思ツテ居リマス

○中崎委員 先程申シマシタ中デ、肥
料ノ一手買取りヲ日本肥料株式會社デヤ
シメルカ、或ハ農業會デ以テヤラシメ
ルノガ適當デアルカ、或ハ是等ノ兩方
ヲ取入レタ方法ニ依ツテヤラレル方針
デアルカ、其ノ點ヲ御答辯願ヒタイ
○星島國務大臣 農業會カラ今マデ何
百通ト云フ電報モ受取ツテ居リマス
シ、相當研究致シテ居リマスガ、今
所是ハ寧ろ農林省ノ所管デ、商工省ト
シテハ生産第一主義デ分擔シテヤツテ
居ル譯デアリマスガ、將來ノ方向トシ
テハ、今ノ日本肥料ハ寧ろ生産ノ方面
ニ移ツテ實ヒタイ、斯様ナ考ヲ以テ進
ンデ行キタイト思ツテ居リマス
○中崎委員 次ニ中小商工業ニ關スル
施設ノ問題ハ、非常ニ熱意ヲ以テ議會
各方面カラ叫バレテ居ル譯デゴザイマ
スカ、中小商工業ヲ助長スルト言ヒマ
シテモ、其ノ意味ガ極メテ漠然トシテ
居リマシテ、ドウ範圍ノモノヲ中小商
工業トシテ御取上ゲンアルノカ、金融
ノ面ニ於キマシテモ、或ハ資材ノ面ニ
於キマシテモ、其ノ他ノ政府ノ凡ユル

施設ト云フモノガ、此ノ中小商工業ノ
範圍ガハッキリシテ居ラナケレバ——
其ノ實體ガハッキリシテ居ラナケレ
バ、到底其ノ結論、目的ト云フモノガ
的確ニ得ラレナイノデハナイカト思フ
ノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ、モウ
少シハッキリシテ御考ヘテ此ノ際御聽
キシタイ、例ヘバ大工業トハドウ範圍
ヲ以テ大工業ト見ルカ、中工業ハドウ
範圍ヲ以テ見ルカ、小工業ハドウ範圍
ヲ以テ見ルカ、大中小ソレハ、ノ狀態
ガ違ヒマス、或ハ資産ノ狀態、營業ノ
狀態悉ク違ヒマスノデ、是等ヲ一括致
シマシテ、唯中小商工業ト云フヤウナ
概念ノ下ニ處理サレルニ於テハ、實際
適切ナル施設ガ行ハレナイノデハナイ
カト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テハ御答
辯ヲ御願ヒ致シマス

○星島國務大臣 此ノ間本會議、福
田君ノ御質問ニ對シテ、禪問答ノヤウ
ナコトヲ申上ゲテ笑ハレタノデアリマ
スカ、大體是ハ難カシイ一ツノ線デア
リマシテ、私ハ現在肥料トカ、紡績ト
カ、大キナ重工業、或ハ輕工業ニシマ
シテモ、大資本デヤツテ居ルモノヲ全
部取除ケバ、後ハ全部日本ノ仕事ハ中
小工業ダト考ヘテ居リマス、商工省ノ
仕事ハ、全局ヲ舉ゲテ其ノヤルコトハ
中小工業ノ助成ダト、斯様ニ此人間モ
御答ヘシタノデアリマスガ、併シ司令
部等ニ於キマシテモ、一體ドウ程度以
上ハヤラスマイト云フヤウナ、一定ノ
線ヲ考ヘテ居ルノデハナイカト思ヒマ
ス、一ツノ例ト致シマシテ、今度岡山
縣ニ出來テ居リマス三菱ノ飛行機工
場、是ハ龐大ナモノデアリマスガ、幸
ヒニ七割位機ヲ居リマス、是ハ政府
ノ所管トシテ、全部民間ニ貸與ヘテ宜
イト云フコトニナツテ、其ノ貸與ヘル

條件ニ、百人以内ノ勞務員ヲ使フ程度
ノ工場ト、斯ウ云フコトニナツテ居リ
マス、一面中小工業ヲ盛ンシヤレト云
フ激勵ヲ受ケテ居リマスノデ、ハ、ア、
是ハ關係係デハ中小工業トハ百人以内
ノ勞務員ヲ持つテ居ル、其ノ程度ノ仕
事ヲ言フノダナト云フコトモ想像出
來ルノデアリマス、從來ハ五百人以下
ノ勞務員デヤツテ居ルモノハ中小工業
ノ方ニ入レテ居リマス、併シナガラ今
後ノ貧乏シタ日本ニ於テハ、五百人位
ノ仕事ハ寧ろ大工業ト云フヤウナ部ニ
入ルカモ知レマセヌ、大體ノ概念ハ、
少クとも資本金ナラバ百萬圓以下、或
ハ勞務員ナラバ百人以下ト云フヤウナ
コトガ、法律ノ建前トシテ必要ニナツ
テ來ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角我々
ト致シマシテハ、全部ガ中小工業ニナ
ツタノダト考ヘテ、總テヲ、助成シテ
行キタイト云フコトヲ以テ、此ノ場合
ノ答辯ト御諒承願ヒタイノデアリマ
ス

○中崎委員 今ノ商工大臣ノ答辯ニ依
リマス、中小工業ヲ今後盛立テ、行
クト云フ風ナコトデ、全部ノ工場ガサ
ウ云フコトニナルト云フ建前ナラバ、
唯國民ヲ騙ス言葉ニ過ギナイノデハナ
イカト考ヘマスルシ、實際ノ施策ニ於
キマシテモ、中小工業ト云フ風ナモノ、
或ハ金融ノ面ニ於テ、例ヘバ今度ノ復
興金融庫ノ立場ニ於キマシテモ、中
小工業ニ對シテハ、アノ豫想サレタ資
金ノ中ノ幾ラヲ之ニ貸出シマスルカ、
更ニ又資材ノ面ニ於テモ、中小工業
ニ對シテハ如何ナル面ニ於テ、ドウ
云フ範圍ニ於テ盛立テルノカト云フ問
題ヲ考ヘテ見ルニ、必ズ打突カル大キ
ナ問題ダラウト思ヒマスノデ、此ノ問
題ニ付テハ速カニ科學的ナ一ツノ定義

ト言ヒマスカ、範疇ヲ與ヘラレマシテ、
中小工業ニ適切ナル施策ヲ講ゼラレン
コトヲ希望シテ已マナイノデアリマ
ス

次ニ臨時物資供給調整法ノ時ニ於キ
マスル政府ノ答辯ハ、重配給ニ依リ
マシテ少イ物資ヲ賄ツテ行ク、更ニ又
産業ノ復興ヲ行フテ行クノドト云フ御
考ヘノヤウデアリマスガ、大體政府ノ
考ヘテ居ラレマス重配物資ノ適用ヲ受
ケル範圍ト云フモノハ、非常ニ大キナ
工業或ハ商業ト云フモノヲ土臺トシテ
考ヘラレテ居ルノデハナイカ、本法デ
狙ツテ居ル所ノ、中小工業ニ依ツテ
出來上リマシタ商工協同組合法ニ對シ
テハ、如何ナル方針ヲ以テ、如何ナル
基準ヲ以テ、如何ナル範圍ヲ實際ノ割
當配給ガ與ヘラレノカドウカト云フ
コトヲ、少シ具體的ニ説明シテ戴キタ
イト思ヒマス

○星島國務大臣 前段ノ中小工業ニ對
スル概念ヲ明瞭ニシナト、金融等ニ
於テモ云々トノ御意見ハ御尤モト存ジ
マス、是等ハ假ニ復興金融庫デアリ
マスレバ、ソレニ參加サレテ居リマス
復興金融委員會ト云フモノガ、其ノ根
本ノ方針ヲ決メマスカラ、其ノ場合ニ
ハ中小工業ニ主シテ重點ヲ置イテ、
十分ナル金融ヲ圖ルト云フ場合ニハ、
必ズ其ノ御意見ガ出ルト思ヒマスカ
ラ、其ノ時ニ適當シタイト思ヒマス
ソレカラ今ノ問題ニ付キマシテハ、
假ニ一ツノ例ヲ以テ見マスレバ、重配
給ニ對シマスルカラト言ヒマシテモ、
何モ中小工業ニ關係セヌコトハナイ、
皆響イテ來ル譯デアリマシテ、假ニ先
程鐵道局長ガ發表シマシタヤウニ、今
年度八十萬俵近イ棉ヲ入レル、其ノ中
六割ハ見返リ物資ニ使フ、後ハ内地ノ

民需ニスル、其ノ仕事ハドウスルト云
フヤウナ割リ方ヲ決メテ行キマシテ、
其ノ他ハ皆中小工業デアリマス、其ノ
紡績等ヲ餘リニモ一貫的ニヤリ過ギル
ト、先程ノ御質問ノヤウニ、加藤君ノ
ヤウナ問題モ起リマスカラ、十分ニ其
ノ邊ニ按配シナケレバナリマセヌガ、
總テ末端ニ行キマスレバ、皆同ジヤウ
ニ私ハ響イテ來ルト思ヒマスカラ、需
給調整法ノ重點割當ナシカモ、決シテ
中小工業ノ方ニハ關係ナイコトダト云
フ意味デヤナシニ、全部ガ關聯シテ居
ルヤウニ私ハ考ヘマス、此ノ點モ御諒
解ヲ得タイト思ヒマス

○中崎委員 今マデ論議サレマシタ點
ハ主トシテ資材、金融、組織ト云フ風
ナ方面カラ考ヘラレタ譯ゲゴザイマス
ルガ、日本ノ中小工業ノ眞ニ發達サセ
ル爲ニハ、商工業道德ノ昂揚ト云フコ
トハ是非トモシナケレバナラス點デヤ
ナイカト思ヒマス、今マデ市場ニ出テ
居ル品物ガサウデアリマスルガ、買ツ
テ來テ見ルト値段ガ馬鹿ニ高イノデア
リマス、所ガ使ツテ見ルト一遍ニ駄目
ニナツテシマフト云フ物ガ、アチラコ
チラニ氾濫シテ居ル狀態デアリマス、
是ハ將來日本ガ又輸出スル場合ニ、其
ノ面ヲ擔當スル中小工業ニ期待スル所
ハ非常ニ大キイ譯ゲゴザイマスルガ、
此ノ部面ニ於テモ、ヤハリ今ノヤウナ
觀念ヲ持ツテ、昔ハ惡カラウ安カラウ
ダツタモノガ、今度ハ惡カラウ高カラ
ウト云フ狀態ニ於テハ、到底世界の水
準ニ立ツタ日本ノ商工業ノ發展ハ望ミ
得ナイト考ヘラレマス、是ハ將來ノ問
題ト致シマシテモ、差迫ツタ現在ノ問
題ト致シマシテモ、商工業道德ノ昂揚
ハ是非必要デハナイカト考ヘマス、之
ニ對シ此ハ組合ノ運用ニ依ツテ其ノ點

ヲ是正スルコトハ出來マスルガ、更ニ
私ハ政府トシマシテモ、積極的ニ商工
業道德ノ昂揚ニ付テ特ニ御配慮願ヒタ
イ、更ニ又此ノ協同組合法案ノ法規ノ
中ニモ、製品ノ検査ト云フ條項ヲ差入
レルコトニ依ツテ、自發的ニ此ノ組合
ガ製品ノ良心的ニ作ツテ行ク途ヲ開ク
必要ガナイカト考ヘテ居ル譯ゲゴザイ
マスルガ、此ノ點ニ付テノ商工大臣ノ
御意見ヲ伺ヒタイ

○星島國務大臣 洵ニ御意見御尤モ
デ、私ハ殊ニ商工業者ニ付キマシテハ、
其ノ點ニ十分ノ意ヲ用ヒテ行キタイ、
一種ノ精神運動ヲ起サナケレバナラ
ヌ、是ハ日本ガ起上ル根本ダト私ハ思
フノデアリマス、今ノ安カラウ惡カラ
ウガ、高カラウ惡カラウトナツタ大
變ナコトダト思ヒマス、其ノ點ハ私ハ
何モ法律ノ力ニ依ツテノミ、サウ云フ
コトヲヤルコトハ到底不可能ト思ヒマ
スケレドモ、出來ルナラバ是ハ刑法ヲ
改正シテデモ——一時日本デモ、ナイ
鉛筆ヲ「エジプト」ニ送ツテ酷イコトヲ
ヤツタ者ガアリマスガ、サウ云フ奴ハ
國家ヲ毒スルノデアリマスカラ、嚴罰
ニ處スルト云フ法律サヘモ私ハ制定ス
ベキダ、斯様ナ考ヘヲ以テ御意見ニハ
最モ共鳴スルモノデアリマス、尙又協
同組合ノ運用ニ付キマシテハ、勿論私
ハ今ノ検査制度、ソレモ自主的ナ、協
同的ナ意味ニ於テ組合検査等ハ當然ナ
サレル譯デアリマスカラ、寧ロサウ云
フコトコソ、私ハ協同組合ノ祖フ所
ダ、斯様ニ考ヘマス

○中崎委員 ソレカラ技術ノ面ニ付テ
同ヒマスガ、技術方面ノ指導ニ付キマ
シテハ、色々質疑應答ガアツタヤウデ
アリマスガ、私ハ更ニ手取早イ意味
於テ、工業試驗所ノ如キモノヲ擴充ス

ルコトニ依ツテ、絶エズ此ノ中小商工
業者、或ハ此ノ組合ガ之ニ相談ヲ持掛
ケルコトニ依ツテ、其ノ技術ノ指導ヲ
受ケルト云フ風ナ機構ニシテ貰ヒタイ
ト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ
ドウ考ヘテ居ラレカ、伺ヒタイト思
ヒマス

○星島國務大臣 ソレモ検査所ト同ジ
ヤウニ、一ツ本當ニ、若シ政府ニ機關
ガアレバ、近所ノ試驗所ト組ミマセウ
シ、或ハ協同組合ガ將來非常ニ發達シ
タモノガ出來マスレバ、組合自ラガ試
驗所ヲ設ケラレテモ結構ダケレドモ、
唯今日ノヤウニ非常ニ財政ノ足ラヌ時
ニ、新ラシイ機關ヲ中々設ケル譯ニ行
キマセヌカラ、現在アリマスル色々ナ
機關ヲ十分利用シタイ、サウシテ尙ホ
足ラヌ場合ニハ、私ガイツカモ本會議
デ申シタヤウニ、文部省ノ工業學校ト
組合ツテ行クコトヲ考ヘテ、是ハ今研
究ハ依頼シテ居リマスガ、ドウ云フ風
ニ組合ツテ行クカ、是ハ地方ノ特殊ノ
産業、假ニ名古屋地方デ陶器ナラ陶器
ノ産業ガアレバ、名古屋ニハ必ズ陶器
ニ關スル色々ノ試驗所、機關、教職員
ガアル譯デアリマスカラ、サウ云フモ
ノヲ旨ク組合スヤウナ方法、特ニ纖維
ノ盛ナ所、サウ云フ所ニハソレ、
ノ工業學校ガアリマスカラ、サウ云フ
モノト取組ンデ——學校ト云フモノ
ハ、必ズシモ机上ノ上デ教ヘル行キ方デ
ナイ行キ方ヲ、今後ヤツタラドウカト
云フ考ヘ方ヲ致シマシテ、丁度御意見
ノヤウナコトヲ、何カ形デ現ハシテ行
ク爲ニ、協同組合ヲ利用スルト云フコ
トニ持ツテ行ツタラドウカト考ヘテ居
リマス

○中崎委員 最後ニ、是ハ昨日モ委員
カラ質問デアッタ、商工會議所ノ人的

構成ノ問題ニ付テ御尋ネシマスガ、從
來商工會議所ハ、財閥トカ或ハ大工業
カ商人ノ代辯的ノ存在デアッタノデゴ
ザイマス、所ガ今日ニ於キマシテ、此
ノ機構ガ改正サレマシテ、新シク商工
會議所ガ出來ル譯デアリマスガ、以前
ノ人々ガ依然トシテ大キナ力ヲ占メテ
居リマシテ、實際ニ於テ我々ノ望ンデ
居ル中小工業者ノ立場ガ取入ラレレ
ルト云フ機構ニハナツテ居ナイノデハ
ナイカ、寧ロ斯ノ如キ機構ハ、中小商
工業者ヲ主トシタ機構ニ變ツテ來ベキ
デヤナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス
ルガ、ソレガ昨今アチラコチラデモチ
ラホラ問題ニナツテ居ルヤウデアリマ
スガ、政府ニ於キマシテハ、特ニ此ノ
點ニ留意サレマシテ、此ノ機構ヲシ
テ、眞ニ——今マデノヤウナ封建的ナ
或ル一部ノ階級ノ利益代表機關デ
アルガ如キ存在トナラシメナイヤウナ
注意ヲ御願ヒシタイ、斯ウ云フヤウニ
思ツテ居ル譯デアリマスガ、之ニ付テ
御意見ヲ伺ヒタイ

○星島國務大臣 御意見ノ通りニ考ヘ
テ居リマス、ソレハ一ツハヤハリ國民
自ラガ目覺メテ、訓練サレテ來ナケレ
バナラス、併シ將來大キナ工業ト云フ
モノハ、實ハ先程申シタヤウニ段々ナ
クナルヤウデスカラ、私ハ現在ノ改組
サレマシタ新シイ商工會議所ガ出來ル
場合、大部職キマスレバ中小工業者ガ
其ノ儘入ツテ居ル所モアリマスガ、中
ニハ餘リ「メンバー」ガ殖エル場合、
出來レバ其ノ代表者ガ參加スル、或ハ
組合デ以テ參加スルト云フコトモ考ヘ
ラレマス、ソレハ其ノ地方々々向キ
向キノモノガ出來テ宜イ、併シ考ヘ方
ハ、只今御意見ノヤウナ調子ニ、一ツ
從來ノ型カラ離レテ、本當ニ友愛ノ精

神ニ滿チタヤウナ、上下ナシノ出來方ト云フモノヲ期待シテ居ル譯デアリマス

○中崎委員 有難ウゴザイマシタ、之ヲ以テ商工大臣ニ對スル質問ヲ打切りタイ

○加藤(一)委員長代理 ソレデハ金子サシ澤田サシノ商工大臣ニ對スル御質問ハ午後大臣御出席ノ上デハツテ戴クコトニシテ、是デ休ミマス、午後ハ一時カラ正確ニ會議ヲ開キマス

午後零時十六分休憩

午後一時十分開議

○加藤(一)委員長代理 午前中ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス——布君、鐵道局長ハ直グ見エマスカラ、課長デ宜シイ點ヲ一ツ……

○布委員 私ハ特ニ平面的ニ御尋ネリシタイト思ヒマス、産業組合カラ協同組合法ニ移リマス説明ヲ色々今マデ聴キマシタケレドモ、ハツキリト短イ言葉デニツノ姿ヲ分ケテ戴ケバ、私達ガ他ノ人カラ聴カレテモ、自分自身デ返答ガ出來ルノデスガ、今マデノ御説明ヲ頭ノ中ニ入レテ置キマス、外カラ質問ヲ受ケテモ非常ニ答ヘガシニクイノデス、ドウカ短イ言葉デ、産業組合カラ協同組合ニ移ル其ノ性格ノ相違、ドウシテ移ラナクバナラナカツタカ、ソレニ變ツタコトヲ、一ツ我々共ニ説明シテ戴クト大變便利ダト思ヒマス

○小出政府委員 産業組合法カラ始マリマシテ、各種ノ組合制度ガ其ノ間ニ發生致シマシテ、今度ノ商工協同組合ニ至ツタ譯デアリマスガ、其ノ間ノ特ニ産業組合トノ關係ニ付キマシテノ御尋ネデアルヤウニ考ヘルノデアリマス

ガ、御承知ノヤウニ、産業組合法ハ明治三十年前後ニ發生致シマシタ非常ニ古イ制度デゴザイマシテ、元來此ノ産業組合制度ノ祖ヒト致シテ居リマシタノハ、産業ト云フ非常ニ廣イ言葉ガ使ハレテ居ルコトカラモ分リマス、ヤウニ、必ズシモ農業團體ニ限ラズ、商業者デモ工業者デモ、凡ソ産業關係ノモナラバ此ノ産業組合ヲ組織出來ル、斯ウ云フ建前ニナツタノデアリマシテ、其ノ中ニハ御承知ノヤウニ信用組合、販賣組合、購買組合、利用組合ト云フ四種類ノ組合制度ガ入ツテ居リマシテ、大體略々此ノ協同組合ノ思想ノ下ニ運籌出來ルヤウニナツテ居リマシタデアリマス、所ガ實際上産業組合法ノ今日マデノ發達ノ歴史ヲ見マス、主マシテ先ヅ是ガ農村地方ニ發達ヲ致シマシテ、恰モ産業組合ト云フモノハ農業團體デアルカノ如キ沿革ノナ發達ヲシテ參リマシテ、自然産業組合法ヲ所管致シテ居リマスル官廳モ、農林省ガ主トシテ之ニ關係致シマシテ、商工省ハ殆ド關係シナイ、商業者、工業者ノ産業組合ト云フモノハ殆ド出來マセヌデ、曾アズツト昔ニ軍ノ發註品等ニ關スル下請工業ノ産業組合ガ、高知縣カ何處カ出來タコトガアル位デアリマシテ、殆ド商工業者ニハ利用サレナカツタ、利用出來ルヤウナ恰好ニナツテ居ツタニモ拘ラズ、歴史的ニ是ガ農村ダケニ發達ヲ致シマシタノデ、産業組合ハ即チ農業團體デアル、斯ウ云フ風ナ發達ヲシテ參リマシテ、自然商工省關係ニ於キマシテハ、大正十四年ニ至リマシテ、工業組合ガ出來、昭和七年ニ至リマシテ商業組合ト云フ制度ガ出來マシタ、此ノ商業組合、工業組合ヲ一緒ニ致シマシテ、昭和十八年、戰時

中ニ現在ノ商工組合法ガ出來タノデゴザイマス、ソレヲ今同商工組合法ヲ廢止致シマシテ、之ニ代ルモノトシテ商工協同組合ト云フ制度ヲ作ル、歴史的ナ順序ヲ申上ゲマスレバ、サウ云フ風ナコトニナツテ居ルノデゴザイマス、然ラバ産業組合ト商工協同組合トハドウ云フ點ガ違フカド云フコトニナリマス、其ノ目的カラ申シマシテモ、先ヅ産業組合ト云フモノハ、組合員ノ産業、ソレカラ個々ノ組合員ノ經濟ノ發達ト云フ文字ガ使ツテアリマスガ、此ノ經濟ノ發達ト云フ意味ハ、家庭經濟、家計經濟ト云フ意味デアリマシテ、詰リ組合員ノ産業ノ合理化ト云フ風ナコトヨリハ、寧ロ日常消費生活ノ經濟上ノ、家計上ノ改善、家計上ノ利益ヲ増進スルト云フ風ナ、極メテ私的ナ考ヘ方ニ出發シテ居ル色彩ガ強イノデアリマス、之ニ反シマシテ、協同組合ト云フモノハ、ヤハリ組合員個々ノ事業其ノモノノ經營ノ合理化、ソレヲ通ジマシテ全體トシテノ商業ナリ工業ノ改善發達ヲ圖ツテ行カウト云フ風ナ狙ヒガ遠ツテ居リマス、サウ云フヤウナ點カラ致シマシテ、其ノ行ヒマスル事業等ニ付キマシテモ、種々ノ點ニ於テ相違ガアル譯デアリマス、隨ヒマシテ今回新タニ、略々其ノ根本精神ニ於テハ、協同組合のナ精神デアルト云フ點デ類似致シテ居リマスルガ、別個ニ商工協同組合ト云フモノヲ新シイ制度トシテ設ケルコトニ致シタ次第デアリマス

○布委員 今ソレヲ承リマシテ考ヘマスコトハ、時ノ流れニ迎合スル、又ソレヲ利用スルト云フ建前ヲ、私ハ古イ産業組合ガ取ツタモノデアルト考ヘテ居リマシタラバ、ヤハリ考ヘノ通りニナツタ、ソレガ看板發達ノ言葉ガ激シイノデアリマスガ、結局其處ヘ落着イテ行ク、何ト申シテモ看板發達ニシカナリマセヌ、サウスレバ新産業組合ト云フヤウナ名前ニシテ戴イタ方ガ私ハ宜カッタラウト思フ、茲ニ協同組合ト云フ別個ノ言葉ヲ便ハレタト云フコトハ、ヤハリ協同スルト云フコトガ時世ノ流れノ文字デアルカラト云フノデ、斯ウ云フ文字ヲ御使ヒニナツタノデヤナイカト云フ感ジガ起ツテ來ルノデアリマス、私共ガ心得テ居リマスル「コーペラテイヴ・ソサエティ」ト云フモノハ御適用ニナツテ居ラヌ「コーペラテイヴ・ソサエティ」ナルモノガ、日本デ之ヲ譯シテ産業協同組合トナツテ居ルノデスカラ、其ノ經濟公式論ヲ外レテシマツテ、時ノ流れト迎合シテ行ク、利用シテ行カウト、是デハヤレヌカラ一ツ此ノモノヲ作ツテ行カウト云フノデアリカ、曩ニ商工大臣ガ申サレタヤウナ、鉛筆ノ形ヲシテ居ツテモ中ニ蕊ガナイト云フノハ、是ハ昔カラ日本ノ貿易品デス、其ノ通り、是ハ鉛筆ノ蕊ノナイ協同組合ト云フ名前ダト私ハ思フ、「コーペラテイヴ・ソサエティ」ナルモノノ經濟的ナ公式論ト云フモノヲ離レテ、之ヲオヤリニナルト云フ所ニ、モウ既ニ看板發達ノ、惡イ言葉デ言ヘバ、マア人ガ知ラヌカラ胡麻化シテ置カウカト云フ——商工省ニ於テ「コーペラテイヴ・ソサエティ」ナルモノノ公式論ヲ御承知デナイ管ハナイノデス、又實際云フト、本ハ幾ラモアリマスガ、是ハ外國ヘ行ツテ——今ハ行カレマセヌケレドモ、戰前デモ行ツテ「コーペラテイヴ・ソサイテイ」ナルモノヲ專門ニ、何處ノ國ハドウ云フ風ニ使ツテ居ルカ「アメ

リカ」ハドウ云フ風ニソレヲ活用シテ居ルカ、運籌ノ實體ヲ十分ニ頭ニ入レテヤラナイト、唯アノ公式論ナルモノヲ、活字ノ上ノモノダケヲ頭ニ入レタノデハ、私ハ運籌ト活用ニ誤リヲ生ズルト思ヒマス、ケレドモソレサヘモ御入レニナツテ居ラヌ、其ノ活字ノ上ニ現ハレタモノサヘモ御入レニナツテ居ラヌ、運籌ナドト云フモノハ、ソレカラ先ニ起ルノデスガ、其ノ大本ニナルモノサヘモ頭ニ入レナイデ、サウシテ産業組合ヲ、時ノ流行リダカラト言ツテ、二、三十年前ニ之ヲ使ツテ來タ、ソレガ今度ハ戰敗シタ國ダカラ協同組合ト云フ名前ナラ宜カラウト云フヤウナ、思ヒ付キデ以テオヤリニナツタ感ジヲ私ハ受ケザルヲ得ヌト云フコトニナツテ來ル、サウスレバ私ハ寧ロ斯ウ云フ文字ヲ御使ヒニナラヌ方カ宜イト思フ、「コーペラテイヴ・ソサエティ」ナルモノニ鉛筆ノ蕊ノナイヤウナコトヲ、是ハ「コーペラテイヴ・ソサエティ」ダト、マア言ヒハサレマセヌ、ケレドモ譯ハソコヘ行ツテ居ルト思フ、私ハ別ニ修正ナドト云フコトニ對シテ強イコトハ申上ゲマセヌガ、ソコハ良心的ナ問題ダラウト思ヒマス、ソレデ看板發達ト云フ感ジガ起キテ來ルシ、茲ニ此ノ法案ノ前途ガ心配サレハ、此ノ點ニ付テ小出サンカ今話ヲ聽イタノデスカラ、今度ハ松田サンカ一ツ話ヲ聽キタイト思ヒマスガ、松田サンハ實ニ懇切ニ、正直ニ熱ク持ツテ、小出サン同ジニ洵ニ能クモノヲ知ツテ居ラレ、其ノ意味ニ於テ、簡明ニ我々ノ分ルヤウニ説明シテ戴キタイト思ヒマス

○松田(本)政府委員 協同組合ノ問題ニ付キマシテ、之ヲ鐵維ノ方ノ立場ヲ

考ヘテ見マスト云フト、御承知ノヤ
ウニ戰時中ト申シマスカ、或ハ終戦後
比較の最近マデニ於ケル色々ノ情勢ヲ
考ヘテ見マス場合ニ、業界ノ總意ト申
シマスカ、業界ノ協力ト申シマス
カ、サウ云ツタ業者本當ニ活キタ力ナ
リ、氣持ト云フモノヲ守リ立テテ行ク
ト云フコトガ、當時ノ國家ノ已ムヲ得
ザル要請トハ申スモノノ、兎角サウ云
フ方ガ輕視サレマシテ、自然總テガ統
制會社デアルトカ、或ハ同ジ組合ニシ
マシテモ統制組合デアリマスドカ、所
謂當時ノ流行リノ指導者原理の考ヘ方
ニ依ツテ運行サレテ居ツタノデ
アリマス、併シソレニ依ツテ此ノ戰
時中ニ於キマシテモ、正直ニ申シマシ
テ、十分ノ生産ヲ擧ゲテ居ツタカドウ
カト云フコト疑問デアリマスシ、況ヤ
戦後ニ至リマシテ、本當ニ各業界ノ方
方ノ創意ナリ、工夫ナルモノヲ十分
活カシテ、サウシテ足ラザルヲオ互ヒ
ニ補ヒ合ツテ生産ニ邁進シテ戴クナ
リ、又サウ云ツタモノヲ極力適切ニ配
給ノ方ニ向ケテ行クト云フヤウナコト
ヲ考ヘマシテモ、ドウシテモ茲ニサウ
云ツタ方々ノ自由ヲ氣持カラ、本當ニ
一體ニナツテ結合スルト云フヤウナ意
味デノ組合ト云フモノヲ作ル必要ガア
ルノデヤナイカ、ソレガ恐ラク今度ノ協
同組合ヲ作ラレマシタ一ツノ大キナ精
神の氣持ニナツテ居ルと思フノデア
リマス、特ニ今日時間等ノ問題モ非常
ニ叫バテ参リマシテ、先程來加藤委
員カラモ御話ガアリマシタヤウニ今後
ノ日本ノ産業ト云フモノヲ興シテ参リ
マス爲ニハ、飽クマデ中小ノ工業者ト
云フモノヲ本當ニ守リ立テル、又サウ
スル以上ハ中小ノ工業者モオ互ヒニ協
力シ合ツテ、或ハ共同施設ヲ作ルナ

リ、或ハ原料其ノ他ヲ一緒ニナツテ買
フナリ、又出來タモノヲソコデ一緒ニ
ナツテ他ノ方ニ廻ハスナリ、サウ云ツ
タコトハ飽クマデシテ行クト云フコト
ガ、又今日ノ情勢カラ見マシテ、中小
工業者ノ本當ノ育成ト申シマスカ、育
成ト云フ言葉ハ失禮デアリマスガ、寧
ロ中小工業者ノ自發的ノ發展ヲシテ行
カレル上ニ於テ、政府ガ幾分ナリトモ
御役ニ立ツ行キ方デヤナイカト、斯
様ニ考ヘテ居リマシテ、是ヲ鐵維ノ方
ニ考ヘマシテモ、出來ルダケ生産ノ方
ニ從事セラレテ居リマシタヤウナ從來
ノ團體ノ方ハ、此ノ協同組合法案ガ通
過サレマシタ際ニ於キマシテハ、一刻
モ速カニ協同組合ヲ設立シテ戴ク、サ
ウシテソコデソレノ自治性ヲ發揮
シテ戴キテ、原料ナリ、資材ナリ、サ
ウ云フモノヲオ互ヒノ力ニ依ツテ確
保シ、又オ互ヒニ融通シ合フト云フヤ
ウナ行キ方増産ニ勵ムデ戴キテ、之ヲ
又鐵維ノ問題ニ付テ言フナラバ、國民
ニ配給シマス場合ニハ、別ニ又配給機
關ト云フモノハ考ヘテ居リマスガ、飽
クマデサウ云フ場合ニ、特ニ生産増
強、或ハソレニ依ツテノ中小工業者ノ
御互ヒノ發展ト云フ點カラ、此ノ協同
組合ト云フモノヲ、出來マシタ際ニ於
キマシテハ、我々トシマシテモ出來ル
ダケ活用シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ
居ル次第デアリマス

○布委員 此ノ法案ハ別ニ逐條審議ガ
ドウト云フ必要モナク、重點ハ私ハ今
申上ゲル所ニアルト思フ、君ハ井田委
員ニシテモ、又山口委員ニシテモ、今
日午前中ニソコニ觸レテ居ル、其ノ他
ノ委員ノ方モヤハリ之ニ觸レテ居ルト
思ヒマスガ、問題ノ核心ト云フモノハ
ソコニアルト思フ、ソレハ自由意思ヲ
尊重スルノデスケレドモ、自由意思ト
云フモノガ組合員ノミノ自由意思ニナ
ツテ居ル、ダカラ組合員以外ノ者ノ自
由意思ハ入ル道理ガナイト云フコトニ
ナル、組合ノ中ノ自由意思ハ云フ
コトニナツテ居ル、ソレハ組合ダカラ
當然ダ、併シ其ノ中ニアル組合ノ
自由意思ナルモノモ、正シイ自由意思
ト慾ノ強イ自由意思——已レヲ忘レタ
強慾ノノモ組合ノ自由意思ナンド、自
由意思ニ任スト云フ文字モアリマス
シ、合理化ト云フ文字モ大分出テ居リ
マスガ、合理化ヲスルト云フノハ、是
ハ抽象論デス、サウスルトヤハリ此ノ
組合法案ハ私ハ非常ニ抽象的ナ法論ニ
シカ終ラヌト思フ、ダカラ大ナル財閥
ガ潰レタト云ハレマスガ、ソレハ形ノ
上ニ於テハ潰レタガ、ソレガ分散シテ
今日潰レテ居ラヌト私ハ思フノデス、
是ハ考ヘ方ダカラ違ヒマスケレドモ……
サウシテ中小ノ者ニ組合ヲ作ラセテ
行カセヨウトスル、此ノ中小ノ中ヘ
大財閥ノ分裂サセタ形ノモノ、而モソ
レハ内實分裂シテ居ナイノガ、分裂ノ
姿ヲ以テ此ノ組合員ノ中ニ入ツテ來テ
居ル、ソレハモウ財閥ハ潰レテ小サク
ナツタノダカラト云ウテ中ニ入ラレテ
居ツテモ、事實上ノ大キナ根元ハ消エ
テ居リマセヌ、サウスルトドモナリマ
スカ、此ノ中小ノ狙ヒハ、結局大ト云
フモノトヤハリ提携シテ居ル譯ナド
ス、此處ヲ一寸御考ヘニナラヌトイ
ケナイ、(コーペラテイイグ、ソサエ
テイ)デナイト仰シタルナラ構ハナイ、
「コーペラテイイグ、ソサエテイ」ノ公
式論ダツタラ駄目デス、サウ云フモノ
ハ「コーペラテイイグ、ソサエテイ」ニ
アリマセヌ、ダカラ新産業デオヤリニナ
レバ何モ文句ハナイノデス、ドウシテ

コソナ經濟公式論ニ由來ノアル文字ヲ
取ラレタカ、大體之ニハ資本金ト云フ
モノガ限度ガアリマス、其ノ限度ナド
ト云フモノハ一ツモ私ハ見當ラヌ、幾
ラデモ伸ビレバ伸ビル程宜イ、(コー
ペラテイイグ、ソサエテイ)ナルモノ
ハ、伸ビルコトノ出來ナイヤウコソ
縛ラレテ居リ、資本金ニ限度ガアル、
其ノ外ニマダ限度ガアリマス、眞ノ中
小工業ヲ護ル爲ニ相互扶助ノ爲ニヤツ
テ居ルノデアツテ、之ニハ非常ナ緩ミ
ヲ持タセテ居ル、是ガ詰リ資本ノ限定
ノナイモノハ、何處マデ肥ルカト云フコ
トニナル、初メ「スタート」ヲ切ル時ニ
ハ中小小引摺ツテ行ツテモ、事實ハ何
處マデ擴大シテ行クヤラ分ラナイモノ
ヲ、ワザノ知ツテ居ツテ御作リニオ
ルト云フ商工省ノ御方ノ氣持ガ分ラナ
イ、アナタ方ノ方ハサウ云フコトヲ知
リ抜キナノデスカラ、ソレニ付テ知リ
抜カレテ居ル人ニ、此ノ御返事ヲ言
ウテモ都合ガ惡イデセウケレドモ、併
シナゼ限度ヲ御決メニナツテ居ラヌカ
ト云フコトニ對スル御返事ヲ一ツ戴キ
タイ

○小出政府委員 商工協同組合ノ根本
精神ト申シマスカ、其ノ趣旨ハ、申ス
マデモナク中小ノ業者ヲ主眼ト致シマ
シテ、中小ノ工業者ノ一人々々デハ極
メテ不合理ナ經營形態ニナツテ居リマ
スルモノヲ、共同ノ力ヲ合セルコトニ
依リマシテ、大規模ノ經營者ガ持ツテ
居リマスノ同ジ經營ノ合理性ヲ與ヘ
ウツト云フ所ガ、其ノ主ナル狙ヒデ
ザイマシテ、御話ノヤウナ協同組合精
神ト云フヤウナ基礎ニ一應立合致シテ
居ル譯デアリマシテ、組合ノ名稱等ニ
於キマシテモ、サウ云フ風ナ趣旨カラ
致シマシテ協同ト云フ文字ヲ使ツタノ
デゴザイマスガ、御指摘ノヤウニ、終
戦後ニ於キマシテ財閥ノ解體、軍需産
業ノ消滅ニ伴ヒマシテ、大企業者ト云
フモノガ段々解體セラレテ來ル、隨ヒ
マシテ今後日本經濟ノ中堅ト申シマス
ルカ、中核ヲ成スモノハ中小商工業
デアルト云フコトハ、殆ド常識ノ如ク
言ハレテ居ルノデアリマスルガ、其ノ
際ニ我々ト致シマシテモ十分警戒シテ
居リマスル點ハ、單ニ大企業者、大財
閥ガナクナツテ、其ノ代リニ中小商工
業ガ之ニ代ツテ登場スルノダト云フ風
ナ、單純ナ考ヘ方ヲ持ツテ居ル譯デハ
ナイノデアリマシテ、其ノ際ニ御話ノ
ヤウニ、一應大企業ノ形態ハ形ノ上ニ
於テハナクナリマスルケレドモ、實ハ
分散致シマシテ中小ノ段階ニ下ツテ來
テ、大企業者自ラガ中小ノ段階ニ下リ
テ來テ、中小商工業ヲ壓迫スルト云フ
風ナ慮ガ尙ホ今日全然ナイデハナイト
考ヘラレマス、隨ヒマシテ今後協同組
合ノ組織等ノ中ニ、サウ云ツタ財閥ノ
解體セラレテ居リマスルケレドモ、實質
上緊カシアルヤウナ勢力ガ協同組合
ノ中ニ支配のニナツテ來ルト云フコト
ハ、當然協同組合ノ運営上十分注意シ
ナケレバナラナイ點デアリマシテ、政
府ト致シマシテモ、協同組合ノ設立ノ
意義カラ、或ハ定款、事業ノ運營等ニ
付キマシテハ十分注意ヲ用ヒマシテ、再
ビサウ云フ風ナ弊害ガ起ラナイヤウニ
致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ法律
ノ上ニ於キマシテ、組合自身ノ資本金
額ノ制限ガナイト云フ點ニ付キマシテ
御質問デアリマスルガ、是ハ大體組合
ノ事業運營ニ依リマシテ、ソレノ業
種別ニ色々ノ事業ヲ行ヒマスルシ、ソ
レニ要シマスル資金ノ内容ナリ、金額
等ニ付キマシテモ、各種ノ團體ガアラ

ウト思ヒマスノデ、之ニ付キマシテ
劃一的ナ最高ノ基準ヲ設ケルト云フコ
トハ寧ロ不適當デ、組合ノ自由ナル活
動ヲ妨ゲル虞ガアル、斯様ニ考ヘマシ
テ、資本金額等ニ付テハ別ニ制限ヲ設
ケテ居リマセヌ、併シナガラ若シモ協
同組合ガ非常ニ巨大ナル一恰モ會テ
ノ財閥ノ如キ巨大ナル企業形態ニナ
ル虞ガ、サウ云フコトハナイド思ヒマ
スルガ、萬一サウ云フ風ナ發展形態ヲ
示シテ參リマシタ場合ニハ、最早是ハ
協同組合ノ本來ノ精神ヲ逸脱スルモノデ
アリマシテ、サウ云フ場合ニ於キマシ
テハ、之ニ對シマシテ他ノ何等カノ
方法ニ依リマシテ、適當ナル「コン
ロール」ヲ加ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○布委員 其ノ點極メテ明白ニナリマ
シタ、唯マ頭ニ入リマセヌノハ、山
口委員ノ質問ヤ、井田君ノ關聯質問ト
同ジコトナリマスガ、詰リ法律デ形
ノミヲ變ヘテ居リマスケレドモ、マダ
後ニ大部殘物ガ残ツテ居ルト思フノデ
ス、是ハ書面デハドウニデモナルガ、
人間ガ實際ニ變ツタノデハナイ、ソコ
ニ大キナ「ハンディキャップ」ガアル、
幾ラ自治的ニ自治的ニト言ハレテモ、
組合ノ中ニ同ジ箇ガ出テ來ル、是ガ皆
戰爭ノ失敗ニ關係アル人、之ヲ新シ
ク結集シテ外形ヲ整ヘテ貰ヒタイト云
フノガ、私ハ皆ノ肚ノ中ノ念願デアラウ
ト實ハ思フノデス、昨日ノ質問ノヤウ
ニ、轉廢業者ハモウ金ヲ貰ツタノダ、
ソナ者ハ組合ニ入ツテ來テハ困ル、
外地カラ歸ツテ來タ者モ入ラレハ困
ル、斯ウ云フ説マデ出タヤウデスガ、
私ハ其ノ時外ニ出テ居タノデ、小出政
府委員ノ答ヘラレコトヲ聞カナカッ
タケレドモ、ホンノ一口デ宜イカラ、

外地カラ歸ツテ來タ悲慘ナ姿ノ者、
「サーベル」ノ力デ泣ク泣カレズ止
メサセラレタ者、一方デハ止メナカッ
タ者ガ如何ニ今日幸福ナ生活ヲ獨占シ
テ居ルカ、此ノ大キナ凸凹ニ對シテド
ウ御考ヘニナルカト云フコト、斯様
ナ所謂弱者ニ對シテ加入ガ出來ルカ出
來ヌカ、之ヲハツキリ言ツテ戴キタイ
ト思ヒマス

○小出政府委員 山口委員ノ御質問ニ
對シテ、前ニ御答ヘ致シマシタ問題ニ
關聯スル譯デゴザイマスガ、御話ノヤ
ウニ戰時中ニ轉廢業致シマシタ者、又
今般終戰後新タニ外地カラ引揚ゲテ來
マシタ方々ニ對シマシテハ、現在殘存
シテ居ル業者ノ組織シテ居リマス組合
ガ、其ノ組合員トシテノ資格ヲ持ツテ
居ルニモ拘ラズ加入ヲ拒ムト云フヤウ
ナ、不當ナ加入ノ拒否ハ認メナイ方針
デアリマス、隨テ協同組合ナリ、現在
ノ組合ニ於キマシテモ同様デアリマス
ガ、苟クモ組合員トシテノ資格ヲ十分
ニ持ツテ居リマス以上ハ、當然其ノ組
合ニ對シマシテ、何等正當ノ理由ナキ
ニ拘ラズ、加入ヲ拒ムト云フヤウナ事
態ノナイヤウニ、十分ニ監督ヲ致シテ
參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○布委員 兎ニ角統制ガ惡カッタ爲ニ
今後心配スル點ガ多イデアリマス、
事實是カラオヤリニナルニシテモ、ヤ
ハリ古イ姿ハ出テ來マスカラ、惡イモ
ノハヤハリ承繼イデ行カレルモノト、
私共ハ想像デナク、實際的ノ感ジヲ持
ツテ居ル、一例ヲ申上ゲマス、革ハ
統制サレテ居テ非常ニ窮乏デ、其ノ爲
ニ革物ハ實ニ高イ、靴デモ何デモ生活
ノ道理ニ合ハナイ値段デス、所ガ私ガ
二十三日ニ或ル場所ヘ調ベタイコトガ
アツテ行キマシタガ、革ガ澤山或ル所
ヘ流レテ居ル、是ハ内緒々ト云フコト
ニナツテ居ルガ、此ノ人目ニ付カナ
所ヘ流レテ居ルノガ莫大ナモノデス、
サウシテハ「ボール」トカ、「フット」
ボール」トカ運動器具トシテ出テ居
ル、統制モ宜シイガ、斯様ニ止メテア
ルノニ流レテ行クノハ、ナゼカト云フ
ト、ヤハリ需要供給ノ關係上幾ラデモ
賣レルカラデス、ソレガ何處カラ出ル
カト云フト、革統制會カラ横ニ流レテ
居ル、ダカラ需要者ガ多ク横ニ、如何
ニシテ統制サレタ革ヲ上手ニ流スカト
云フコトニ知慧ヲ絞リ抜ク、一定ノ制
限ヲ受ケテ居ル器具ニ向ツテドン／＼
流レテ居ル、此ノ實態 又運動デモ
シナケレバ、今日其ノ憂憤ヲ其、儘ニ
抑ヘラレヌカラ、「ベイス」ボール」
ヤ、「フット」ボール」ヲヤル青年ノ立
場モ氣ノ毒デハアリマスガ、併シ此ノ
革ノ枠ト云フモノカラ滑ツテ行ク其
ノ、有様ト云フモノハ、御承知デアラ
ウト思ヒマスガ如何デスカ、或ハ大目
ニ見テ居ラレノカモ知レナイ、斯ウ
云フヤウナ譯デアリマスカラ、統制カ
ラ新シクココニ誘ハレテ來タ云フ觀
念ヲ持ツテ、厭ヤナ氣持ニナルノハ已
ムヲ得ナイト思ヒマス、ダカラソコ
骨ヲ折ツテ戴キタイト云フ譯デス、併
シ是ハ鼠ノヤウナモノデスカラ、到底
之ヲ征伐スルコトハ出來ナイカモ知レ
ナイ、ソレハ無理デアラウケレドモ、
出來ヌタケ其ノ鼠ヲ征伐スルコトニ心
カラ努力シテ戴キタイ、事實ヲ言フ
ト、此ノ前私ハ大キナ譯ヲ出シテ言ヒ
マシタケレドモ、是ハヤハリ商工省ニ
責任ガアリマス、實際商工省ガ統制デ
旨イ飯ヲ食ヒ過ギタト云フコトニナ
ル、併シ私ハ小出サントカ、池田サン
ノヤウナ立派ナ人格者ノ前デサウ云フ

コトヲ言フノデハアリマセヌ、外ニハ
サウ云フ人格ヲ持タナイ人ガ實際ア
シテ、其ノ爲ニアナタ方ノヤウナ正シイ
人マデガ辛イ思ヒヲシナケレバ、ナラ
ヌ、サウシテ又斯ウ云フコトガ形ヲ變
ヘテ續クダラウト思フカラコゾ、此ノ
反對ガ多イト云フコトニナル、併シ是
ハ心理學ノ問題デスカラ、別ニ大シ
クハ心算學ノ問題デスカラ、單ニ新
ウ思フトカ、斯ウ云フ意見ヲ持ツテ居
ルトカ云フノデナク、今度ハ此ノ協同
組合法案ヲ、昔ノヤウナモノニハシナ
イデ正シクヤルノダト云フコトヲハッ
キリ御約束ナリ、御聲明シテ戴クコト
ハ出來ナイモノカト思フ、其ノ上デ我
我ハ之ニ贊成ヲシテ行キタイト思フノ
デスガ、如何デセウカ

○小此木政府委員 只今ノ御質問ハ至
極御尤モト存ジマス、唯固ク約束ラシ
ロト云フ御話デアリマスガ、現在ノ心
境ト致シマシテハ、布サンノ御發言ヲ
慎重ニ伺ツテ置タト云フ程度ニ於テ御
承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○布委員 ソレデハ餘裕ヲ御持チニナ
ルソデスカラ、結局取締ニモ餘裕ヲ持
ツテオヤリニナルモノト思フ、結リ協
同組合法案ナルモノニ種々ナル發生物
ガアル、副作用物ガアル時ニモ、餘裕
譯々タル取締デ向フト云フ御聲明ノヤ
ウニ思ハレマスカラ、私共ハ其ノ御誠
意ヲ吐ニ込メ込メセルコトハ出來ナイ
ト云フコトヲ申上ゲマス、即チ政府ノ
御答辯ハ、我々ノ腑ニ落ちナイドロロ
デナク、非常ニ弛ミナルモノデアツ
テ、今後ノ取締ニ對シテ御自信ガナ
イ、信念ガナイト云フ風ニ私ハ受取リ
マスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○小此木政府委員 御答ヘ致シマス、
取締關係ニ於テハ、御言葉ノ如ク嚴重
ニ取締ルコトニ致シマス

○布委員 今度ハ嚴重ニ取締ルト言明
シテ戴キマシタノデ、ソレヲ信賴シテ
御禮ヲ申上ゲマス

次ニ申上ゲタイコトハ、今度ノ農地
法案デ當然田舎ガ分裂スル形ニナリ
マス、サウスルト青年達ハ、今度ノ新
家族法ト相照シ合ハセテ田舎ニ居テモ
詰ラヌ都會ノ方ガ優勝劣敗、弱肉強食デ、
結局都會ノ方ガ優勝劣敗、弱肉強食デ、
晩ヲ揮フノニ揮ヒ甲斐ガアルト云フコ
トニナツテ、其處ヘ没入シテ行カウト
云フノデ、大阪ナリ東京アタリヘ出テ
來ル、サウスルト組合ト云フモノガ
アツテ中々仕事ガ出來ナイ、其ノ場合
實績ヲ持タナケレバ入レナイト云フ、
「サーベル」時代ノヤウナ建前ヲ繼續サ
レタノデハ、晩ノアル青年ハ仕事ガ出來
ナイデ沈没シナケレバナラヌコトニナ
ルガ、ソレ等ノ新シク事業ヲ始めル青
年ノコトニ付テ、ドウ御考ヘニナツテ
居ルカ伺ツテ置キタイ

○小出政府委員 今後ニ於キマシテ
ハ、其ノ營業ニ付テ從來全然實績ヲ持
ツテ居ナイ、或ハ經驗ノナイ人デ、サ
ウ云フ事業ヲ始めル場合ニ於キマシテ
モ、營業ノ自由ト云フカ、營業ヲ開始
スルコトニ付キマシテ、根本的ニハ何
等ノ制限ヲシナイト云フノガ經濟民主
化ノ原則デアリマシテ、如何ナル人ト
雖モ自由ニソレノ「自分」思フ事業ヲ
開始スルコトガ出來ル建前ニナル譯デ
アリマス、サウシテ例ヘバ農村方面カ
ラ新タニ都會ニ入ツテ來ラレタ方々
ガ、工業ナリ商業ニ付テ特定ノ事業ヲ
開始サレマス場合、ソレニ關シテ何等
カノ協同組合ガアリマス場合ニ於キ
マシテハ、其ノ協同組合ノ定款ニ書イテ
アル組合員ノ資格ト全ク同ジ營業ヲ開

○小此木政府委員 只今ノ御質問ハ至
極御尤モト存ジマス、唯固ク約束ラシ
ロト云フ御話デアリマスガ、現在ノ心
境ト致シマシテハ、布サンノ御發言ヲ
慎重ニ伺ツテ置タト云フ程度ニ於テ御
承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○布委員 ソレデハ餘裕ヲ御持チニナ
ルソデスカラ、結局取締ニモ餘裕ヲ持
ツテオヤリニナルモノト思フ、結リ協
同組合法案ナルモノニ種々ナル發生物
ガアル、副作用物ガアル時ニモ、餘裕
譯々タル取締デ向フト云フ御聲明ノヤ
ウニ思ハレマスカラ、私共ハ其ノ御誠
意ヲ吐ニ込メ込メセルコトハ出來ナイ
ト云フコトヲ申上ゲマス、即チ政府ノ
御答辯ハ、我々ノ腑ニ落ちナイドロロ
デナク、非常ニ弛ミナルモノデアツ
テ、今後ノ取締ニ對シテ御自信ガナ
イ、信念ガナイト云フ風ニ私ハ受取リ
マスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○小此木政府委員 御答ヘ致シマス、
取締關係ニ於テハ、御言葉ノ如ク嚴重
ニ取締ルコトニ致シマス

○布委員 今度ハ嚴重ニ取締ルト言明
シテ戴キマシタノデ、ソレヲ信賴シテ
御禮ヲ申上ゲマス

○布委員 今度ハ嚴重ニ取締ルト言明
シテ戴キマシタノデ、ソレヲ信賴シテ
御禮ヲ申上ゲマス

○布委員 今度ハ嚴重ニ取締ルト言明
シテ戴キマシタノデ、ソレヲ信賴シテ
御禮ヲ申上ゲマス

○布委員 今度ハ嚴重ニ取締ルト言明
シテ戴キマシタノデ、ソレヲ信賴シテ
御禮ヲ申上ゲマス

○布委員 今度ハ嚴重ニ取締ルト言明
シテ戴キマシタノデ、ソレヲ信賴シテ
御禮ヲ申上ゲマス

始シ、其ノ營業者トシテノ資格ヲ持ツ
テ居リマス場合ニ於キマシテハ、此ノ
人ヲ、正當ノ理由ナクシテ其ノ組合ニ
加入スルコトヲ拒ムコトハ出來ナイト
云フコトハ、先程轉廢業者ナリ、或ハ
外地引揚者ノ問題ニ付キマシテ御答へ
致シマシタ關係ト、全ク同ジデアリマ
シテ、假令農村カラ新タニ入ッテ來テ、
新タニ事業ヲ始メタ人デアリマシテ
モ、苟クモ組合員トシテノ資格ヲ具備
致シテ居リマス以上ハ、之ヲ不當ニ其
ノ加入ヲ拒ムコトハ出來ナイ建前ニナ
ッテ居ルノデアリマス

○加藤(一)委員長代理 此ノ際一寸御
諮リ致シマスガ、同僚議員ノ質問ニ重
複スルヤウナ關係ノモノハ、質疑應答
ノ極ク簡單ニ願ヒタイと思ヒマス

○布委員 宜シウゴザイマス、モウア
ト二ツバカリデアリマス、是ハ第三國
人デアリマス、第三國人ト言ッテモ澤
山アリマス、日本ニ近イ所ノ第三國人
ソレカラ「ルウウェー」方面デモ第三國
ハ第三國デアリマス、ソレデ第三國人
ガ投資ヲシテ居ルト云フ場合ニ、ヤハ
リ入りマスガ、ソレカラ日本人ヲ頭ニ
立テテ、其ノ内側ニ第三國人ヲ含マレ
テ居ッテ、實勢力ヲ持ッテ居ルト云フ
モノガアリマスガ、是モ組合ニ入り得
ルカト云フコトヲ一ツ承ッテ置キタイ
ト思ヒマス

○小出政府委員 現在所謂第三國人ノ
關係ノ方々ガ、今御話ノヤウニ自分ノ
名義ニ依ッテ事業ヲ營ミ、或ハ單ニ資
本デケラ貸シテ、日本人ノ名義デ仕事
ヲシテ居ルト云フ風ナ關係ノ實例ガ、
各方面ニアルト承知致シテ居リマス、
其ノ場合ニ於キマシテ、之ヲ協同組合
ノ組合員ニ加入セシメルコトガ出來ル
カドウヤト云フ御質問ノヤウニ承ッタ

ノデアリマスガ、此ノ場合ニ付キマシ
テモ、ヤハリ原則ト致シマシテハ、苟
クモ組合員ノ資格ヲ持ッテ居リマス以
上ハ、例ヘバ纖維製品ノ小賣業ナラ小
賣業ト云フモノガ、組合員ノ資格ヲナ
シテ居ル場合ニ於テ、其ノ纖維製品ノ
小賣業ヲ、假令第三國人デアリマシテ
モ、其ノ小賣業ヲ營ンデ居リマス以上
ハ、ヤハリ其ノ組合員トシテノ資格ヲ
持ッテ居ル譯デアリマス、之ニ付キマ
シテ其ノ加入ヲ不當ニ拒ムコトハ出來
ナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、唯場合ニ依リマシテ定款ノ規定ニ
依リマシテ、例ヘバ日本人ノ經營ス
ル——詰リ日本人以外ノ國籍ノ人ノ營
事業ニ付キマシテハ、組合員トシテノ
資格ヲ其ノ中ニ入レナイト云フ風ナ、
何等カノ制限ヲ設ケルコトハ出來ルカ
ドウカト云フヤウナ問題ニ付キマシテ
ハ、問題ガ相當具體的ニナッテ參リマ
スシ、又重要ナ問題モ其ノ間ニ起ッテ
來ルカト思ヒマスガ、必ズシモサウ云
フ規定ヲ置クコトガ出來ナイト云フヤ
ウニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、本
當ニ利害關係ノ密接ナ人デケル組合ヲ
作ルト云フノガ、協同組合ノ本質デモ
アリマスノデ、若シドウシテモ第三國
人ヲ入レタクナイト云フ風ナ堅持ノ人
デケガ集ッテ組合ヲ作ルト云フコトデ
アレバ、ソレニ相應スルヤウナ定款規
定ヲ設ケルコトモ、必ズシモ不可能デ
ハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス

○布委員 ソレデハ商工省ノ建前カラ
ノ分ヲ、二ツダケ聽イテ置キタイノデ
アリマス、事務簡素化ト云フコトヲ、
幾ラ叫ンデモ簡素化ニナレナカッタ、
其ノ爲ニ負ケマシタ、ソレデ一番難
ノ重複シマスモノハ商工省、次ハ農林
省、之ヲ簡素化々々ト言ヒマスガ、
今後ノ再建經濟ニ向ッテ行ク時ニ、本
當ニドノ程度マデ事務ヲ簡素化サレル
カ、十枚書類ヲ作ラナケレバイカヌ所
ヲ三枚書類付ケル、例ヘバ判子十付カ
ナケレバナラヌ所ヲ二ツデ宜シイト云
フヤウナ、商工省關係ノ全面的ニ互
再建ニ對シテドウ改革ヲサレル御積
デアアルカ、從來ノ通りニ、書類ヲ澤
山重複シタモノヲ出サナケレバイカ
ナク、是ハ事務的ナ建前ニナリマスケ
レドモ、是ガヤハリ經濟再建ニ重大ナ
ル關聯ヲ持ッテ居リマスカラ、一寸之
ヲ御聽クシテ置キタイノデアリマス

○小此木政府委員 事務ノ簡素化ニ付
キマシテハ、出來得ル限リ簡單ナ方法
ヲ講ジタイ、具體的ノ點ニ付キマシテ
ハ只今一寸申上兼ネマスガ、出來得ル
限リ簡單ナ方法ヲ講ズル、斯様ニ考ヘ
テ居リマス

○布委員 御答ヘヲ受ケマシタガ、實
際其ノ方ヲ今研究サレツ、アリマセウ
カ、唯考ヘテ胸ニ持ッテ居ラレダケ
デアリマセウカ、ソレヲ御伺ヒシタイ
○小此木政府委員 研究ヲ進メツ、ア
リマス

○布委員 ソレデハアト一ツ殘リマシ
タノハ、今マデノ事實ハ、何ヲスルニ
シマシテモ、農林省關係ハ別トシテ、
商工省關係ガ主デマスガ、何デモ鑑札
ナケレバイカヌ、鑑札本位デアアル、私
モ世界中ノ事業ヲ調ベ見タコトモア
リマスガ、是程鑑札々々ト云フ國ハナ
イ、此ノ新時代ニ則スルト云ハレルナ
ラバ、其ノ實證トシテ、鑑札ヲ少シ緩
メテ自由ニサレルノガ本當デハナイイ
ト思フ、殊ニ商工關係ノ鑑札デモ、警
察ニ御任セニウツテ居ルモノモアル、
ダカラ警察デ下シマスモノハ更ニ難カ

シクナル、サウ云フ内務省ニ關係ノア
ルモノハ商工省ヘ一度御戻シニナル考
ヘハナイイカ、サウ云フ點モ、突然ノ質
問デアアルカラ御用意ガナイイカモ知
レナイイカ、優秀ノ頭ヲ持タレタ政府委員
三名御揃ヘデアアルカラ、是ハ御協議ニ
ナラヌデモ、頭ノ中カラ湧出ル儘御答
ヘテ願フノガ私ノ質問ノ最後デアリマ
ス

○小出政府委員 御質問ノ鑑札ト云フ
御言葉ノ意味ハ、或ハ取違ヘテ居ルト
思ヒマスガ、例ヘバ營業ノ免許證ト云
フヤウナモノニ付キマシテ、色々商工
省ガ許可制度ヲ布イテ居ルモノモアリ
マスシ、或ハ場合ニ依リ内務省關係ノ
地方廳ナリ或ハ警察ノ手ニ依リマシ
テ、色々鑑札ガ必要デアルト云フ風
ナモノガ相當ゴザイマス、併シナガラ
商工省ナリ農林省關係ニ於キマシテ
ハ、今後ハ營業ノ自由ト云フ原則ニ則
リマシテ、例ヘバ先般モ御話致シマシ
タヤウニ國家總動員法ノ廢止ニ伴ヒマ
シテ、營業ノ免許制度ノ根據法デアリ
マシタ企業許可令モ、今月一杯其ノ
效力ヲ失ヒマシテ、來月カラハ商工業
關係ニ付キマシテハ、營業ト云フモノ
ハ原則トシテ全ク自由ニナリマス、隨
ヒマシテ色々免許證ト云フヤウナモノ
モナクナリマシテ、從來ノヤウナ煩雜
サト云フモノハ、少クトモ其ノ面カラ
省カレルモノト思ッテ居リマス、ソレ
カラ御話ノ内務省關係デヤッテ居ル、
主トシテ地方廳ナリ、或ハ警察ガヤッ
テ居リマス鑑札デゴザイマスガ、是ハ
例ヘバ風呂屋デアルトカ、床屋デア
ルカト申シマスレバ警察取締或ハ衛生
上ノ見地デアリマストカ、或ハ治安上
ノ見地、風紀上ノ見地ト云フヤウナ、

主トシテ内務省ノ御立場カラ取締ツテ
居ラレルヤウナモノデゴザイマシテ、
之ヲ商工省ニ吸收スルト云フコトハ、
必ズシモ適當デハナイ、斯様ニ考ヘテ
居リマス

○布委員 是デ私ノ質問ヲ打切リマス
○加藤(一)委員長代理 加藤勘十君
○加藤(勸)委員 鐵道局長ノ答辭ノ途
中デ私ニ譲リマシテ、半分聽ク掛ケ
テ終ツタノデマスガ、御答ヘニナリマシ
タ生産業者ニ對スル鐵道カラノ現金支
拂ノ點デマスガ、先程ノ御言葉ニ依リマ
スト、工業銀行カラ鐵道ニ融資ヲスル
ヤウニシテ、ソコカラ出來ルダケ多ク
拂ヒタルヤウニスルト云フ、斯ウ云フ
御言葉デアリマシタガ、其ノ出來ルダ
ケ多クト云フノハ、正確ニハ圓ヨリ御
答ヘハムツカシイト思ヒマスケレド
モ、現在ノ一割五分ヨリドノ位多クナ
ルト云フ御見込デマスガ、ソレハ分リマ
セマカ

○松田政府委員 現在ノ一割五分ト云
フノハ、先程一寸御話申シマシタヤ
ウニ、私一寸ハツキリ致シテ居リマセ
ヌノデアリマスガ、ソレハ拂ヒマス、
詰リ封鎖ト新圖トノ割合ガ、一割五
分、斯ウ云フ意味デスカ

○加藤(勸)委員 サウデヤナクテ、總
額ノ一割五分詰リ共同販賣ニ依ッテソ
レガ假ニ十ト云フモノナラバ、其ノ一
割五分ト云フ意味ナノデス

○松田政府委員 勿論此ノ生産者ノ方
カラ、鐵道ノ方ニ出來上リマシタ製品ヲ
買上ガマシテ、ソレノ代金支拂ガアリ
マスカラ、是ハ飽クマデソレニ「マッ
ヂ」シタ所ノ代金ヲ拂ハナケレバナラヌ
コトハ當然ノコトデアリマシテ、隨テ
今ノ御話ノ一割五分ト云フ點ハ、私ト
シテハ寧ろ意外ニ思フノデアリマシテ

此ノ點ハ尙ホ能ク實情ヲ調ベマシデ、サウ云フヤウナ生産業者ニ於テ非常ニ困ルヤウナコトガアツテハ、増産ノ上ニ非常ニ支障ヲ來シマスカラ、サウ云フコトハ出來ルダケ避ケルヤウニ、十分調ベマシテ善處致シマス

○加藤(勸)委員 非常ニ満足スベキ御答ヘラ得マシタガ、更ニ念ヲ入レテ置キマスレバ、先程申シマスヤウニ、小賣商カラ配給會社ニハ現金デ拂ハレテ居ルコトハ、調ベタ結果明瞭ナリデ

ス、會社カラ織統ニ對スル支拂ガドウナツテ居ルカト云フコトガ分ラナイノデアリマス、此處デ封鎖デ拂ハレテ居ルノカ、或ハ現金デ拂ハレテ居ルノカ、何處カデ預替ヘラレテ居ル譯デア

ル、サウ云フコトヲ能ク御調ベ下サツテ、出來ルダケ、現金デ小賣商カラ還元シタモノナラバ、當然生産者入手ニモ還元サレルヤウニ努力シテ戴キタイ

○松田(政)府委員 今ノ御話ヲ大體推察致シマスルニ、消費者カラ小賣商ニハ勿論ハハ現金デ拂ヒマシテ、小賣商カラ更ニ地配、ソレカラ織統ニ行ク場合

ニ、順次最初ハ新圖デ入ツタモノガ、隣テ新圖デ中央機關マデ行カクナクヤナラモノガ、段々ト新圖ト封鎖ノ割合ガ多クナツテ來テ、結局統制組合ナリ、織統ナリ、サウ云ツタ中央機關ニ入ル時ニハ新圖ガ入ツテ來ナイ、隨テ織統トシテモ、生産者ノ方ニ中々新圖ガ拂ヘナクテ困ルト云フヤウナ意味ノ御質問カト思フノデスガ、サウ云フ御質問ニ付キマシテ、從來動モスレバ段段上ノ段階ニ行クニ連レマシテ、封鎖デ支拂フヤウナ場合ガアツタヤウデア

上々ノ機關ニ拂ハナケレバナラヌモノハ、出來ルダケ新圖デ中央ノ統制機關ガ吸收出來ルヤウニシテ、先程申シマシタヤウニ、其ノ間ニハ約三箇月掛リマシテ、最初ノ流れ水トシマシテ、織統其ノ他中央統制機關カラ、生産者ノ方ニ、出來ルダケ金融ヲ便ニスル、又其ノ中ニ於キマシテモ、出來ルダケノ範圍ニ於テ新圖ガ生産者ノ手ニ入ルヤウニ、金融機關カラ金融ヲシテ貰フヤウニ織統ト話ヲ付ケテ居ルノデアリ

マス、隨テ今後ハ成ベクサウ云フコトガアリマセヌヤウニ、又不當ナル理由デサウ云フコトガアリマス場合ハ、絕對ニ用敷セズ、其ノ點ヲハツキリシマシテ、御要望ノヤウニ進メテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○加藤(勸)委員 其ノ點ハ現實ヲ十分ニ御調査願ヒマシテ、御言葉ノ通りニ御處置願ヒタイト思ヒマス

第二ノ御質問ハ、輸出關係ガ現在非常ニ制限下ニアリマシテ、總テガ窮屈デアルカラアレ是言ハレマセスガ、近イ將來ニ輸出ノ關係モ何レ正當關係ニ復スルト思ハレマス、其ノ場合ニ日本ノ中小工業、殊ニ羊毛工業ニ於キマシ

テハ、御承知ノ通り愛知縣ハ、戰前ニ於テ、先程申シマシタ通り、七割乃至八割ノ實力ヲ持ツテ居ツ、現在ニ於キマシテモ羊毛原料ノ消費高ハ、日本全國ノ六〇%ニ達シテ居ル有數ナル毛織物地帶ト云フコトガ出來ル譯デア

リマス、其ノ始ト全部ト言ツテモ宜イモノガ申シ工業ノ手ニ依ツテ行ハレテ居ル譯デアリマス、今度ノ協同組合法ニ依リマス、前カラ現在ノ統制組合、若シハ施設組合モサウデスガ、原料ノ共同購入デアルトカ、製品ノ共同販賣デアルトカ、検査其ノ他各種ノ

施設ガアル譯デアリマスガ、總テノ組合ガ同一ノ「レベル」ニ完備シタモノトハ言ハレマセスガ、若シ十分ニ完備シタ組合ガアリマシテ、其ノ能力アリト云フコトニナツタ場合ニ、此ノ協同組合ハ、輸出組合ニ、協同組合トシテ直接參加出來ルカドウカ、又是非サウアルコトガ非常ニ業者ノ刺戟スルコトニナルシ、製品ノ技術ノ發達ニ貢獻スルヤウニナルト思ヒマス、此ノ點ニ付テ

ノ御考ヘヲ御伺ヒシタイ

○松田(政)府委員 纖維工業關係ニ於キマス將來ノ見透シト致シマシテ、輸出ノ方ノ關係ハ、將來益々盛ンニナルデアラウト云フヤウナ、先ツ第一ノ御前提ノ御質問デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、色々聯合軍ノ方ノ、纖維關係ノ非常ニ認識ヲ持タレタ經濟顧問ノ方ガアリマシテ、サウ云フ方達ト

數回ニ互リマシテ、色々サウ云フ問題ニ付テ話ヲシテ居リマスガ、寧ロサウ云フ人々ノ話デハ、恐ラク此ノ二年乃至三年間先キト云フモノハ、世界全體ニ非常ニ衣料ト云フモノハ潤澤ニナルト思フ、隨テ日本トシテハ今ノ中ニ出

來ルダケ輸出スルヤウニシテ、ソレニ必要ナル食糧其ノ他ノモノヲ入レルシ、日本トシテドウシテモ賈賤シナケレバナラヌヤウナ地域ニ對シテハ、將來ノ輸出ト云フ點カラ言ツテモ、此ノ際大ニ勉強シテ呉レト云フヤウナ、寧ロ向フカラサウ云フヤウナ強イ希望ガアル位デアリマシテ、此ノ纖維産業ノ將來ト云フ點カラ申シマシタナラ

バ、此ノ輸出ト云フモノヲ益々盛ンシマシテ、戰前ノヤウナ時代ガ我々トシマシテハ一日モ早ク參ルコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ、勿論羊毛ノ問題ニ付キマシテハ、

午前中ニモ御話シマシタヤウナ、原料ノ供給等ノ問題トモ關聯シテ來ル問題デアリマスガ、當然輸出ノ方ニ向ナケレバナラナイ問題ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論日本ノ國內衣料需給カラ申シマシテ、或ル程度ノモノハ勿論國內ノ皆様方ニモ御分ケスルヤウニ、我々トシテハシナケレバナラヌ、併シ同時ニ輸出ノ面ニ付キマシテモ、是ハ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居

マス、又サウセザル得ヌコトニモザルト思ツテ居リマス、其ノ場合ニ、何キマシテモ、此ノ羊毛工業ノ方ニハ相當業態モ違ツテ居リマシテ、所謂中小ノ工業ノ方ガ、戰前ニ於キマシテ非常ニ力ヲ持チ、又日本ノ貿易ノ上ニ非常ニ貢獻ヲシテ來ラレテ居ルト云フコトハ、是ハ事實ノ問題デアリマ

ス、隨ヒマシテ經驗ノ點カラ申シマシテモ、又其ノ設備等ノ問題カラ申シマシテモ、本當ニ之ヲ兩者相俟ツテ活カシテ行クダケノ力ハ十分ニアルト私ハ信ジテ居リマス、特ニ愛知方面ノ、一宮ヲ中心ト致シマシタヤウナ、ア、云ツタ毛織産業ノ非常ニ盛ンナル所ニ於キマシテハ、特ニ然リト私ハ信ジテ居

ルノデアリマス、隨ヒマシテ今後其ノ輸出ノ大ニ盛ンニナルニ連レ、又其ノ計畫ガ聯合軍ニ認メラレマス限リニ於キマシテハ、我々ハサウ云ツタ方面ノ、本當ニ力ヲ持チ、技術ヲ持ツテ居ラレル方ニ、大ニ手傳ツテ戴キタイ、寧ロサウ云フ方々コソ從來ニモ増シテ一層品質ノ向上ヲ圖リ、成程日本ノ製品ハ、斯ク云フ原料ヲ使ツテモ尙且ツ斯ウ云フ立派ナモノガ出來ルト云フヤウナ、本當ニ日本ノ羊毛工業ト云フモノノ誇リヲ世界ニ示シテ戴ク位ノ

氣概デ、一ツヤツテ戴キタイト思フ、唯輸出ヲシテ賣ヒタイト云フ意味デナシニ、寧ロ進ンデ當然輸出ヲセザルヲ得ナイト云フヤウナ所ニマデ進ンデ行ツテ戴キタイト思フノデアリマス、併シサウ云フ場合ニ、其ノ協同組合ヲ恐ラク作ツテ戴イタ方ガ宜イト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ協同組合トシテ輸出組合等ニ入ツテヤツテ戴ク方ガ、本當ニ輸出ト生産トノ間ノ關係ガ密接ニ行クト云フヤウナコトデア

リマスナラバ、其ノ方ノ關係ノ筋ニモ其ノ點ヲ話シマシテ、サウ云フ點ハ十分連絡ガ執ルヤウニ、言換ヘレバ、サウ云ツタ關係ノ方々ガ、本當ニ自分ノ造ツタモノヲ輸出シ易イヤウナ組織ニ進ンデ行ケルヤウニ、我々ト致シマシテモ十分考慮シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○加藤(一)府委員 只今ノ局長ノ御言葉大體要領ハ能ク分リマシタガ、第一段ノ輸出品ニ對スル技術ノ練磨、發達ト云フ點デアリマスガ、是ハ私ガ申上ゲルマデモナク、當局ニ於テ十分御調査ノコトト思ヒマスガ、戰前ニ於ケル實績カラ見マシテモ、毛織物生産ノ輸出向ハ、綿絲布、生絲ニ次グ重要ニ於キマシテモ、最初日本ニ羊毛工業ガ起ツタ當時カラ比べマセレバ、殆ト格段ノ技術ノ發達ヲ見テ居ル、是モ御承知ノ通りダト思フノデス、戰前ノ當時ニ於キマシテハ、モウ殆ト英國製品ノ蠟ニマデ及バウトスル程ニ、技術的高級化シテ居タコトモ御承知ノ通りダト思フノデアリマス、是ガ戰爭ノ爲ニ一應技術ノ減退ヲ見タト云フ杞憂ハアリマスガ、併シ戰後ノ此ノ事業ヲ復興サンテ、日本ノ經濟再建ニ貢獻

シヨウトスル業者ノ意氣込ミハ、技術ノ面ニ於キマシテモ、當局ノ御心配サレル以上ニ自ラ心配ヲシマシテ、ドウスレバ技術ノ向上ヲ圖ルコトガ出來ルカ、世界ノ市場ニ日本商品ヲ競争セシメテ、決シテ恥ヂカシクナイモノヲ造リ出シタイ、斯ウ云フコトハ非常ニ強ク業者ガ意願シテ居ル所デアリマシテ、此ノ點ニ付テハ、私ハ戰前ノ實績カラ見テモ大體心配ハナイ、業者ノ自負心ト云フモノニ十分信頼ヲ拂ツテ宜シト思フデアリマス、第二段ノ輸出業ノ問題ニナリマス現在ノ所デハ今申上ゲマシタヤウニ色々制限ヲ置カレテ居リマスノデ、隨テ輸出者ノ團體モ可ナリ制限ガ加ヘラレテ居ルヤウデアリマス、之ニ今直グニ參加スルト云フコトハ困難デアリマセウガ、モウ少シ羊毛製品ガ輸出ヲシナケレハナラヌ階層ニナリ、又ソレダケノ技術ヲ持テ、何處カラ見テモ堂々タル國際商品トシテ成立シ得ルコト云フモノガ、實際ニ此ノ協同組合ヲ通シテ出來ル段階ニナツタ時ニ、今仰シヤツタヤウニ、是ガ中間業者ノ手ヲ排シテ直接輸出ヲ扱フコトニナレバ、非常ニ大キナ利義ニナルト思フデアリマス、サウ云フ刺戟ハ、言フマデモナク、技術ノ面ニ於キマシテモ、生産ノ總量ノ面ニ於キマシテモ、優秀ナ結果ヲ招來スルコトハ言フマデモナイ話デアリマスカラ、其ノ場合ニ今御述ベニナリマシタヤウニ、十分ニサウナリ得ルヤウニ努力シテ戴クコトヲ希望シテ置キタイト思ヒマス

スカラ、明日御伺ヒスルコトニシテ、今日ハ是デ止ママス
○加藤(一)委員長代理 ソレデハ此ノ後早稲田柳右衛門君ニ御願ヒ致シマスガ、商工大臣ガ二時半頃ニ此處ニ參ルサウデアリマスカラ、參リマシタラ、金子益太郎君ト澤田久子君ガ質問通告順ニナツテ居リマスノデ、其ノ間ノ緊ギデ一ツ御願ヒ致シタイト思ヒマス
○早稲田委員 私ハ本法ノ運営ニ付テ具體的ナ質疑ヲ試ミタイト存ジマスガ、只今緊ギデト云フ話モアリマスノデ、具體的事項ヲ御尋ネスル前ニ、總括的ナ問題ヲ二、三御尋ネシタイト思ヒマス、或ハ他ノ委員カラ質疑ガアリマシテ、若干重複スル點ガアルカモ知レマセウガ、成ベク重複ヲ避ケテ御尋ネラシタイト存ジマス
最初ニ御尋ネシタイト存ジマスノハ、罹災組合ノ復興ニ付デアリマス、政府ノ資料ニ依リマスレバ、全國一萬四千ノ組合ノ中デ、罹災シタモノガ三千七百四十六組合ノ多キニ上ツテ居リ、其ノ中復興見込ノナイモノガ二百八十三組合ニ及ンデ居ツテ、其ノ出資額ハ罹災組合全部デ三億六千萬圓トナツテ居ルト發表致サレテ居リマスガ、此ノ復興途上ニアル各組合ガ、最近行ハレタ金融措置、特に補償打切りノ爲ニ大キナ影響ヲ蒙リマシテ、折角再建セントシタ組合ノ事業ガ、其ノ運営ガドウニモナラナイヤウニ相成ツテ居リマス、是等組合ハ何レモ公益法人デアル關係上、一般社會ニ及ボス影響モ多イト存ジマスガ、是等ニ對シテ政府ハ特別ノ救済策ヲ講ズル御考ヘガアルカドウカ、之ニ對處スル政府ノ方途ヲ先ヅ承リタイト存ジマス
○小出政府委員 今御指摘ノ通り、現

在ノ商工組合法ニ基ク統制組合ナリ、施設組合ノ中デ、戰時中ニ大體三割程度ノモノガ罹災ヲ致シテ居ルデアリマシテ、是等ノ組合ノ復興ハ、組合員個々ノ營業ノ方ト同様ニ急速ニ之ヲ促進シナケレバナラヌ問題ダト考ヘテ居リマスガ、今御話ノ通り、丁度是等ノ組合ガ新シイ組合ニ移行シヨウト云フ過渡期ニ於キマシテ、今ノ金融措置ノ問題ガ起リマシタ爲ニ非常ナ難局ニ逢著致シテ居リマシテ、組合ノ方々ハ勿論色々御不満デアラウト思ヒマスケレドモ、政府ト致シマシテモ、何トカ金融ナリ各種ノ方面ニ於テ特別ノ御計ラヒラシタイ、斯様ナ意願ノ下ニ折衝致シテ居リマスケレドモ、中々マダ急速ニ解決ニ至ラナイ點ガアルノ非常ニ遺憾ニ思ツテ居リマス、唯少クトモ戰災保險金ト云フ風ナ問題ニ付キマシテノ最小限度ノ救済措置ト云フモノハ、是ハ一般ノ原則ト同シヤウニ是非考慮シナケレバナラヌ、例ヘバ五萬圓ナラ五萬圓ト云フヤウナ限度ニ於テ、極ダ零細ナモノハ出來ルダケ救ツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ例ヘバ第二封鎖預金ヲ、公益團體ト云フ風ナ名目ノ下ニ第一封鎖預金ノ方ニ切替ヘテ行ク、第二封鎖預金ノ總額ノ半額マデハ第一封鎖預金ノ方ニ、最高百萬圓ヲ限度トシテ切替ヘルト云フヤウナ途モアリマスガ、此ノ金融措置ノ中ニ言ツテ居リマスガ、公益團體ノ中ニ少クトモ統制組合ハ公益トシテノ性格ヲ持ツテ居リマシマスノデ、何トカ此ノ公益團體ノ中ニ解釋上入レル余地ハナイモノカト云フヤウナコトニ付キマシテ、色々考慮致シマシテ、大藏省方面トモ相談シタデアリマスガ、今度

ノ封鎖ノ措置ハ、何ト申シマシテモ公益團體ト云フモノノ解釋ヲ極度ニ制限致シマシテ、例ヘバ慈善團體デアルトカ、或ハ病院トカ學校ト云フ風ナ本當ノ嚴密ナ意味ニ於ケル公益團體ニ制限ヲ致シマシテ、ソレニ依リマシテヤハリ第二封鎖預金ニ手ヲ著ケルト云フコトハ、結局一般ノ零細ナ預金者ニ非常ナ迷惑ヲ及ボスト云フ結果ニモナリマスノデ、サウ云フ見地カラ假ニ民法上ノ公益法人デアリマシテモ、公益法人デアルガ故ニ公益團體ト云フ中ニ不當然ニ入ルト云フ解釋ニハシナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、甚ダ遺憾ナガラ、統制組合等モ今申シマシタ公益團體ノ中ニハ入ラナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ封鎖上ノ處置ニ付キマシテモ非常ニ困難ナ問題ガアルノデアリマシテ、政府ト致シマシテモ、是等ノ金融措置ニ對處致シマシテ、出來ルダケノ御便宜ヲ圖リタイト考ヘテ居リマスケレドモ、只今ノ所ハマダ其ノ程度ノコトニナツテ居リマス、勿論今後組合員個々ノ事業ガ著々ト復興致シマスルヤウナコトニナツテ參リマシマスレバ、ソレ等ノ組合員ガ構成シテ居リマス、組合ノ事務所ナリ、或ハ共同施設ノ復興ト云フコトニ付キマシテモ、出來ルダケノ資材ナリ金融上ノ御便宜ハ圖リタイト存ジテ居リマスガ、只今特別ノ措置ヲスルダケノ手段ヲ持合ヘテ居ナイヤウナ狀況デゴザイマス
○早稲田委員 政府ノ御説明ニ依ツテ其ノ苦衷ノ御察シ致シマス、隨テ此ノ問題ニ對シテ追究ハ致シマセウガ、併シ戰後日本ノ再建ニ當リマシテハ、中小商工業ノ振興ニ依リマス所ガ非常ニ多イト云フコトハ、私ガ今更言フマデ

モアリマセウガ、是ガ健全ナル發達ハ先ヅ以テ金融問題ガ一番大切デアリ、今日はガ一番隘路ニ相成ツテ居ルコトハ當然デアリマスガ、併シ政府ガ今仰シヤツタヤウニ、是ガ方途ガナイト云ツテ手ヲ映イテ居ルト云フコトニナリマスレバ、折角中小商工業ノ健全ナル發達ニ依ツテ國家ヲ再建シヨウト云フ門出ニ、一ツノ難點ガ生ズル譯デアリマス、セメテ私ハ政府ガ復興金融庫ノ活用ニ依ツテ、是ガ隘路ヲ打開ニ當ツテ戴キタイト存ジマス、先般來ノ御説明ニ依リマスレバ復興金融庫ノ資金ヲ商工中央金融庫ニ流シ入レテ、サウシテ救済スル、斯ウ云フナリ御説明ガアツタヤウニ存ジマスルガ、私ハ更ニ復興金融庫ノ資金ヲ、商工中央金融庫ノミナラズ、地方ニ於ケル市街地信用組合ノ活動ニ依ツテ緩和スルコトガ望マシイデアリマス、何トナレバ地方ニ於ケル市街地信用組合ハ非常ニ地方事情ヲ能ク知ツテ居ル、特殊事情ノ精通致シテ居リマシテ、中小商工業者ノ特性性ヲ把握致シテ居ル關係上、地方產業ト直結スルコトガ出來、是ガ活用ニ依ツテ復興再建ニ裨益スル所ガ多イト存ジマス、願クハ斯ウ云フ關係カラ商工中央金融庫ノミナラズ、地方ノ市街地信用組合ヲ復興金融庫ノ代售機關ニシテ、サウシテ中小商工業ノ振興ヲ圖ラレダイ、斯様ニ意願シテ居ルモノデアリマスルガ、之ニ對スル當局ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス
○小出政府委員 金融ノ問題ハ御話ノ通り中小企業、特に戰災等ニ依リマシテ足場ヲ失ヒマシタ企業者ノ立直リノ意味ニ於キマシテ、最も重要ナ問題デアリマシテ、今般ノ金融措置ニ關聯スル問題ニ付キマシテハ、先程御答ヘ致

シマシタヤウナ狀況デゴザイマスル
ガ、御指摘ノ通り復興金融庫ヲ大イ
ニ活用スルト云フコトニ付キマシ
ハ、全ク其ノ方針デ今後モ参リタイ
ス様ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、最
初ハ復興金融庫ノ中ニ中小工業分
致シマシテ、十億圓ナラシテ圓ト云
風ナ特別ナラシメマシテ、其ノ分
ケハ中小工業ニ對スル金融分ト致
マシテ、別様ヲ設ケルコト云フ風ナ
モ考ヘタノデアリマスルガ寧ろ梓ヲ
ケナイデ、自由ニ彈力性ノアル融通
シタ方ガ宜イト云フ考ヘ方モアリマ
シテ、只今ノ所サウ云フ梓ハ設ケテ居
マセヌガ、復興金融庫ノ運営ノ中心
ハ、飽クマデモ中小企業ノ振興ト云
所ニ非常ニ重點ヲ置イテ行クコトニ
シテ居リマス、ソレニ關聯致シマシ
商工組合中央金融庫或ハ其ノ支店、出張
所ト云フモノモ復興金融庫ノ代行機
關トシテ活用スルコトニナツテ居
ス、今御話ノ市街地信用組合ヲ活用
ルト云フコトモ全く同感デゴザイマ
ス、市街地信用組合ハ主トシテ都市
中小商工業者、或ハ一般消費生活者
對象トシテ居リマス、市街地信用組
合ガ非常ニ有利ナ點ハ、預金ノ吸收ガ非
常ニ簡便ニ出來マシテ、資金ガ潤澤
アルト云フ所ニアリマシテ、商工組合
中央金融庫ハ現狀ニ於キマシテハ比較
的預金ノ吸收ガ少シクナイヤウナ狀況
デゴザイマシテ、資金ノ潤澤ト云フ點
ニ於テ缺點所ガゴザイマスノデ、取
敢ズ市街地信用組合ヲ商工組合中央金
庫ニ連結スルト云フコトニ付キマシ
テ、大藏省ト話合ヲ進メマシテ、其
第一段トシテ、市街地信用組合ガ商工
組合中央金融庫ニ預金ガ出來ルト云フ途
ヲ開クコトニ致シマシタ、是ハ大藏省

令ノ施行規則ノ改正ニ依リマシテ出來
ル問題デアリマスノデ、近ク具體化ス
ルコト思ヒマス、ソレニ依リマシテ
市街地信用組合ノ採ツテ居リマス預金
ノ吸收力ト云フモノヲ活用致シマシ
テ、商工組合中央金融庫ノ資金ヲ潤澤
シ、ソレヲ通ジテ中小企業者ニ對スル
金融ヲ促進スル、斯様ニ考ヘテ居リ
マシテ、市街地信用組合復興金融庫
ト代行關係ノ問題ニ付キマシテハ、尙
ホ十分ニ大藏省ト相談ヲシテ見タイ
ト、只今考ヘテ居リマス
○早稻田委員 中小商工業者ノ金融ニ
付テハ尙御尋ネシタイコトガアリマ
スガ、所管ガ違ヒマスノデ此ノ程度ニ
シマシテ、次ハ戰後ニ於ケル中小商工
業者ノ復興對策デゴザイマス、先般商
工者ニ於テ發表サレマシタ戰後中小商
工業復興對策要綱ノ中ニ、今後ノ中小
商工業ノ問題ニ結付ケ、資材或ハ金融
ノ問題ニ供給セシムル方針デアルト云
フコトガ記載サレテ居リマスルガ、是
ハ往年ノ問題資本本ニ中小工業者ガ歸
屬ノ地位ニ置カレタ事態ト同ジヤウニ
ナツテ参リマシテ、企業ノ獨立性ヲ失
フヤウナ虞ガアルヤウニ存ジマス、此
點ニ付テハ他ノ委員カラノ質疑ニ對シ
テ、大體ハ當局ノ意ノアル所ヲ諒ト致
シテ居リマスルガ、尙ホ地方ニ於テハ
此ノ點ヲ非常ニ心痛致シテ居ル向ガ多
イノデアリマス、此ノ問題ニ付當局
ノ考ヘテ居ル所ヲ、具體的ニ一般中小
商工業者ニ浸透スルヤウニ御説明ヲ戴
キタイと思ヒマス

○小出政府委員 所謂製造間屋ノ復活
ノ問題デゴザイマスガ、戰時中ノ各種
ノ企業整備ハ、主トシテ生産者カラ直
接消費者ヘト云フ風ナ方針ノ下ニ整備
ヲ行ヒマシタノデ、中間ニアリマス各

種ノ間屋ナリ、御覽ト云フヤウナ方ハ
殆ド整理ヲセラレマシテ、壊滅狀態ニ
瀕シテ居タノデアリマスガ、戰後ノ
復興ニ於キマシテ、是等ノ製造間屋ヲ
合理的ニ活用シテ行クト云フコトモ、
ヤハリ一ツノ重要ナ復興ノ要件デア
ラウ、斯ウ云フヤウナ意味ニ於キマシ
テ、健全ナル間屋ノ復活ヲ期待シマ
シテ、若シサウ云フ風ナ健全ナル間屋
復活シマシタ場合ニハ、之ニ對シテ資
材、資金ヲ集中シ、其ノ間屋ヲ通ジテ
其ノ間屋ニ關係シテ居リマスル中小商
工業者ヲ潤シテ行ク、斯ウ云フ風ナ途
モ考ヘラレル、斯ウ云フ意味デノ要綱
ハ至ク草案デアリマスルガ、要綱ガ出
來テ居ツタノデアリマス、必ズシ
モ其ノ間屋制度ノミヲ中心トシテ、今
後ノ中小商工業制度ノ復活ヲ間屋制
度ニ依リテ遂行スト云フヤウナ考ヘ
方デハナイノデアリマス、尙ホ其ノ場
合ニ於キマシテ、今御指摘ノナリマシ
タヤウニ、此ノ間屋制度ノ復活ガ、單
ナル昔ノ所謂製造間屋ノ復活ト云フ
トノ繰返シデアツテハナラナイ、斯
ウ云フ點ニ付キマシテハ十分ニ警戒ヲ致
シテ居ルノデアリマシテ、昔ノ中小商
工業者ガ間屋ニ歸屬致シマシテ、主ト
シテ其ノ間屋ノ持つテ居リマスル金融
ノ力ニ依リマシテ其ノ支配ヲ受ケル、
隨テ非常ニ惡條件ノ下ニ、間屋ノ言フ
儘ニナツテ居ツタト云フヤウナコトガ
今後繰返ハサレマス、結局日本ノ中
小工業ノ製品ノ品質ノ低下、或ハ勞働
條件ノ劣惡ト云フヤウナ、各種ノ問題
ヲ發生致シマスノデ、結局健全ナル中
工業ノ振興ニハナラナイト考ヘマス、
ソコデサウ云ツタ昔ノ古い型ノ間屋制
度ノ復活ト云フコトハ、全然期待致シ
テ居ナイノデアリマシテ、其ノ爲ニハ

間屋ト、其ノ間屋カラ注文ヲ貰ツテ製
造致シテ居リマス中小工業者ガ、一緒
ニ協同組合ヲ作ルト云フヤウナコト
ガ、一ツノ非常ニ新シイ形態トシテ考
ヘラレリデアリマス、其ノ場合ニ於
テハ、間屋モ中小工業者モ組合員トシ
テハ全く同等ノ地位ニ立チマシテ、其
ノ發言權モ一人一票デ總會デ議決ス
ト云フヤウナコトニナリマスノデ、是
等ノ點カラ致シマシテ、間屋ノ勢力ト
云フモノガ不當ニ伸ビテ來ルコトヲ或
ル程度抑制出來ルト云フ風ニモ考ヘ
マシテ、寧ろ協同組合ノ活用ニ依リマ
シテ、間屋制ノ長所ヲ生カシ、且ツ其ノ弊
害ヲ豫防シテ行クコトガ出來ルノデハ
ナイカ、斯様ニ意味ニ於キマシテ健全
ナル間屋制ノ復活ト云フコトヲ期待致
シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス
○早稻田委員 次ハヤハリ金融ニ關係
致シテ居リマスガ、戰時中ニソレ
商工業ノ企業整備ヲ行ハレマシテ、
是等轉廢業者ニ對シテ殘存業者カラ共
助金ヲ出シテ居ル、此ノ額ハ政府ノ説
明書ニモアル如ク、相當ノ額ニ上ツテ
居リマスガ、是ガ償還方法ニ付テハ今
日各種統制ノ枠ガ漸次外サレ、サウシ
テ轉廢業者シタ人モ新シク開業シ得ル段
階ニ相成リマシテ、相當償還スルノ
困難ノ感ジテ居ル業者ガ非常ニ多イ
デアリマス、是ガ措置ニ付キマシテ
ハ、豫算委員會ニ於テ誰カノ質問ニ對
シテ大臣ノ答辯ガアツタヤウデアリマ
スガ、ドウモハツキリシナイト云フ
デ、地方ニ於テハ非常ニ問題ニシテ居
リマス、出來レバハ免除スルトカ、
或ハ輕減スルトカト云フ臨時措置ガ執
ラレテ然ルベキモノダト私共考ヘテ居
リマスガ、之ニ對スル政府當局ノ所見
ヲ拜聴致シタイと思ヒマス

○小出政府委員 戰時中ニ行ハレマシ
タ企業整備ニ關聯致シマシテ、轉廢業
者シマシタ人達ニ對シマシテ、殘リマ
シタ同業者ノ方々ガ、例ヘバ組合トカ
統制會ト云フモノヲ單位ト致シマシ
テ、轉廢業者ノ營業權ヲ買取ツテヤ
ル、暖簾代ヲ補償スルト云フ意味ニ於
キマシテ、相當多額ノ共助資金ヲ出シ
タノデアリマス、其ノ共助金ヲ出ス財
源ト致シマシテ、國民更生金庫、或ハ
市中銀行カラ相當ノ借入金ヲ致シテ居
リマス、其ノ問題ガ今ノ御話ノ償還
ノ問題ニ關聯シテ來ル譯デアリマスガ、
御話ノ通り終戰後色々ノ經濟上ノ條件
ガ變ツテ参リマシタ、組合ト致シマシ
テ償還能力ノ點ニ於キマシテ色々ナ變
化ヲ來シテ居ルノガ實情デゴザイマ
ス、ソコデ之ニ對シマシテ、斯ウ云ツ
タ戰時中ノ處置ニ對スル跡始末ヲ成ベ
ク早く解決致シマシテ、サウシテ中小
商工業者ガ新シク再出發ガ速力ニ出來
マスヤウニ、早く此ノ共助資金ノ借入
金ニ對スル償還ノ措置ヲ解決シタイ、
斯ウ云フ氣持ヲ以テ、政府ト致シマシ
テハ先般國民更生金庫ノ理事長ヲ會長
ト致シマス委員會ヲ設ケマシテ、企業
整備共助資金整理審査會ト云フ名前ノ
審査會ヲ設ケマシテ、業種毎ニ終戰後
ノ狀況ヲ十分ニ調査致シマシテ、果シ
テドノ程度ノ償還能力ガアルカト云
フコトニ付テ調査シ、速力ニ此ノ共助資
金ノ借入金ノ解決ヲ圖リタイト考ヘテ
居ルノデアリマス、此ノ委員會ハ、六
月デアリマシタカ、第一回ノ總會ヲ開キ
マシテ、爾後業種別ニ調査ヲ進メマシ
テ、大體業種別調査ハ完了致シマシ
タ、此ノ調査ノ結果ニ基キマシテ、中
ニハ御話ノヤウニ償還能力ガ全然ナク
ナツタ、或ハ全然償還ノ見込ガナイト

遺フコトモゴザイマセウシ、或ハ物價ノ變動等ニ依リマシテ、商品ノ値上リト遺フヤウナコトカラ、償還能力ガ逆ニ殖エタト云フヤウナ業種モアルノデアリマス、ソコデ償還能力ノ十分アリマスヤウナ業種ニ付キマシテハ、寧ロ此ノ際繰上償還ヲサセマシテ、例ヘバ昭和二十五年ト云フヤウナ長イ期限ノモノハ、例ヘバ來年中ニ其ノ償還ヲ片附ケルト云フヤウナコトニ依リマシテ、早く免ラ付ケテ戴ク、之ニ反シテ償還能力ノ非常ニ減少致シマシタモノニ付キマシテハ、先ヅ其ノ償還ノ輕減或ハ免除ヲスルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ償還ノ輕減ノ方法ト致シマシテハ、例ヘバ償還期限ノ延長シテ、昭和二十五年マデト云フノ道ニ昭和二十七年マデト云フコトニスルトカ、或ハ中間ニ二年ナリ二年ノ中間據置期間ヲ設ケルトカ云フヤウナコトニ依リマシテ、債務ノ輕減ヲ圖ル、更ニ極端ニ場合ニ於キマシテハ、到底ドウ云フ手ヲ打ツテモ借金ヲ返シ見込ガナイト云フコトガ明白デアリマスルヤウナ業種ニ付キマシテハ、全額償還ノ免除ヲスル、或ハ一部分ノ免除ヲスルト云フヤウナコトニ依リマシテ、兎モ早ク此ノ共助資金ノ解決ヲ圖リタイト云フコトデ、今令準備ヲ致シテ居リマス、何レ業種別ノ具體的ナ方針ガ決リマシタ場合ニハ、ソレノ其ノ業界ノ方々ニ通告ヲ致シマシテ、國民更生金庫トノ關係ヲ結末ヲシケル豫定デゴザイマス、今申上ゲマシタノハ國民更生金庫カラノ借入金ダケノ問題デゴザイマシテ、一般ノ市中銀行ナドノ關係ニ付キマシテハ手ヲ觸レテ居リマセヌ、ト申シマスモノハ、市中銀行カラノ借入

金ハ割合ニ總額ニ於テ少ナイト云フコトト、ソレカラ市中銀行トノ間ニハ平等カラ色々ノ取引關係カアリマシテ、ソレノ適當ニ既ニ銀行トノ間ニ話合ガツイデ居ルノガ多イヤウナゴザイマスノデ、政府ト致シマシテ御世話ヲ申上ゲルノハ、國民更生金庫カラノ借入金ダケニ限リマシテ、サウ云フ處置ヲ現在執リツ、アルヤウナ狀況デゴザイマス

望申上ゲテ置ク次第デアリマス、次ハヤハリ戰後ニ於ケル中小商工業者ノ復興對策ノ一ツデアリマスガ、最近一般ニ失業者ガ非常ニ殖エテ參ツタノデアリマス、今日ノ失業者ハ段々都市ニ流レマシテ、今後尙ホ續出ノ傾向アリマスガ、是等ノ人々ハ、難テ開設ニ非常ニ安易デアリ、容易デアルト云フ小賣業ノ面ニ進出サレルコトガ豫想サレテ居リマスルガ、併シ今日ノ如キ物資ノ少ナイ日本ニ於キマシテ、是レ以上ノ小賣業者ノ殖エルト云フコトハ、難テ共倒レニナルコトデアリ、消費者ニモ惡イ影響ヲ及ボスカト存ジマス、此ノ問題ニ對シテ、政府ハ失業者ノ商業層ヘノ流入ニ對シテ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、伺ヒタイノデアリマス

レ込シテ行ク、謂ハバ次カラ次ヘト半失業者ノ「フル」ヲ成シテ居ルカノ如キ觀ヲ呈シテ居ツタノガ、結局健全ナル小賣業者ト云フモノガ、何時マデモ基礎的ニ固マツテ來ナイ根本原因デアラッタト思ヒマス、ソコデ之ニ對シマシテ執ルベキ方策ト致シマシテ、色々ノコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、根本的ニハ小賣業界ノ中ニ餘リ種々難多ノ分子ガ簡單ニ流レ込シテ來ナイヤウニ、之ヲ抑制スルト云フ方法ガ一ツ考ヘラレマス、ソレカラモウ一ツハ、出來ルダケ他ノ方面ニ産業ヲ起シマシテ、小賣業者ノ方ニ流レ込ムベキ人口ヲ、事前ニ他ノ方面ニ吸收スルト云フコトガ考ヘラレル、大體二ツノコトガ考ヘラレルノデアリマス、其ノ前ノ方點ニ付キマシテハ、結局營業ノ免許制ト云フ風ナコトデモ實施致シマセヌ限リハ、到底小賣業界ヘ流レ込ムコトヲ強制的ニ阻止スル方法ハナイカト考ヘマス、併シナガラ今日ノ營業自由ノ原則カラ申シマス、サウ云フ風汎ナ營業許可制ト云フモノハ今後ト雖モ考ヘル餘地ハナイノデアリマス、隨ヒマシテドウシテモ第二段ノ措置、即チ主トシテ生産ノ向上、中小工業ヲ初メ生産關係ノ振興ト云フコトニ依リマシテ、出來ルダケ人口ヲ生産關係ヘ吸收スルト云フ以外ニ方法ハナカラウカト考ヘテ居リマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、今後モ出來ルダケ中小工業ノ振興、其ノ他生産一般ノ振興ニ付キマシテ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ第一段ノ營業ノ免許制ト云フ風ナ廣汎ナモノハ考ヘマセヌケレドモ、例ヘバ露店商ト云フ風ナモノヲ考ヘテ見マシタ場合ニ於キマシテ、先般露店ノ取締ヲ嚴重ニ行ツタノデアリ

スガ、今後モ大體露店ニ付キマシテハ一定ノ場所ト區域ト云フモノヲ限定致シマシテ、露店商ノ組合ヲ結成サセマシテ、之ニ對シマシテ、各地方廳カラ免許證、露店出店ノ許可證ト云フヤウナモノヲ與ヘマシテ、其ノ許可證ヲ持ツテ居ル者デナケレバ其ノ場所ニ店ヲ出スコトガ出來ナイ、斯ウ云フ風ナ取締方針ヲ行ツテ居リマス、而モ其ノ許可證ヲ與ヘマスニ當リマシテハ、先ヅ第一ニ專門ノ商業者、即チ餅屋ハ餅屋デアリマシテ、昔立派ナ店舖ヲ持ツテ營業シテ居ツタ者ガ、戰災ノ爲ニ店舖ヲ失ツタト云フヤウナ人ガ、已ムヲ得ズ露店ニナツテ居ルト云フノガ、大體從來ノ露店商ノ五割位ヲ占メテ居リマス、隨ヒマシテサウ云フヤウナ人達ヲ優先的ニ許可ヲ致シマシテ、ソレニ次ギマシテハ大體引揚者デアリマストカ云フヤウナ、本當ニ事情已ムヲ得ナイ人達ニ限定致シマシテ、單ナル復員者、ソレガ全然業人デアツテ、他ニ十分働ケルダケノ能力ヲ持ツテ居ルガラ露店ニナルト云フ風ナ人達ハ、出來ルダケ之ヲ抑制スルト云フ風ナ方針ニ依リマシテ、露店ノ復興ニ付キマシテハ大體抑制的ナ方法ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○早稲田委員 將來中小商工業ノ再建ヲ圖ル基礎トシテ、本法ノ改正ノ如キ組合組織モ勿論必要デアリマスガ、併シ現在及ビ將來トモ、中小企業ヲ壓迫スルヤウナ原因ヲ取除カナケレバ、此ノ問題ノ解決シナイト思ヒマス、隨テ只今ノヤウナ失業問題ヲ御尋ネシタ露店アリマスルガ、其ノ他斯ウシタ取除カナケレバナラナイヤウナ問題ガアルノデアリマス、私ハ以下二、三例ヲ舉ゲテ當局ノ意見ヲ伺ツテ置キタイト

○早稲田委員 只今詳細御説明ヲ伺ツテ諒トスル點ガ多イノデアリマスガ、只今御説明ノ中ニアリマシタ償還能力ノアルモノカラハ償還サセル、償還能力ノナイモノハ免除スル措置ヲ早急ニ執ルト云フ御説デアリマシタガ、最近物價ノ値上リニ依リマシテ差益金等ガ生ジテ居ル所ガ相當アルノデアリマス、是等ノ値段ノ向上ニ依リ差益金等ハ當然償還資金ニ充當シテ然ルベキモノデハナイカト思ツテ居リマス、所ガ之ヲ長ク組合ナリ個々ノ手許ニ置キマシテ、段々ナタナルノデアリマスカラ、至急サウシタモノヲ更生金庫ヘ充當資金ニ繰入レルノダト云フヤウナ緊急方途ヲ講ジテ戴キタイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ政府ハ、政府ノ徵收スルモノニ對シテハ非常ニ嚴重デアルガ、支拂フモノニ對シテハ補償ノ打倒リヲ申サレテ、支拂ハレヌト云フヤウナ難ガ高イノデアリマスルガ、是等ト說ニ合セマシテ、既ニ償還能力ヲ失ツタモノニ對シテハ、調査トカ何トカ長引カセムコトハ却テ人心ヲ惡化サセルコトニ相成ルカリデ調査ノ上、免除スルト云フヤウナ方途ヲ講ジテ戴クコトガ出來レバ、大體結構ダト思ヒマス、強ク其ノ點ヲ希

○小出政府委員 我々國ノ商業、殊ニ小賣業ノ實情ヲ見マスルト、御話ノ通り極メテ零細ナ資本デ、殆ド何等ノ設備ナシニ簡便ニ營業ガ出來ルト云フヤウナコトカラ致シマシテ、外國ノ例ニ較ベマス、總對數ニ於キマシテモ、特ニ工業關係ノ生産人口ノ比率ニ於キマシテ、非常ニ小賣業者ナリ商業者ノ數ガ多過ギル、又終戦後ニ於テモ、戰時中一時非常ニ減少シテ居リマシタモノガ、再び續々ト増加シツ、アルト云フノハ、確力ニ御話ノ通り實情デアラウト考ヘルノデアリマス、而テ從來カラ小賣業者ト云フモノガ、何時マデモ零細ナ慘メナ生活、經營狀態ノ儘ニ殘ツテ居リマシタノハ、主トシテ今申シマシタ簡便ナル營業ト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、純然タル素人ナリ、或ハ失業者ガ續々ト商業人口ノ中ニ流レ込ミマシテ、ソレガ數年ニシテ失敗ラシテ、再び失業者ノ方面ニ流

レ込シテ行ク、謂ハバ次カラ次ヘト半失業者ノ「フル」ヲ成シテ居ルカノ如キ觀ヲ呈シテ居ツタノガ、結局健全ナル小賣業者ト云フモノガ、何時マデモ基礎的ニ固マツテ來ナイ根本原因デアラッタト思ヒマス、ソコデ之ニ對シマシテ執ルベキ方策ト致シマシテ、色々ノコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、根本的ニハ小賣業界ノ中ニ餘リ種々難多ノ分子ガ簡單ニ流レ込シテ來ナイヤウニ、之ヲ抑制スルト云フ方法ガ一ツ考ヘラレマス、ソレカラモウ一ツハ、出來ルダケ他ノ方面ニ産業ヲ起シマシテ、小賣業者ノ方ニ流レ込ムベキ人口ヲ、事前ニ他ノ方面ニ吸收スルト云フコトガ考ヘラレル、大體二ツノコトガ考ヘラレルノデアリマス、其ノ前ノ方點ニ付キマシテハ、結局營業ノ免許制ト云フ風ナコトデモ實施致シマセヌ限リハ、到底小賣業界ヘ流レ込ムコトヲ強制的ニ阻止スル方法ハナイカト考ヘマス、併シナガラ今日ノ營業自由ノ原則カラ申シマス、サウ云フ風汎ナ營業許可制ト云フモノハ今後ト雖モ考ヘル餘地ハナイノデアリマス、隨ヒマシテドウシテモ第二段ノ措置、即チ主トシテ生産ノ向上、中小工業ヲ初メ生産關係ノ振興ト云フコトニ依リマシテ、出來ルダケ人口ヲ生産關係ヘ吸收スルト云フ以外ニ方法ハナカラウカト考ヘテ居リマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、今後モ出來ルダケ中小工業ノ振興、其ノ他生産一般ノ振興ニ付キマシテ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ第一段ノ營業ノ免許制ト云フ風ナ廣汎ナモノハ考ヘマセヌケレドモ、例ヘバ露店商ト云フ風ナモノヲ考ヘテ見マシタ場合ニ於キマシテ、先般露店ノ取締ヲ嚴重ニ行ツタノデアリ

○早稲田委員 將來中小商工業ノ再建ヲ圖ル基礎トシテ、本法ノ改正ノ如キ組合組織モ勿論必要デアリマスガ、併シ現在及ビ將來トモ、中小企業ヲ壓迫スルヤウナ原因ヲ取除カナケレバ、此ノ問題ノ解決シナイト思ヒマス、隨テ只今ノヤウナ失業問題ヲ御尋ネシタ露店アリマスルガ、其ノ他斯ウシタ取除カナケレバナラナイヤウナ問題ガアルノデアリマス、私ハ以下二、三例ヲ舉ゲテ當局ノ意見ヲ伺ツテ置キタイト

○早稲田委員 將來中小商工業ノ再建ヲ圖ル基礎トシテ、本法ノ改正ノ如キ組合組織モ勿論必要デアリマスガ、併シ現在及ビ將來トモ、中小企業ヲ壓迫スルヤウナ原因ヲ取除カナケレバ、此ノ問題ノ解決シナイト思ヒマス、隨テ只今ノヤウナ失業問題ヲ御尋ネシタ露店アリマスルガ、其ノ他斯ウシタ取除カナケレバナラナイヤウナ問題ガアルノデアリマス、私ハ以下二、三例ヲ舉ゲテ當局ノ意見ヲ伺ツテ置キタイト

○早稲田委員 將來中小商工業ノ再建ヲ圖ル基礎トシテ、本法ノ改正ノ如キ組合組織モ勿論必要デアリマスガ、併シ現在及ビ將來トモ、中小企業ヲ壓迫スルヤウナ原因ヲ取除カナケレバ、此ノ問題ノ解決シナイト思ヒマス、隨テ只今ノヤウナ失業問題ヲ御尋ネシタ露店アリマスルガ、其ノ他斯ウシタ取除カナケレバナラナイヤウナ問題ガアルノデアリマス、私ハ以下二、三例ヲ舉ゲテ當局ノ意見ヲ伺ツテ置キタイト

思ヒマス、其ノ一ツハ、百貨店ノ資本の進出ニ依リマスル中小商工業者ノ保護政策アリマス、第二點ハ、最近消費組合ノ設立ガ各所ニ行ハレテ居リマス、是ト中小商工業者トノ調整方法如何、更ニ農村物資ノ配給ヲ、農業關係團體ニ於テ一元化スルヤウナ企テガアルヤウニ聞イテ居リマスルガ、若シ然リトスルナラバ、其ノ方法如何、ソレカラ日用品等ノ中ニハ第三號物資ト稱シマシテ、限界價格制度ニ依ルモノガ澤山アリマスルガ、此ノ制度ハ中小商工業者ニ粗悪品ノ製造ヲ懲罰シ、粗悪品ノ横行ヲサセサルヤウナ結果ニナルヤニ老ヘテ居リマスルガ、是等ニ對スル御方針ハドウカ、斯ク云フヤウナ諸點ニ付テ御答辯ヲ戴キタイ思ヒマス

○小農政府委員 第一點ノ百貨店ノ進出ニ對シマスル中小商工業者ノ保護ノ問題アリマス、百貨店ニ對スル對策ト致シマシテハ、既ニ戰前カラ百貨店ガ非常ナ大規模ナ資本ニ依リマシテ、小規模ノ商工業者ヲ壓迫スルト云フ虞ガ出テ參リマシタ、殊ニ百貨店ノ營業政策ガ極端ニ走リマシテ、所謂四政策ト云フ風ナコト、濫賣ト云フヤウナ極端ナコトマデ起リマシタノデ、此ノ百貨店ヲ抑制致シマシテ、小賣業者ヲ保護スル目的ヲ以テマシテ、百貨店法ト云フ法律ガ昭和十二年カ三年ダツタト思ヒマスルガ、制定サレタノデアリマス、此ノ法律ハ現在マデ現ニ存續致シテ居ルノデゴザイマス、此ノ百貨店法ノ狙ヒト致シマスルノハ、百貨店ガソレ以上全然進出出來ナイヤウニ、百貨店ガ新タニ支店ナリ出張所ヲ設ケル場合、或ハ出張販賣ヲスルト云フヤウナ場合ハ、總テ許可制度ニ致シマシテ、賣場ノ面積ヲ擴張スル場合ニモ一

一許可ガ要ル、其ノ許可ト云フノハ禁止ヲ意味スルノデアリマシテ、許可ヲシナイ爲ノ許可制度ト云フモノヲ布キマシテ、百貨店ノ進出ヲ抑制シテ參ツタノデアリマス、所ガ戰時中ニ於キマシテ、百貨店ハ寧ロ百貨店營業法トシテヨリハ、其ノ配大ナル「ビルディング」ヲ軍需産業或ハ他ノ統制團體ノ業務所ニ提供スルト云フ風ナ方面ニ轉換致シマシテ、恰モ「ビルディング」ノ如キ營業形態ニ戰時中ハ半々轉換ヲ致シテ居リマシテ、再ビ本來ノ百貨店營業ニ依リマシテ、再ビ本來ノ百貨店營業ニ立戻ルト云フコトガ現狀デゴザイマス、ソコデ今後ニ於ケル百貨店ノ動きデゴザイマスルガ、政府ト致シマシテハ、百貨店ト云フモノハ、ヤハリ一ツノ重要ナル小賣業ノ形態デアリ、且ツ最モ合理化サレタ形態デアリマシテ、丸公其ノ他ノ經濟道德ノ面カラ申シマシテモ、比較的關取引ノ少イ業界デハナカラウカト考ヘマシテ、百貨店一ツ概ニ壓迫スルト云フコトハ考ヘテ居リマセス、併シナガラ不當ニ百貨店ヲ小賣業界ニ進出致シマシテ、小賣業者ニ對シマシテ、例ヘバ濫賣ト云フ風ナ極メテ下當ナ競争手段ニ依リマシテ、是ト對抗シテ來ルト云フ風ナ事態ガ起リマシタ場合ニハ、之ニ對シマシテ十分抑制ノ途ヲ講ジタイと思ツテ居リマス、其ノ方法ト致シマシテハ、先程カラ申シマシタヤウニ、百貨店法ノ運営ニ依リマシテ、十分ニ其ノ抑制ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス

第二ハ消費組合ノ問題デアリマスガ、終戰後ニ於キマシテ消費組合ガ各地ニ發生致シマシテ、色々ノ種類ノ消費組合ガ出來テ居リマス、結局現在出來テ居リマス消費組合ノ主タル狙ヒハ、主トシテ食糧品ノ配給デアリマシテ、食糧品ノ配給ト云フ面カラ考ヘマス、消費組合ハヤハリ一ツノ配給機關デアルト、斯ク云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソコデ是等ノ消費組合ト一般ノ專門ノ商業者トノ關係ドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、是ガ配給機關ノ一形態デアルト云フ風ニ考ヘマシタ場合ニ於キマシテハ、此ノ消費組合ニ依ルベキカ或ハ專門ノ小賣業者ニ依ルベキカト云フコトニ付キマシテハ、原則トシテ消費者ノ選擇ニ任セテハ、言ヒ換ヘマスレバ消費者ノ配給機關ト云フモノハ消費者ノ利益ノ爲ニ存在スベキモノデアリマスルカラシテ、消費者ノ方ガ公平ニ見マシテ、消費組合ノ方ガ良イト云フ場合ニハ、必ズシモ消費組合ヲ拒否シテ行クベキモノデハナイト考ヘテ居リマス、言ヒ換ヘマスレバ、消費組合ト專門業者トノ間ノ公正ナル自由競争ニ任セマシテ、消費者ノ選擇ニ依ルノハ自由競争ト申シマスルカ、サウ云フ考ヘ方デ行キタイと思ツテ居リマス、但シ其ノ場合ニ於キマシテ、消費者ト云フノハ必ズシモ色々ノ點ニ於テ專門ノ知識ヲ持ツテ居リマセヌノデ、或ル程度ノ指導方針ヲ御示シタイと思ツテ居リマス、其ノ指導方針ト致シマシテハ、一般ノ小賣業者ニ依ラナイ消費組合ヲ活用シタ方ガ宜シイト考ヘラレルヤウナ各種ノ條件ヲ考ヘテ見マスナラバ、第一ニ一般ノ小賣業者ヨリハ配給値段ノ點ニ於テ比較的低廉デアルトカ、或ハ少クトモ一般商店デ買フ値段ト同ジデアルト云フヤウナコト、ソレカラ商品ヲ集メテ來ル能力ガ相當ニアルト云フコト、隨テ繼續ノ相當事業ノ出來ル見込アルモノデナケレバナナイ

ト思フノデアリマス、尙ホ商品ヲ保管スル設備デアリマスルカ、或ハ運搬スル設備デアリマスルカ、或ハ事業ヲ運営スル資金ノ面等ニ於キマシテ、相當シツカリシ基礎ノアルモノデアリマセヌト、結局消費者ニ迷惑ヲ掛ケルコトニナリマシテ、現在各地ニ發生シテ居リマスル消費組合ノ實情ヲ見マス、必ズシモ成功シテ居ルモノハ澤山アル譯デアリナイデアリマシテ、寧ロ却テ商品ノ値段ガ高カツタリ、或ハ商品ヲ集メテ來ル能力ガナイ爲ニ、「ブローカー」ノ所ニ行ツテ色々ノ中間搾取ヲレタリスル事態ガ却テ多イデアリマシテ、是等ハヤハリ消費組合ト云フモノヲ全面的ニ之ヲ配給組織トスルニハ、マダ十分ナル條件ヲ具ヘテ居ナイ例デアラウト考ヘルノデアリマス、要スルニサウ云フヤウナ指導方針ノ下ニ、本當ニ消費組合ノ方ガ消費者ノ爲ニナルト考ヘラレル場合ニ限リマシテ消費組合ヲ、認メタイと思ヒマス、尙ホ之ヲ更ニ具體的ニ申シマスレバ、消費組合ノ中ニハ色々ノ種類ガゴザイマシテ、先ヅ第一ニ地域の消費組合ト云フモノガ考ヘラレマス、我々ノ家庭ヲ單位ト致シマシテ、隣組等ヲ單位ト致シマシテ出來テ居リマスル普通ノ消費組合、是ハ地域毎ノ消費組合デアリマシテ、之ニ付キマシテハ今ノヤウナ條件ノ下ニ認メテ行キタイと思ヒマスルガ、之ニ反シマシテ炭礦、各地方官廳或ハ商店ノヤウナ隔離シタ地方ニ於ケル工場地帯ト云フヤウナ所テ出來テ居リマスル消費組合ハ、謂ハバ職域デアリ、且又地域の消費組合デアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、商店ヲ利用スル途ガゴザイマセヌノデ、寧ロ消費組合ヲ積極的ニ

活用スベキデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ純然タル職域ノ消費組合、官廳會社等ニ出來テ居リマスル消費組合ハ、是ハ一般家庭配給ノ外ニ更ニ之ニ附加ヘテ特別配給ヲ受ケルコト云フ風ナ關係ノモノデゴザイマス、之ハヤハリ別個ノ存在理由ノアルモノトシテ、其ノ健全ナル發達ハ之ヲ十分ニ期待シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、大體消費組合ニ付キマシテハサウ云フ風ナ方針デ行キタイと思ヒマス、ソレカラ第三ノ御導示ノ、農村物資ノ配給ノ問題デゴザイマスガ、農村ニ於ケル物資ノ配給ニ付キマシテハ、大體ニ於テハ農林省トノ御關聯セアル譯デアリマス、商工省ト致シマシテハ大體次ノヤウニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、原則ト致シマシテハ、農村ニ於ケル物資ノ配給ニ付キマシテハ農業會系統ガ扱フモノト、商店ガ扱フモノト二種類アル譯デマスガ、農業會ガ扱フベキ物資ト致シマシテハ、例ヘバ農民生産ニ直接必要ナル、所謂農民生産用ノ生産資材、肥料デアルトカ、農機具デアルトカ、云フ風ナ生産資材ニ寧ロ限定スベキモノデアリマシテ、ソレ以上進ミマシテ作業用ノ物資、例ヘバ地下足袋トカ作業衣トカ云フ風ナ作業用ノ物資トカ、或ハ更ニ進ミマシテ、日常ノ生活必需品、或ハ單ナル日用品、化粧品ト云フ風ナモノニ付キマシテハ、寧ロ專門ノ商業者ヲシテ配給セシメルノガ原則デアラウト思ヒマス、併シナガラ若シ農業會ノ系統ニ於テ配給ヲスルコトガ必要デアルト考ヘラレマル場合ニ於キマシテモ、其ノ現物ハ配給系統、ソレカラ物資ノ割當系統ト云フモノヲ區別致シマシテ、例ヘバ作業衣ナリ地下足

袋ノ配給ヲ致シタル場合ニ、ドノ府縣ノドノ農業者ニ幾ラ配給スルコト云フ數計ノ割當ハ、是ハ全國農業者、道府縣農業者、市町村農業者ト云フ風ニ、系統的ニ農業者ノ方デ割當ラシテ戴クコトハ結構デアリマスルガ、實際ノ地下足袋ナリ作業衣ノ現物ノ配給ハ、少クトモ中央カラ各府縣マデハ、ヤハリ纖維製品ナラ纖維製品ノ統制會社ノ系統ヲ通ジテ流スベキデアリマシテ、最後ノ末端ノ市町村ニ於ケル現物ノ配給ニ付キマシテハ、是ハ先程申シマシタ消費者ノ聲ト云フモノヲ中心ニ致シマシテ、農業者ガ宜イカ、商業者ガ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、消費者デアアル農民ノ聲ニ任ゼル、斯ウ云フ風ナ建前デ行キタイト思フテ居リマス、但シ以上ハ原則デゴザイマシテ、此ノ外ニ例外ト致シマシテ、例ヘバ臨時のニ米ノ供出ト云フ風ナ緊急ナ食糧問題ニ關聯致シマシタ問題ガ起リマシタ場合ニ、其ノ米ノ供出ノ見返リ物資ト致シマシテ、作業衣ヲ配給スルコト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、極メテ臨時のナモノデアリ、且ツ數量ハ限定サレテ居リマスノデ、數量ヲ限定致シマシテ、且ツ臨時のノモノトシテ、現物ヲ農業者ニ級ハセルト云フコトモ、是ハ例外的ニハ已ムヲ得ナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

加(藤一)委員長代理退席、委員(長著席)

ヤウナ結果ニナラナイカト云フコトデアリマスガ、此ノ界限價格制度ハ尙ホ今後モ之ヲ維持シテ行ク方針デゴザイマシテ、兎ニ角現在ノ考ヘ方ト致シマシテハ、消費者ノ需要ト云フコトヲ重點ト致シテ居リマスノデ、出來ルダケ安イ値段デ物資ヲ早く豐富ニ市場ニ出スト云フコトヲ主眼ト致シマシテ、此ノ爲ニハ第三號物資ニ付テノ界限價格制度ニ依リマシテ、製造業者ノ爲ニ中小工業者ガ或ル程度ハ壓迫サレルカモ知レナイノデアリマスガ、之ニ對スル緩和策ト致シマシテハ、先般商業組合中央會ヲシテ、業種別ニ取纏メテ申請ヲサセマシテ、組合員ニ一定ノ現金融資ヲスルト云フヤウナ取計ヒヲ致シマシテ、中小工業者ガ十分ノ物資ヲ吸收出來ルヤウニ圖ツテ居ルノデゴザイマシテ、サウ致シマシテ此ノ價格統制ノ枠ノ中デ、ソレ等ノ業者ノ自由競争ガ出來ルト云フコトヲ狙ツテ居ルノデゴザイマス、尙ホ各製品ニ付テノ價格査定制度ト云フモノガ整備サレテ、アルノデアリマシテ、粗惡品ヲ不合格トスルガ、或ハ非常ニ安イ値段デ販賣ヲサセルト云フヤウナコトニ付キマシテ、取締ヲ嚴重ニ致シマス爲メ、今後或ル程度粗惡品ハ十分ニ措置出來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○早稻田委員 大體諒ト致シマシタノデ、次ヘ移リマス

戰時中ニ出來タ戰時統制規則ニ基キマシテ、統制會社、統制組合ガ澤山出來、是ガ漸次改廢サレテ、アルノデアリマスガ、併シ現在ノ段階ニ於キマシテハ、既ニ之ヲ廢止シ、或ハ改正シテモ宜イヤウナモノガ澤山アル、是ハ勿論當局ニ於テモ御氣付キト存ジマスガ、

有無無益ナ斯ウシタ團體ハ一日モ早く拂拭スルコトガ、國民生活ヲ安定セシメルコトニ相成ルト思ヒマス、今後斯ウシタ統制會社、或ハ統制組合ニ對スル當局ノ指導方針ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○松田(太)政府委員 統制會社ナリ、統制組合ニ付キマシテ、戰時中ニソレガ行ツテ居リマシタ企業ガ、今日ノ實情カラ申シマシテ極メテ不合理ナ、實情ニ副ハナイ形態ニナツテ居リマスモ、ガ相當ニアリマスコトハ、御話ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ既ニ必要ノナクナツタモノ、或ハ改正スベキモノ、改善スベキモノニ付キマシテハ、其ノ都度之ニ手ヲ付ケテ行クト云フヤウナ方針デ、從來モ進ンデ居リマシテ、統制會等ニ付キマシテモ、既ニ逸早く解散ラシテ、統制會ガ統制組合ニナツタリ、或ハ單ナリ任意的ナ協會ニナツタモノ相當ニゴザイマス、又統制會社ニ付キマシテモ、統制會社令ノ改正ニ依リマシテ、統制會社ガ簡便ニ普通ノ株式會社ニナルト云フヤウナ途モ開キマス、又國家總動員法ノ廢止ニ伴ヒマシテ、統制會社令其ノモノガ消滅致シマスノデ、其ノ制度其ノモノモナクナルト云フヤウナ關係ニナリマス、統制組合ニ付キマシテモ、今度ノ組合法ノ施行デ全面的ニ廢止ニナリマスノデ、隨ヒマシテ今度ノ臨時物資需給統制法ノ施行ヲ契機ト致シマシテ、業種別ニ新シイ統制機構ト云フモノヲ確立致シマシテ、ソレニ合フヤウニ速力ニ改組致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○早稻田委員 少シ重複シタ問題デアリヤウデアリマスカラ、省略致シマシテ、本案運営ニ付テノ具體的事項ニ付テ

數點御尋ネラシタイト思ヒマス、本案ニ依ル協同組合ノ名稱デアリマスガ、此ノ名稱ヲ專用スル制限ニ付テ何等規定サレテ居ナイヤウデアリマス、例ヘバ僅カ數名ノ組合デ設立シタモノヲ何カ協同組合ト稱シ、或ハ東京ノヤウナ大都市ニ於テ、大多數ノ業者ニ依ツテ出來ルモノモ何カ協同組合ト稱スルコトニナツタ場合、此ノ爲ニ相互間ニ極メテ矛盾シタモノガ生レ出テ來ルヤウニ考ヘマス、何故本法ニハ斯ウシタ名稱ノ專用ニ關シテノ保護規定ヲ設ケナカッタカ、其ノ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○松田(太)政府委員 商工協同組合ノ名稱ノ專用ニ付キマシテハ、第三條ニ規定ガアリマシテ、商工協同組合ハ、その名稱の中ニ組合の事業に應じて、商、工若しくは鑛又はこれらの二以上を冠する協同組合といふ文字を用ひなければならぬ。商工協同組合でないものは、その名稱の中に、前項に掲げる文字を用ひてはならない。

斯ウ云フ規定ガゴザイマシテ、最小限度名稱ノ專用ニ關スル保護規定ハアルノデアリマス、唯御話ノヤウニ、法律自體ガ同一業種ノ組合ガ多數出來ル場合ニ、其ノ間ニ混同ヲ生ジナイカト云フ御話デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ組合ノ定款ヲ認可致シマス場合ニ、其ノ組合ノ名稱ニ付キマシテハ行政指導ニ依リマシテ、組合ノ個別性ヲ明カニスルヤウナ名稱ヲ指導的ニ付ケサセテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、出來ルダケ名稱ノ重複ヲ生ジナイヤウナ措置ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居リマス

○早稻田委員 第三條ニ規定サレテ居ルノデ支障ハナイト云フ御説明デアリマスガ、從來ノ組合法ニハ行政措置ヲ規定シテ居ツタヤウニ記憶致シテ居リマス、今後自由ニ各地ニ同ジヤウナ組合ガ發生スルコトヲ前提トシテ考ヘタ場合ヲ、何等カ行政措置ヲ講ズルコトノ出來ルヤウニ規定シテ置カナイ場合ハ、政府ニ於テモ非常ニ支障ヲ來スト思ヒマス、只今ノ御説デハ、認可或ハ許可ニ當ツテ適當ナ勘案ヲ加ヘルト云フ御説デアリマスルガ、併シ認可許可以外ノ同意組合ガダン、出來テ、例ヘテ申シマスルナラバ、協同組合ト云フ文字ヲ用ヒナクとも、之ニ類似シタ名前ヲ用ヒルモノモ考ヘテラマス、斯ウ云フ場合ニ行政措置ヲ講ゼラレルヤウニシテ置カナイト、今後取締ニ、或ハ運営ニモ非常ニ支障ヲ來スト思ヒマス、此ノ點當局ノ確答ヲ得タイト思ヒマス

○小出政府委員 協同組合法ニ依ル協同組合デナイモノガ、之ニ類似ノ名稱ヲ使フト云フコトハ勿論豫想サレマスルガ、少クトモ第三條ノ規定ニ依リマシテ、業協同組合、少クトモ協同組合ト云フ文字ヲ用ヒルコトハ出來ナイ譯デアリマス、少クトモ其ノ部分ニ於キマシテ是ガ商工協同組合法ニ依ル協同組合カドウカト云フ判別ハ付クト思ヒマス、併シ若シ非常ニ紛ラハシイヤウナ文字ヲ使フ任意組合ガアリマシテ、ソレガ經濟上同ジヤウナ取引關係ニ於テ第三者ニ迷惑ヲ及ボスヤウナコトガアリマスルト云フト、結局はハ法制ニ根據ガゴザイマセヌケレドモ、ソレハ地方長官ナリ出先ノ監督官廳ニ於キマシテ、行政指導ニ依ツテソレヲ措置シテ行ク以外ニ方法ガナイノデハナイカト考ヘマス、又實際問題ト致シマシテ、ソレニ依ツテ大體解決ガ出來ルノ

デハナイカ、斯様ニ思ッテ居ル次第デ
アリマス

○早稲田委員 當局ハ總テ認可、許可
ニ依ッテ本法ノ取締ヲスルト云フコト
ヲ御方針トシテ仰シヤルヤウデアリマ
スガ、自主的ニ今後運営サレンケレバ
ナラヌ時代ニ相成リマシタ今日、認
可、許可ニ對シテモ相當問題ガ起ッテ
來ルト思ヒマス、此ノ際認可、許可ニ
對スル當局ノ所信ヲ拜聽シテ置キタイ
ト思ヒマス

○小出政府委員 今度ノ商工協同組合
法ニ依リマシテ認可、許可ヲ致スベキ
事項ハ非常ニ限定サレテ居リマシテ、
組合ノ設立ト解散、ソレカラ定款ニ關
スル認可ガゴザイマシテ、アトハ商品
券ノ發行トカ商工證券ノ發行トカ、主
トシテ取締技術上第三者ニ迷惑ヲ及ボ
スヤウナ事項ニ關シテノミ許可、認可
制度ヲ執ッテ居ルデアリマス、而モ
其ノ許可、認可ニ當リマシテハ、從前
ノヤウナ官廳ノ自由裁量ト云フ餘地ハ
全然殘シテ居ナイノデアリマシテ、先
般モ御答ヘ申シマシヤウニ、法律ノ
第五十二條ニ於キマシテ、明文ヲ設ケ
マシテ、此ノ法律ニ基キテ許可、認可
ノ申請ガアリマシタ場合ニハ、行政官
廳ハ法令違反トカ或ハ公益侵害トカ云
フヤウナ事實ガナイ限りハ、許可、認可
ヲ拒ムコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウ
ナ明文ヲ設ケマシテ、法令違反トカ公
益侵害トカ云フ事實ガ起ラナイ限りハ、
行政官廳ハ許可、認可ヲシナケレバ
ナラヌ、斯ウ云フ制限ヲ自ラ設ケテ居ル
譯デアリマシテ、之ニ依ッテ行政官廳
ハ、曾ッテノ自由裁量ヲ許可シタリシ
ヤウニスル途ヲ講ジテ居ル譯デアリマ
ス

○早稲田委員 只今御説明ニアリマシ
タヤウニ、自由裁量ニ依ッテ許可、認
可ガ出來ナイト云フコトニ相成リマス
レバ、餘程詳細ナ點マデ規定シテ置カ
ナイト、將來オ困リニナル場合ガ多イ
ト思ヒマス、私ハサウシタ點カラ、
寧ロ許可、認可ノ制度ハ當局ガ之ヲ持
ツコトナクシテ、地方ニ許可、認可ノ
審議會或ハ委員會ト云フモノヲ構成致
シマシテ、是等ニ其ノ許可、認可ノ可
否ヲ諮問シテ、是ガ答申ニ依ッテ許
可、認可ヲスルト云フヤウナ方途ヲ考
ヘテ置ク方ガ時代ニ適應シテ居ル、斯
様ニ考ヘマスガ、サウ云フ御考ヘガ
アルカナイカ、斯ウ云フ點デアリマ
ス

○小出政府委員 協同組合ハ其ノ本質
カラ申シマシテ、利害關係ガ共通ノ同
業者ガ、自由ニ結合シテオ互ヒニ共同
事業ヲ行フト云フノガ主眼デアリマス
ルノデ、廣ク第三者ナリ關係方面ノ意
向ヲ參酌シテ、許可スベキカ否カラ審
議ヲスベキ團體トシテハ、其ノ性格ニ
於テ多少適當デナイモノガアルノデハ
ナイカ、斯様ニ考ヘマス、隨ヒマシ
テ、ヤハリ是ハ、最小限度行政官廳ノ許
可ヲ以テ足リルモノデアリマシテ、ソ
レ以上特別ニ必要ハナイノデアリマシ
カ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○早稲田委員 是ハ見解ノ相違トナリ
マスルガ、私ハ寧ロ總テ地方長官ナリ、
或ハ政府ガ認可、許可ノ權ヲ持ツト云
フコトハ時代錯誤デアリマシテ、此ノ
規定ノ中ニモアリマス商工組合中央會
ノ如キ機關、是ハ何レモ各都府縣ニ支
部ヲ持ッテ居リマス、地方ノ事情ニモ
能ク適應致シテ居リマス、斯ウ云フ機
關ニ委任ヲシテ、サウシテ許可、認可
ノ可否ヲ決スルコトガ時代のデハナイ
カ、斯ウ思ッテ居リマスガ、是ハ見解
ノ相違デアリマスノデ、此ノ程度デ止
メテ置キマシテ、次ノ問題ヲ二、三御
伺ヒシタイト思ヒマス

○小出政府委員 總代制ヲ認メ
ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマ
ス、無論今度ノ組合ガ總代制ヲ選バナ
カッタト云フコトニハ何カ原因ガアル
ト思ヒマスガ、大キナ組合ニ於ケサ
テハ、ヤハリ總代制ヲ設ケテ置カ
ナイノハ非常ニ不利、不便デアル、斯様
ニ考ヘマスガ、當局ノ所見如何デスカ
○小出政府委員 御話ノ通り、今度ノ
組合法ニ於キマシテハ、從來ノ組合法
ニアリマシタヤウナ總代會ノ規定ヲ設
ケテ居ナイノデゴザイマスガ、總代ト
云フ制度ガ從來必要デアリマシタノ
ハ、非常ニ多人数ノ組合員デアル場合
ニ於テ、多勢ノ人ガ集マルノハ不便デ
アリマスノデ、其ノ中カラ總代ヲ選
ブト云フノガ從來ノ慣例デアッタノデ
ゴザイマスガ、協同組合ニナリマス
ト、大體全國ノ非常ニ大ナ組合ト云
フモノモ殆ド豫想サレマセヌシ、大體小
人数ノ人ガ自由ニ集マルト云フノガ大
部分デアルト考ヘラレマス、サウ云フ
風ナ實際上ノ問題モゴザイマスガ、其
ノ外ニ總代ト云フモノヲ地域別ナリ、
或ハ業種別ニ設ケルト云フコトニナリ
マス、此ノ總代ニナッタ人ガ、兎角
所謂「ボス」的ト申シマスガ、一部ノ
組合員ノ方々ノ專制的ナ行爲ニ依リマ
シテ、組合員全體ノ總意ニ基キ民主的
ナ運営ヲ阻礙スル虞ガアル、斯ウ云フ
風ナ見地カラ總代會制ヲ採リマセズ、
原則トシテ總代總會ニ依ッテ運営ス
ル、斯ウ云フ風ニ一致シタ譯デアリマ
ス、唯實際問題トシマシテハ、誰カ自
分ノ代リノ者ガ總代ニ出テ行ツテ、發

言ヲスルト云フヤウナコトガ實際上ナ
イト云フコトハ、非常ニ不便デアルト
云フ事態モ相當ニアラウカト思ヒマ
ス、其ノ場合ノ不便ヲ解決スル方法ト
シテハ、代理人ニ依リ代理議決ト云フ
制度ガ開カレテ居リマスノデ、代理權
ノ自由ナル運営ニ依リマシテ、ソレ等
ノ不便ハ事實上解決サレルモノト考ヘ
テ居リマス

○早稲田委員 總代制ニ關スル問題
モ、ヤハリ見解ノ相違デアリマス
ガ、私ハ今後任意ニ作ラレル組合ハ、
小サイモノノミヲ政府ハ豫想サレテ居
リマスガ、寧ロ大キナ組合ガ出來ルノ
デハナイカト考ヘテ居リマス、斯ウシ
タ場合ヲ想像致シマスレバ、總代制ヲ
設ケテ置クコトガ適當デハナイカト考
ヘテ居リマスノデ、將來此ノ點御檢討
ヲ戴キタイト思ヒマス

○小出政府委員 今度ノ商工協同組合
法ニ依リマシテ認可、許可ヲ致スベキ
事項ハ非常ニ限定サレテ居リマシテ、
組合ノ設立ト解散、ソレカラ定款ニ關
スル認可ガゴザイマシテ、アトハ商品
券ノ發行トカ商工證券ノ發行トカ、主
トシテ取締技術上第三者ニ迷惑ヲ及ボ
スヤウナ事項ニ關シテノミ許可、認可
制度ヲ執ッテ居ルデアリマス、而モ
其ノ許可、認可ニ當リマシテハ、從前
ノヤウナ官廳ノ自由裁量ト云フ餘地ハ
全然殘シテ居ナイノデアリマシテ、先
般モ御答ヘ申シマシヤウニ、法律ノ
第五十二條ニ於キマシテ、明文ヲ設ケ
マシテ、此ノ法律ニ基キテ許可、認可
ノ申請ガアリマシタ場合ニハ、行政官
廳ハ法令違反トカ或ハ公益侵害トカ云
フヤウナ事實ガナイ限りハ、許可、認可
ヲ拒ムコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウ
ナ明文ヲ設ケマシテ、法令違反トカ公
益侵害トカ云フ事實ガ起ラナイ限りハ、
行政官廳ハ許可、認可ヲシナケレバ
ナラヌ、斯ウ云フ制限ヲ自ラ設ケテ居ル
譯デアリマシテ、之ニ依ッテ行政官廳
ハ、曾ッテノ自由裁量ヲ許可シタリシ
ヤウニスル途ヲ講ジテ居ル譯デアリマ
ス

○早稲田委員 只今御説明ニアリマシ
タヤウニ、自由裁量ニ依ッテ許可、認
可ガ出來ナイト云フコトニ相成リマス
レバ、餘程詳細ナ點マデ規定シテ置カ
ナイト、將來オ困リニナル場合ガ多イ
ト思ヒマス、私ハサウシタ點カラ、
寧ロ許可、認可ノ制度ハ當局ガ之ヲ持
ツコトナクシテ、地方ニ許可、認可ノ
審議會或ハ委員會ト云フモノヲ構成致
シマシテ、是等ニ其ノ許可、認可ノ可
否ヲ諮問シテ、是ガ答申ニ依ッテ許
可、認可ヲスルト云フヤウナ方途ヲ考
ヘテ置ク方ガ時代ニ適應シテ居ル、斯
様ニ考ヘマスガ、サウ云フ御考ヘガ
アルカナイカ、斯ウ云フ點デアリマ
ス

○小出政府委員 協同組合ハ其ノ本質
カラ申シマシテ、利害關係ガ共通ノ同
業者ガ、自由ニ結合シテオ互ヒニ共同
事業ヲ行フト云フノガ主眼デアリマス
ルノデ、廣ク第三者ナリ關係方面ノ意
向ヲ參酌シテ、許可スベキカ否カラ審
議ヲスベキ團體トシテハ、其ノ性格ニ
於テ多少適當デナイモノガアルノデハ
ナイカ、斯様ニ考ヘマス、隨ヒマシ
テ、ヤハリ是ハ、最小限度行政官廳ノ許
可ヲ以テ足リルモノデアリマシテ、ソ
レ以上特別ニ必要ハナイノデアリマシ
カ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○早稲田委員 是ハ見解ノ相違トナリ
マスルガ、私ハ寧ロ總テ地方長官ナリ、
或ハ政府ガ認可、許可ノ權ヲ持ツト云
フコトハ時代錯誤デアリマシテ、此ノ
規定ノ中ニモアリマス商工組合中央會
ノ如キ機關、是ハ何レモ各都府縣ニ支
部ヲ持ッテ居リマス、地方ノ事情ニモ
能ク適應致シテ居リマス、斯ウ云フ機
關ニ委任ヲシテ、サウシテ許可、認可
ノ可否ヲ決スルコトガ時代のデハナイ
カ、斯ウ思ッテ居リマスガ、是ハ見解
ノ相違デアリマスノデ、此ノ程度デ止
メテ置キマシテ、次ノ問題ヲ二、三御
伺ヒシタイト思ヒマス

○小出政府委員 總代制ヲ認メ
ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマ
ス、無論今度ノ組合ガ總代制ヲ選バナ
カッタト云フコトニハ何カ原因ガアル
ト思ヒマスガ、大キナ組合ニ於ケサ
テハ、ヤハリ總代制ヲ設ケテ置カ
ナイノハ非常ニ不利、不便デアル、斯様
ニ考ヘマスガ、當局ノ所見如何デスカ
○小出政府委員 御話ノ通り、今度ノ
組合法ニ於キマシテハ、從來ノ組合法
ニアリマシタヤウナ總代會ノ規定ヲ設
ケテ居ナイノデゴザイマスガ、總代ト
云フ制度ガ從來必要デアリマシタノ
ハ、非常ニ多人数ノ組合員デアル場合
ニ於テ、多勢ノ人ガ集マルノハ不便デ
アリマスノデ、其ノ中カラ總代ヲ選
ブト云フノガ從來ノ慣例デアッタノデ
ゴザイマスガ、協同組合ニナリマス
ト、大體全國ノ非常ニ大ナ組合ト云
フモノモ殆ド豫想サレマセヌシ、大體小
人数ノ人ガ自由ニ集マルト云フノガ大
部分デアルト考ヘラレマス、サウ云フ
風ナ實際上ノ問題モゴザイマスガ、其
ノ外ニ總代ト云フモノヲ地域別ナリ、
或ハ業種別ニ設ケルト云フコトニナリ
マス、此ノ總代ニナッタ人ガ、兎角
所謂「ボス」的ト申シマスガ、一部ノ
組合員ノ方々ノ專制的ナ行爲ニ依リマ
シテ、組合員全體ノ總意ニ基キ民主的
ナ運営ヲ阻礙スル虞ガアル、斯ウ云フ
風ナ見地カラ總代會制ヲ採リマセズ、
原則トシテ總代總會ニ依ッテ運営ス
ル、斯ウ云フ風ニ一致シタ譯デアリマ
ス、唯實際問題トシマシテハ、誰カ自
分ノ代リノ者ガ總代ニ出テ行ツテ、發

言ヲスルト云フヤウナコトガ實際上ナ
イト云フコトハ、非常ニ不便デアルト
云フ事態モ相當ニアラウカト思ヒマ
ス、其ノ場合ノ不便ヲ解決スル方法ト
シテハ、代理人ニ依リ代理議決ト云フ
制度ガ開カレテ居リマスノデ、代理權
ノ自由ナル運営ニ依リマシテ、ソレ等
ノ不便ハ事實上解決サレルモノト考ヘ
テ居リマス

○早稲田委員 總代制ニ關スル問題
モ、ヤハリ見解ノ相違デアリマス
ガ、私ハ今後任意ニ作ラレル組合ハ、
小サイモノノミヲ政府ハ豫想サレテ居
リマスガ、寧ロ大キナ組合ガ出來ルノ
デハナイカト考ヘテ居リマス、斯ウシ
タ場合ヲ想像致シマスレバ、總代制ヲ
設ケテ置クコトガ適當デハナイカト考
ヘテ居リマスノデ、將來此ノ點御檢討
ヲ戴キタイト思ヒマス

○小出政府委員 今度ノ商工協同組合
法ニ依リマシテ認可、許可ヲ致スベキ
事項ハ非常ニ限定サレテ居リマシテ、
組合ノ設立ト解散、ソレカラ定款ニ關
スル認可ガゴザイマシテ、アトハ商品
券ノ發行トカ商工證券ノ發行トカ、主
トシテ取締技術上第三者ニ迷惑ヲ及ボ
スヤウナ事項ニ關シテノミ許可、認可
制度ヲ執ッテ居ルデアリマス、而モ
其ノ許可、認可ニ當リマシテハ、從前
ノヤウナ官廳ノ自由裁量ト云フ餘地ハ
全然殘シテ居ナイノデアリマシテ、先
般モ御答ヘ申シマシヤウニ、法律ノ
第五十二條ニ於キマシテ、明文ヲ設ケ
マシテ、此ノ法律ニ基キテ許可、認可
ノ申請ガアリマシタ場合ニハ、行政官
廳ハ法令違反トカ或ハ公益侵害トカ云
フヤウナ事實ガナイ限りハ、許可、認可
ヲ拒ムコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウ
ナ明文ヲ設ケマシテ、法令違反トカ公
益侵害トカ云フ事實ガ起ラナイ限りハ、
行政官廳ハ許可、認可ヲシナケレバ
ナラヌ、斯ウ云フ制限ヲ自ラ設ケテ居ル
譯デアリマシテ、之ニ依ッテ行政官廳
ハ、曾ッテノ自由裁量ヲ許可シタリシ
ヤウニスル途ヲ講ジテ居ル譯デアリマ
ス

○早稲田委員 只今御説明ニアリマシ
タヤウニ、自由裁量ニ依ッテ許可、認
可ガ出來ナイト云フコトニ相成リマス
レバ、餘程詳細ナ點マデ規定シテ置カ
ナイト、將來オ困リニナル場合ガ多イ
ト思ヒマス、私ハサウシタ點カラ、
寧ロ許可、認可ノ制度ハ當局ガ之ヲ持
ツコトナクシテ、地方ニ許可、認可ノ
審議會或ハ委員會ト云フモノヲ構成致
シマシテ、是等ニ其ノ許可、認可ノ可
否ヲ諮問シテ、是ガ答申ニ依ッテ許
可、認可ヲスルト云フヤウナ方途ヲ考
ヘテ置ク方ガ時代ニ適應シテ居ル、斯
様ニ考ヘマスガ、サウ云フ御考ヘガ
アルカナイカ、斯ウ云フ點デアリマ
ス

○小出政府委員 協同組合ハ其ノ本質
カラ申シマシテ、利害關係ガ共通ノ同
業者ガ、自由ニ結合シテオ互ヒニ共同
事業ヲ行フト云フノガ主眼デアリマス
ルノデ、廣ク第三者ナリ關係方面ノ意
向ヲ參酌シテ、許可スベキカ否カラ審
議ヲスベキ團體トシテハ、其ノ性格ニ
於テ多少適當デナイモノガアルノデハ
ナイカ、斯様ニ考ヘマス、隨ヒマシ
テ、ヤハリ是ハ、最小限度行政官廳ノ許
可ヲ以テ足リルモノデアリマシテ、ソ
レ以上特別ニ必要ハナイノデアリマシ
カ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○早稲田委員 是ハ見解ノ相違トナリ
マスルガ、私ハ寧ロ總テ地方長官ナリ、
或ハ政府ガ認可、許可ノ權ヲ持ツト云
フコトハ時代錯誤デアリマシテ、此ノ
規定ノ中ニモアリマス商工組合中央會
ノ如キ機關、是ハ何レモ各都府縣ニ支
部ヲ持ッテ居リマス、地方ノ事情ニモ
能ク適應致シテ居リマス、斯ウ云フ機
關ニ委任ヲシテ、サウシテ許可、認可
ノ可否ヲ決スルコトガ時代のデハナイ
カ、斯ウ思ッテ居リマスガ、是ハ見解
ノ相違デアリマスノデ、此ノ程度デ止
メテ置キマシテ、次ノ問題ヲ二、三御
伺ヒシタイト思ヒマス

○小出政府委員 總代制ヲ認メ
ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマ
ス、無論今度ノ組合ガ總代制ヲ選バナ
カッタト云フコトニハ何カ原因ガアル
ト思ヒマスガ、大キナ組合ニ於ケサ
テハ、ヤハリ總代制ヲ設ケテ置カ
ナイノハ非常ニ不利、不便デアル、斯様
ニ考ヘマスガ、當局ノ所見如何デスカ
○小出政府委員 御話ノ通り、今度ノ
組合法ニ於キマシテハ、從來ノ組合法
ニアリマシタヤウナ總代會ノ規定ヲ設
ケテ居ナイノデゴザイマスガ、總代ト
云フ制度ガ從來必要デアリマシタノ
ハ、非常ニ多人数ノ組合員デアル場合
ニ於テ、多勢ノ人ガ集マルノハ不便デ
アリマスノデ、其ノ中カラ總代ヲ選
ブト云フノガ從來ノ慣例デアッタノデ
ゴザイマスガ、協同組合ニナリマス
ト、大體全國ノ非常ニ大ナ組合ト云
フモノモ殆ド豫想サレマセヌシ、大體小
人数ノ人ガ自由ニ集マルト云フノガ大
部分デアルト考ヘラレマス、サウ云フ
風ナ實際上ノ問題モゴザイマスガ、其
ノ外ニ總代ト云フモノヲ地域別ナリ、
或ハ業種別ニ設ケルト云フコトニナリ
マス、此ノ總代ニナッタ人ガ、兎角
所謂「ボス」的ト申シマスガ、一部ノ
組合員ノ方々ノ專制的ナ行爲ニ依リマ
シテ、組合員全體ノ總意ニ基キ民主的
ナ運営ヲ阻礙スル虞ガアル、斯ウ云フ
風ナ見地カラ總代會制ヲ採リマセズ、
原則トシテ總代總會ニ依ッテ運営ス
ル、斯ウ云フ風ニ一致シタ譯デアリマ
ス、唯實際問題トシマシテハ、誰カ自
分ノ代リノ者ガ總代ニ出テ行ツテ、發

言ヲスルト云フヤウナコトガ實際上ナ
イト云フコトハ、非常ニ不便デアルト
云フ事態モ相當ニアラウカト思ヒマ
ス、其ノ場合ノ不便ヲ解決スル方法ト
シテハ、代理人ニ依リ代理議決ト云フ
制度ガ開カレテ居リマスノデ、代理權
ノ自由ナル運営ニ依リマシテ、ソレ等
ノ不便ハ事實上解決サレルモノト考ヘ
テ居リマス

○早稲田委員 總代制ニ關スル問題
モ、ヤハリ見解ノ相違デアリマス
ガ、私ハ今後任意ニ作ラレル組合ハ、
小サイモノノミヲ政府ハ豫想サレテ居
リマスガ、寧ロ大キナ組合ガ出來ルノ
デハナイカト考ヘテ居リマス、斯ウシ
タ場合ヲ想像致シマスレバ、總代制ヲ
設ケテ置クコトガ適當デハナイカト考
ヘテ居リマスノデ、將來此ノ點御檢討
ヲ戴キタイト思ヒマス

○小出政府委員 今度ノ商工協同組合
法ニ依リマシテ認可、許可ヲ致スベキ
事項ハ非常ニ限定サレテ居リマシテ、
組合ノ設立ト解散、ソレカラ定款ニ關
スル認可ガゴザイマシテ、アトハ商品
券ノ發行トカ商工證券ノ發行トカ、主
トシテ取締技術上第三者ニ迷惑ヲ及ボ
スヤウナ事項ニ關シテノミ許可、認可
制度ヲ執ッテ居ルデアリマス、而モ
其ノ許可、認可ニ當リマシテハ、從前
ノヤウナ官廳ノ自由裁量ト云フ餘地ハ
全然殘シテ居ナイノデアリマシテ、先
般モ御答ヘ申シマシヤウニ、法律ノ
第五十二條ニ於キマシテ、明文ヲ設ケ
マシテ、此ノ法律ニ基キテ許可、認可
ノ申請ガアリマシタ場合ニハ、行政官
廳ハ法令違反トカ或ハ公益侵害トカ云
フヤウナ事實ガナイ限りハ、許可、認可
ヲ拒ムコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウ
ナ明文ヲ設ケマシテ、法令違反トカ公
益侵害トカ云フ事實ガ起ラナイ限りハ、
行政官廳ハ許可、認可ヲシナケレバ
ナラヌ、斯ウ云フ制限ヲ自ラ設ケテ居ル
譯デアリマシテ、之ニ依ッテ行政官廳
ハ、曾ッテノ自由裁量ヲ許可シタリシ
ヤウニスル途ヲ講ジテ居ル譯デアリマ
ス

○早稲田委員 只今御説明ニアリマシ
タヤウニ、自由裁量ニ依ッテ許可、認
可ガ出來ナイト云フコトニ相成リマス
レバ、餘程詳細ナ點マデ規定シテ置カ
ナイト、將來オ困リニナル場合ガ多イ
ト思ヒマス、私ハサウシタ點カラ、
寧ロ許可、認可ノ制度ハ當局ガ之ヲ持
ツコトナクシテ、地方ニ許可、認可ノ
審議會或ハ委員會ト云フモノヲ構成致
シマシテ、是等ニ其ノ許可、認可ノ可
否ヲ諮問シテ、是ガ答申ニ依ッテ許
可、認可ヲスルト云フヤウナ方途ヲ考
ヘテ置ク方ガ時代ニ適應シテ居ル、斯
様ニ考ヘマスガ、サウ云フ御考ヘガ
アルカナイカ、斯ウ云フ點デアリマ
ス

○小出政府委員 協同組合ハ其ノ本質
カラ申シマシテ、利害關係ガ共通ノ同
業者ガ、自由ニ結合シテオ互ヒニ共同
事業ヲ行フト云フノガ主眼デアリマス
ルノデ、廣ク第三者ナリ關係方面ノ意
向ヲ參酌シテ、許可スベキカ否カラ審
議ヲスベキ團體トシテハ、其ノ性格ニ
於テ多少適當デナイモノガアルノデハ
ナイカ、斯様ニ考ヘマス、隨ヒマシ
テ、ヤハリ是ハ、最小限度行政官廳ノ許
可ヲ以テ足リルモノデアリマシテ、ソ
レ以上特別ニ必要ハナイノデアリマシ
カ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○早稲田委員 是ハ見解ノ相違トナリ
マスルガ、私ハ寧ロ總テ地方長官ナリ、
或ハ政府ガ認可、許可ノ權ヲ持ツト云
フコトハ時代錯誤デアリマシテ、此ノ
規定ノ中ニモアリマス商工組合中央會
ノ如キ機關、是ハ何レモ各都府縣ニ支
部ヲ持ッテ居リマス、地方ノ事情ニモ
能ク適應致シテ居リマス、斯ウ云フ機
關ニ委任ヲシテ、サウシテ許可、認可
ノ可否ヲ決スルコトガ時代のデハナイ
カ、斯ウ思ッテ居リマスガ、是ハ見解
ノ相違デアリマスノデ、此ノ程度デ止
メテ置キマシテ、次ノ問題ヲ二、三御
伺ヒシタイト思ヒマス

○小出政府委員 總代制ヲ認メ
ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマ
ス、無論今度ノ組合ガ總代制ヲ選バナ
カッタト云フコトニハ何カ原因ガアル
ト思ヒマスガ、大キナ組合ニ於ケサ
テハ、ヤハリ總代制ヲ設ケテ置カ
ナイノハ非常ニ不利、不便デアル、斯様
ニ考ヘマスガ、當局ノ所見如何デスカ
○小出政府委員 御話ノ通り、今度ノ
組合法ニ於キマシテハ、從來ノ組合法
ニアリマシタヤウナ總代會ノ規定ヲ設
ケテ居ナイノデゴザイマスガ、總代ト
云フ制度ガ從來必要デアリマシタノ
ハ、非常ニ多人数ノ組合員デアル場合
ニ於テ、多勢ノ人ガ集マルノハ不便デ
アリマスノデ、其ノ中カラ總代ヲ選
ブト云フノガ從來ノ慣例デアッタノデ
ゴザイマスガ、協同組合ニナリマス
ト、大體全國ノ非常ニ大ナ組合ト云
フモノモ殆ド豫想サレマセヌシ、大體小
人数ノ人ガ自由ニ集マルト云フノガ大
部分デアルト考ヘラレマス、サウ云フ
風ナ實際上ノ問題モゴザイマスガ、其
ノ外ニ總代ト云フモノヲ地域別ナリ、
或ハ業種別ニ設ケルト云フコトニナリ
マス、此ノ總代ニナッタ人ガ、兎角
所謂「ボス」的ト申シマスガ、一部ノ
組合員ノ方々ノ專制的ナ行爲ニ依リマ
シテ、組合員全體ノ總意ニ基キ民主的
ナ運営ヲ阻礙スル虞ガアル、斯ウ云フ
風ナ見地カラ總代會制ヲ採リマセズ、
原則トシテ總代總會ニ依ッテ運営ス
ル、斯ウ云フ風ニ一致シタ譯デアリマ
ス、唯實際問題トシマシテハ、誰カ自
分ノ代リノ者ガ總代ニ出テ行ツテ、發

言ヲスルト云フヤウナコトガ實際上ナ
イト云フコトハ、非常ニ不便デアルト
云フ事態モ相當ニアラウカト思ヒマ
ス、其ノ場合ノ不便ヲ解決スル方法ト
シテハ、代理人ニ依リ代理議決ト云フ
制度ガ開カレテ居リマスノデ、代理權
ノ自由ナル運営ニ依リマシテ、ソレ等
ノ不便ハ事實上解決サレルモノト考ヘ
テ居リマス

○早稲田委員 總代制ニ關スル問題
モ、ヤハリ見解ノ相違デアリマス
ガ、私ハ今後任意ニ作ラレル組合ハ、
小サイモノノミヲ政府ハ豫想サレテ居
リマスガ、寧ロ大キナ組合ガ出來ルノ
デハナイカト考ヘテ居リマス、斯ウシ
タ場合ヲ想像致シマスレバ、總代制ヲ
設ケテ置クコトガ適當デハナイカト考
ヘテ居リマスノデ、將來此ノ點御檢討
ヲ戴キタイト思ヒマス

バ、特ニ専門的知識ヲ持ツテ居ル人ヲ必要トスルヤウニ考ヘマス、組合員ハ各々自分ノ自家營業ヲ持ツテ居リマス、隨テ組合ニ専念スルコトガ出來マセヌノデ、斯ウシタ場合專門家ヲ役員ニ採用致シマシテ、専心組合ノ運営ニ當ラセルコトガ健全ナル發達ヲ促スコトニ相成ルト思ヒマス、此ノ點重ネテ見解ヲ承リマス

○小出政府委員 重ネテ御質問デゴザイマスガ、員外役員ヲ認メナカッタ點ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ協同組合ノ本質カラ申シマシテ、協同組合ノ性格ハ、本當ニ利害關係ノ共通ナガオヒヒノ自由ナ結合ニ依ツテ、力ヲ協セテ事業ヲ運営スルコトヲ所ガ主眼デアリマスノデ、關係ノナイ第三者ノ方ヲ組合ノ自治機關ニ加ヘ、ソレニ依ツテ始メテ組合ノ運営ガ巧ク行クト云フノデハ、本當ノ意味ニ於ケル協同組合トシテノ條件ヲ具ヘテ居ナイモノト考ヘナケレバナラナイノデゴザイマシテ、若シドウシテモサウ云風ナ組合員各自ガ忙シイト云フヤウナ事態等ニ依リマシテ、事實上専門的ナ事務ヲ扱ヘナイ場合ニ於キマシテハ、特別ナ、所謂事務局トデモ申シマスカ、役員ノ長ナリ、或ハ技術ノ長ト云フ資格ニ依リマシテ、之ヲ活用スレバ宜シイ譯デゴザイマス、從來ノ統制組合ト云フ風ナモノヲ考ヘマス、統制ト云フモノハ第三者のナ立場カラ必ズシモ組合員ノ利害ト共通デナイ、相反スル事業モ行ハナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フ場合ニハ、寧ロ第三者ヲ役員ニ加ヘテ置クコトガ便利デアツタガ、今度ノ協同組合ハ統制ヲ行ハナイ、専ラオヒヒ同志ノ利益ヲ増進スルコトヲ主眼デアリマス

デ、オヒヒノ間カラノミ代表者ヲ出スト云フノガ當然ノ結論デアラウ、斯様ニ考ヘル譯デアリマス

○早稻田委員 ドウモ此ノ問題ハ納得シ難イ點ガアリマス、今承ツテ居リマスト、協同組合ハ本質カラドウモサウ云フコトハ出來ヌト、斯ウ仰シタルノデアリマスガ、併シ私ハ協同組合ナルモノノ本質ガ、實際分ラヌ、端的ノ存在デアツテ、ドウモドウ擱ンデ宜イカ、實ハ其ノ判斷ニ苦シンデ居ル譯デアリマス、ソレデハ此ノ本質カラ承リマスガ、今度ノ此ノ商工協同組合ハ法律上所謂公益法人デアルカ、又ハ營利法人デアルカ、或ハ別個ノ法人デアルカ、サウ云フ點ヲ一ツ承リタイ

○小出政府委員 商工協同組合ハ、民法上ノ所謂公益法人、營利法人ト云フ區別カラ申シマスレバ、組合員ノオヒヒノ共通ノ利益ヲ増進スルコトヲ主眼デアリマシテ、組合員以外ノ廣ク一般ノ公益ノ爲ニ存在スルモノデハアリマセヌノデ、公益法人ト云フ範疇ノ中ニハ入ラナイト考ヘマス、併シナガラサウカト申シマシテ、組合ノ行ヒマスル事業ハ營利目的トシテ居ルモノデ、アリマセヌ、組合自身デ儲ケヨウト云フヤウナ狙ヒデ以テ組合事業ヲ行フノデハアリマセヌノデ、營利法人デハナイ譯デアリマス、隨ヒマシテ、公益法人ニモ營利法人ニモ屬シナイ、從來學者ノ間ニ於テ能ク言ハレテ居リマス中間法人ト云フ性質ノモノデアリマシテ、此ノ點ニ於キマシテハ、現在ノ商工協同組合ニ依リ施設組合、或ハ元ノ商業組合、工業組合ト云フヤウナモノモ、法律的ニ喧シク申シマスレバ、中間法人ト云フヤウナ解釋ニナツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス

○早稻田委員 本法ニ依ル組合ハ、別個ノ法人デアルト、斯様ニ御答辯戴キマシタガ、此ノ別個ノ法人トハ、私能ク其ノ核心ヲ把握スルコトガ出來マセヌガ、全條文ヲ判讀致シマスルト、多分ニ協同組合主義ヲ觸レテ居ルヤウナ點ガ多イデアリマスガ、一體此ノ法案ヲ御作リニナルニ付キマシテハ、協同組合主義ノ示唆ヲ受ケテ御作リニナツタノカ、或ハ商工省ニ於テ、獨創的ノ觀點カラ別個ノ法人トシテ御作成ニナツタカ、甚ダ恐縮デアリマスガ、御參考ノ爲ニ承ツテ置キタイト思ヘマス

○小出政府委員 協同組合ト云フ名稱ノ問題カラ、色々此ノ協同組合ノ本質ニ關シマシテ、議論ガナサレテ居ル譯デアリマスガ、實ハ政府ト致シマシテハ、協同組合主義ト云フ風ナ特別ノ主義ヲ掲ゲマシテ、其ノ協同組合主義ニ基イデ斯ウ云フ協同組合ヲ立案シタト云フ風ナ關係デハアリマセヌノデ廣ク協同組合主義ト云ハレマス中ニモ、論ズル人ニ依ツテ色々考ヘモ違ツテ來ルカト思ヒマスガ、此ノ制度ヲ社會全體ニ押擴ゲマシテ、所謂組合國家ト云フヤウナ、協同組合思想ヲ全面的ニ經濟社會組合ノ根柢ニ置イテ、ソレヲ前提トシテ斯ウ云フ法律ヲ立案シタト云フ風ナ關係デハナイノデアリマシテ、唯中小商工業ノ振興ヲ圖リマス上ニ於キマシテハ、零細ナル業者ノ協同ノ力ヲ協セテ、協同事業ヲ行ヒ、ソレニ依ツテ大企業ノ持ツテ居リマス經營ノ合理性ヲ享有シテ行クト云フ點ガ、中小商工業經營ノ根柢デアラウト云フヤウニ考ヘテ、唯其ノ面ニ於テ考ヘテ居ルニ過ギナイノデアリマス、廣ク協同組合原理ト云フ風ナ、「イデオロギー」的ナ考ヘ方カラ出發シテ居ルモノデハ

ナイコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○早稻田委員 一體協同組合主義ハ資本主義ニ立ツテ居ルノカ、或ハ社會主義ノ上ニ立ツテ居ルノカ、資本主義ヲ肯定スルノカ、否定スルノカト云フヤウナ問題ニ付テモ、實ハ伺ヒタイノデアリ、又工業ノ方ハ別トシマシテ、商業ニ於キマシテハ、協同組合主義ニ依リ指導方針ハ營利ヲ否定シテ居ル（委員長退席、加藤（一）委員長代理 理席席）

併シ本法ニ依リ指導方針ハ營利ヲ認メテ居ルト云フヤウナ點ガ、非常ニ矛盾ガアルヤウニ存ジマスガ、併シ其ノ問題デ時間ヲ取ルノハ大變恐縮デアリマスノデ、此ノ問題ハ是デ打ち切り、尙御尋ネシヤイコトガ澤山アリマスカ、商工大臣ニ御尋ネナサル先約モスリマスノデ、私ハ一應是デ中斷致シマシテ、他ノ委員ノ方ノ質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤（一）委員長代理 ソレデハ澤田ヒサ君

○澤田委員 私ハ商工協同組合ト云フ名ヲ聽キマシテモ、洵ニ和ヤカナ結構ナ立法ダト云フノデ、非常ニ贊意ヲ表シテ居ル一人ナノデゴザイマス、何トナレバ、協同組合ト申シマスルノハ、ドナタガドノヤウニ仰シヤイマシテモ、其ノ精神ニ於キマシテ、愛ノ精神ト、多數ノ人間ガ協力シテ行クト云フ此ノ精神ヲ持タズシテハ、決シテ發達シ得ルモノデハナイノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、現在敗戦後ノ日本ノ國民ハ、世界ノ國々ニ比ベマシテ、洵ニ御恥シイ次第デゴザイマスカ、レドモ、道義ノ類廢未ダ曾テ歴史ニ見ザル所ノ荒レ切ツタ精神ニナツテ居リ

マスノデ、一體此ノ荒レ切ツタ日本ノ人間ノ精神ヲ「カバ」シテ行キマス點ニ於テハ、協同組合ニ依ルヨリ外ニ途ハナイカト考ヘルノデゴザイマス、又中小商工業者ニ於キマシテモ、アノ戰時中ニ於テ、總動員法デアルトカ、又企業許可令デアルトカ云フヤウナ、非常ニ窮屈ナ目ニ遭ヒマシテ、今日漸ク解放ハサレマシタケレドモ、其ノ方方ガ多クハ戰災ニ遭ヒマシテ、一人立ちデ行クトノ出來ナイ商工者ガゴザイマスガ、此ノ方々モ御多聞ニ漏レズ、非常ニ自己ノ利益ノミヲ考ヘマシテ、協同ノ精神ト云フヤウナモノニ缺ケタ人ノミ寄ツテ居ラレマスノデ、先ヅ此ノ精神ヲ植付ケナレバ、隨分正シイ、立派ナモノニナルノデハナイカト考ヘルノデゴザイマス、凡ソ日本ノ商人ハ、諸外國ニ比ベマシテ、嘘ヲ吐クコトヲ目標トシテ只今マシテ居リマシタガ、外國デハ商人程正シイ、嘘ヲ吐カナイ、約束ヲキツチリ守ルモノハナイコトナツテ居リマス、所謂紳士ハ「ビジネス」トナツテ居ルノニ、我が日本ノ商人ハ商業ヲ一ツノ方便ト云フヤウニ考ヘラレタカ、嘘ガアツテモ是ハ商人デアルカラ已ムヲ得ナイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス所ヘ、只今物資不足ニ依リマスノト、金融難トニ依リマシテ、其ノ精神ガ非常ニ尖鋭化致シテ居リマスノデ、之ヲ愛ト協力ノ精神ニ依リマシテ、商工協同組合法案ヲラサレマスレバ、洵ニ立派ナ商工者ニナルト考ヘラレルノデアリマスケレドモ、只今マデノ政府ノ方々ノ御答辯ヲ聽イテ見マス、愛ニ立脚シテ之ヲナサツタト考ヘテ居ラレル方々ガ、御一人モイラツシヤラナイノ洵ニ遺憾トスル次第デゴザイマス、英國ノ「ラン

第六類第二十三號 臨時物資需給調整法案委員會會議錄 第十二回 昭和二十一年九月二十六日

カシヤノ生活協同組合ト云ハズ、「ド
イツ」ノ「ライハイゼン」ノアノ農業協
同組合ト云ハズ、其ノ悉クガ愛ト協力
ノ精神ニ依ツテ今日マデ發達ナシ、世
界ノ模範タル所ノ地位ヲ取ツテ居ル
デアリマスガ、我が日本ハ、ナゼ此ノ
立法セラレタ方々ガ此ノ精神ニナツテ
居ラレナカッタカ、同時ニアノ「フイ
ンランド」ガ五箇年間ソ聯ニ對シマシ
テ戦ヒ切ツタ其ノ原因ハ何カト申シマ
スト、協同組合ノ精神ガ一ツト、今一
ツハ「ルトテル」ノアノ宗教教會ノ精神
ドノ「ニツデア」アツタデゴザイマス、此
ノ「ニツ」依ツテ「ソ」聯ニドノ「ト」抗
シ切ツタノデアリマスガ、我が國ニハ
左様ナモノハ遺憾ナガラ一ツモアリマ
セタ、今日日本ノ農村ニ於ケル産業組
合ト申シマシテモ、實ニ其ノ精神ノ水
準ト云フモノハ低イモノデゴザイマス
カラ、此ノ何ニモ協同精神トカ、愛ノ
精神トカ云フモノヲ知ラナイ所ノ商工
者ニ向ツテ、之ヲ實施スル上ニ於テキ
テ、ドウ云フ風ニ教育ノ方法ヲナサル
ヤ、是ガ第一ニ質疑シテ、皆サンカ
ラ御答辯ヲ得タイ點ト、又之ヲ立法化
スルニ付キマシテモ、其ノ施行ニ當
テ、「ロツチデール」ノ經濟鐵則ニ依
テ之ヲ施行セラレルノカドウカ、或ハ
資本主義「カバール」スル爲ニ此ノ法律
ヲ使ハレノカト云フコトヲ、商工大
臣カラ御答辯願ヒタイ次第デアリマス
○星島國務大臣 澤田女史ノ御言葉
ハ、洵ニ私共サウアリタイと思フ譯デ
アリマシテ、實ハ此ノ協同ト云フ文字
ヲ使フ場合ニ、若シ私一人ニ此ノ名前
ヲ付ケルコトヲ許サレルナラバ、私ハ
友愛ト云フ字ヲ付ケタカモ知レヌ、斯
様ニ思フ位デアリマスカラ、其ノ言葉
ガ現ハス如ク、アナタノ仰セノ通りナ

氣持デナケレバ、如何ニ法律ガ出來
シテモ、如何ニ組合ガ出來マシテモ、
私ハウマク行カヌダラウ、斯様ナ心配
ヲ持ツテ居ルノデアリマス、實際仰セ
ノ如ク日本ガ起チ上ル爲ニハ、先ヅ僞
リヲ言ハナイ、サウシテ友愛ノ精神ニ
燃エテ、互ニ協力シ合フト云フコトカ
ラ發足シナケレバ、如何ニ統制ヲヤリ
マシテモ、闇ガアリ、サウシテ自己本
位ノコトバカリヤツテ居タノデハ、
正味ノ仕事ハ出來ナイ譯デアリマシ
テ、只今仰セノ數々ハ、全部其ノキ
ヲ氣持ヲ以テ行カナクテハ本當ノ仕事
ハ出來ナイモノダ、ソコデ私ト致シマ
シテハ、協同組合ノ根本精神ガ如何ナ
ル原理カラ來ルカハ別トシテ、宜イコ
トハ全部之ヲ採入レテ行キタイ、日本
ニハ日本流ノ精神モアリマセウシ、外
國ニハ外國ノ色々ナ精神ガアリマセウ
ガ、凡エルモノノ之ニ採入レテ、要ス
ルコトハオ互ニ眞ニ友愛ノ精神ニ燃
エ、協同ノ精神ニ燃エテ、其々ニ起チ上
リ、援ケ合フト云フ所デ、此ノ仕事ノ
運用ヲヤツテ行キタイト云フ根本精神
ニ外ナラヌノデアリマスカラ、只今ノ
御説ハ全部私ハ受ケ容レテ參リタイ、
斯様ニ考ヘマス
○澤田委員 私人意見ト商工大臣ノ御
意見ガ圖ラズモ一致シタコトヲ、私喜
ビマスノデ、現在ノ商工大臣ニ信任致
シマシテ、此ノ商工協同組合ハ完全
ニ、立派ニ支持セラレラウと思ヒ
マスノデ、商工大臣ニ對シテノ質問ハ
是デ打切りマス
續イテ私物調ノ折ニ一遍聽イテ戴キ
タカウタノデゴザイマスガ、私其ノ折
ハ委員デゴザイマセヌデシタノデ、膳
國務大臣ノオ代リノ方ニ一寸伺ヒタイ
次第デゴザイマス、先ヅ今日引揚者、

災害者ニ取リマシテ、最も痛切ニ感ジ
ラレマス問題ハ、何ト申シマシテモ
住宅ノ問題ナンデゴザイマス、此ノ住
宅ノ問題ニ對シマシテ、私が過タル二
日ニ、復興局ノ安岡住宅課長ト住宅問
題ニ付テ對談放送ヲ致シマシテ、其ノ
内容ヲ聽カシテ戴キマシタノデゴザイ
マスガ、只今日本ニ家ヲザツト四百萬
軒建テナケレバナラナイサウデゴザイ
マス、之ヲ二十箇年計畫ト致シマシ
テ、一年二十五萬軒建テタルト云フ
方策サウデゴザイマスガ、先ヅ今年
トシテハ、ソレノ半分ノ十二萬五千軒
ヲ建テタル安岡住宅課長ガ申シテ居
ラマシタガ、ソレニ付キマシテ、アノ
今マデノ古い官儀式ノ住宅營團ヲ以
テ、此ノ住宅ノ設計或ハ建テル任務ヲ
負ハサレマシテハ、連モ一般民衆ハ喜
ンデ之ヲ引受ケラレナイノデゴザイマ
ス、ドウシテモ之ヲ急イデ、而モ民主
的ニヤラセマスニ當ツテハ、少クとも
生活協同組合ト云フモノヲ持ヘテ、其
ノ生活協同組合ノ一編ニ住宅協同組合
ヲ持ヘマシテ、今マデゴザイマシタ年
賦償還デ支拂ツテ、三十年二十年ノ後
ニ、小サイナガラモ樂シイ我が家トナ
ル方向ニ之ヲ變ヘテ戴クベク、材料ヲ
ドシノ「ト」、アノ重要物資調整令ノ名
ニ依ツテ此ノ住宅法ニ依ル住宅組合ニ
廻シテ戴キタイト考ヘルノデゴザイマ
ス、其ノ序ニモウ一言申シテ置キマス
ガ、其ノ家賃ガドレダケアルカト申
シマス、政府ガ半分負擔ヲ致シマシ
テ、百二、三十圓ハドウシテモ家賃ヲ
取ラナケレバナラナイ、ト復興局デ申
サレマスガ、僅カ五百圓ノ新國民生活
百二、三十圓モ家賃ノ住宅費ニ取ラレ
マシテ、ドウシテ僱給生活者ヲ勞働者
ノ生活ガナシ得ラレウカト考ヘラ

レマスノデ、ドウシテモ、始末致シマ
シテモ、始末仕甲斐ノアリマスル所
ノ、自分ノ家賃ガテラニ納メタモノ
ガ、最後ハ我家ニナルト云フ方策ヲ執
ラレテハ如何ト思ヒマスガ、之ヲ國務
大臣ニ代ツテ答辯願ヒタイ次第デゴ
ザイマス
○橋井政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
經濟安定本部ニ於キマシテ、只今色々
ナ資料ノ調査ヲ致シマスト共ニ、是ト
絡ミマシテ、我が國民生活ノ安定、又
日本國民經濟ノ長イ限ヲ以テ致シマス
ル再建設ト云フコトニ付キマシテ、
全般ニ思ヒラ運ラシマシテ、色々經濟
計畫ノ樹立ニ勵ンデ居ル譯デアリマ
ス、之當然其ノ一部分ト致シマシ
テ、其ノ重要ナコトト考ヘマシテ、此
ノ住宅ノ問題モ取扱ツテ居リマス、之
ニ關シマシテハ、先刻仰セラレマシタ
通り、直接ニ之ヲ擔當致シマス御役所
ガゴザイマスノデ、ソチヲノ計畫ヲ十
分ニ尊重シツ、ソレニ必要ト致シマ
スル資料ノ點、ソレカラ家賃其ノ他ノ
點等モ種々考究致シテ居リマシテ、要
ハ出來ルダケ早ク戰災者ノ方々ニ、家
ガ建ツテ供給サレマスヤウニ、ソシテ
其ノ家賃ニ付キマシテモ、又戰災者其
ノ他ノ家屋ノ終局ノ入手等ニ付キマ
シテモ、銘々ソレ等ノ方々ガ一番仕
合セニナリマスヤウニ致シタイト云フ
方向デ、研究ヲ進メテ居リマス、唯御
承知ノ通り、只今ノ我が國ハ非常ニ資
材ガ苦シウゴザイマス、連モ我が國ダ
ケデ十分ニ供給ノ出來ナイと思ヘルヤ
ウナモノモゴザイマスルシ、又半面食
糧其ノ他、差當リドウシテモ先ヅ優先
的ニ供給シナケレバナラヌモノガ、住
宅ト絡ンデ、是亦相當量ノ資料其ノ他
ヲ要求致シテ居ル、斯ウ云フ實情モゴ

ザイマス、仰セノヤウナ趣旨モ十分ニ
酌ミマシテ、只今今後ノ具體的ナ數字
的ナ經濟計畫ヲ立テマシテ、逐次政府
各部門ニ於テ實行ニ移ス、斯ウ云フヤ
ウナ方向ニ向イテ居ル譯デアリマ
ス、御質問ノ御趣旨洵ニ御尤モト存ジ
マスノデ、十分ソレ等ノ計畫ニ採入
レテ致シテ行キタイ、斯ウ考ヘル
次第デゴザイマス
○澤田委員 洵ニ熱意アル御答辯ヲ戴
キマシテ、私感謝スル次第デゴザイマ
ス、尙ホ附言シテ申上ゲマスガ、ドウ
ゾ一日モ早ク多數ノ家ヲ御建設ニナツ
テ、假令少數ゾツデモ安堵シテ入ツタ
ト云フ引揚者、罹災者ノ喜ビヲ見ラレ
ンコトヲ、伏シテ御願ヒスル次第デゴ
ザイマス
次ニ大藏省府委員ハイラツシヤイ
マセヌデゴザイマセウカ
○加藤(一)委員長代理 居リマセヌ
○澤田委員 ソレデハ安定本部ノ方々
ヲ通ジテ、大藏省ニ御願ヒシタイコト
ガアルノデゴザイマス、ソレハ、私先
日一寸田舎ノ方ニ參リマシテ調ベマシ
タ所、只今此ノ商工協同組合法案ガ出
マスノデ、引揚者ノ方々ガ、小サイナ
ガラニ此ノ協同組合ヲ持ヘマシテ、サ
ウシテ元ノ生活ノ位置ニ歸リタイ爲
ニ、アノ生活保護法ニ「ゴザイマスル生
業資金ヲ庶民金庫カラ借受ケヨウト努
力致サレマスルシ、又縣モ非常ニ誠意
ヲ持ツテ是ノ斡旋ニ努メラレタノデゴ
ザイマス」ケレドモ、悲シイコトニ、オ
金ヲ三千圓出シマスルニ當ツテ、一人
前僅カ現金デ六百圓、アトノ二千四百
圓ハ封鎖小切手ヲ以テ此ノ生業資金ニ
當テラレマスノデ、其ノ引揚者ノ方々
ガ、是デハドウシテモ設備スルコトモ
出來ナイノデ、錢ガ自由ニナラナイノ

デ、商賈ニアリ付クコトモ、協同組合ニ加入スルコトモ出來ナイト言フヲ、非常ニ不自由ガツテ歎イテ居ラレマスノデ、色々金融廳官令ノ御都合モゴザイマセウケレドモ、大藏當局ハドウガ此ノ際此ノ引揚者ノ方々ニ限ツテ、封鎖ト云フコトヲ解イテ、現金ニシテ、アノ生業資金ヲ貸與ヘテ戴クコトヲ、私權從者ニ代ツテ此ノ際御願ヒシテ置ク次第ナンデゴザイマス

○星島國務大臣 只今澤田サンノ御話ハ御尤モト思ヒマス、又先般直接引揚者ノ團體カラモサウ云フ陳情ガアリマシタノデ、今大藏當局ト致シマシテモ考慮ヲ拂ヒツ、アルコトデアリマス、殊ニソレ等ノ人ガ一ツノ組合ヲ結成サレマシテ、サウシテ其ノ組合ガ出來タ上ニ於キマシテハ、何ヲ仕事ヲサレバ、其ノ仕事ノ種類如何ニ依ツテハ、十分縣當局ヲ通シテ御指導申上ゲテ、若シ資金ガ足ラナカッタラバ、或ハ地方ノ普通銀行ヲ通シテ、或ハソレデモイカヌ場合ニハ、今回出來マシタ復興金融庫ヲ通シマシテ、十分ノ御援助ヲ申上ゲルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○澤田委員 洵ニドノ質問ニ對シマシテモ、熱意アル御答辯ヲ戴キマシテ、政府諸公ニ對シテ感謝スル次第デゴザイマスガ、今一ツ商工大臣ニ伺ヒタイ問題ヲ思ヒ付イタノデゴザイマス、ソレハ貿易ノ問題デゴザイマス、私ガ只今マデ調ベテ見マスルト、商工省貿易廳ト云フモノハ非常ニ民主化サレマシテ、サウシテ、此ノ協同組合ノ精神ニモ非常ニ近イ所ノ行ヒラ皆サナナルノデゴザイマスガ、肝腎ノ、アノ輸出ヲ致シマスル輸出協會ト云フモノガゴザイマシテ、其ノ輸出協會ノ一部々々

ニ何々協會、何々協會ト取入レマシテ、其ノ人々ガ今マデノ所謂資本主義時代ノ繩張りト申シマセウカ、權力家バカリガ寄リマシテ、只今日本ガ見返リ品トシテ出サナケレバナラヌ品物、戰前ニ於キマシテ、ドン／＼諸外國ガ喜ンデ之ヲ買入レテ居リマシタ品物ヲ、再び輸出シヨウト考ヘマシテモ、貿易協會、所謂何々協會ト云フモノノ下ニ、協會ニ入ツテ居ナイ者ヲ此ノ中ニ入レナイヤウニシテ居ラレルノガ、現在ノ貿易協會ノ例デゴザイマスガ、是モ何トカ只今ノ協同組合ノ愛ノ精神トカ、又民主政治ノ新シイ商業道德ヲ商工省カラ御吹込ニナツテ、誰ニデモ正シク日本ノ爲ニナリ、延イテハ世界人類ノ爲ニナル所ノ生産品ガ出來タナラバ、斯様ナ門戸ヲ拂ヘズ致シマシテ、開放的ニ海外ニ出ルヤウニ御勸告下サルヤウニ行カナイモノデゴザイマセウカ、伺フ次第デゴザイマス

○星島國務大臣 悲シイコトニ、今貿易ハマデ自由ニ許サレマセヌノデ、貿易廳ヲ設ケマシテ、日本カラ出スモノハ全部ソレヲ通シテ出サユニナツテ居リマスシ、或ハ又向フカラ入ルモノハ、聯合軍ノ許可ヲ得テ入レルト云フコトニナツテ居リマス、甚ダ窮屈ニナツテ居リマスガ、是ハ併シナガラ一時ノコトデアツテ、必ズ將來貿易ハ個人々々ノ貿易デ、唯國家ハ其ノ色々ナ御世話ヲスル、御執旋ヲスルト云フ程度ノコトデ、早ク之ニ行カナケレバナラヌコトハ、是ハ司令部ノ方デモ既ニ原則ハ認メテ居ル譯デス、併シ現在ハマダ其ノ運ビニ至ツテ居リマセヌ、ケレドモ貿易其ノモノハ所謂普通ノ官廳仕事デアツテハナラヌト思ヒマスノデ、長官ノ如キハ特ニ民間カラ特別任

用デ入ツテ居リマスシ、或ハ貿易廳ノ入ノ中ニハ、多ク民間人ヲ起用致シテ居リマス關係上、只今御褒メノ御言葉ノヤウニ、稍々官廳染ミテ居ナイ譯デ、マア大キナ商館ノ積リデヤツヲ戴キタイト云フコトヲ、私モ常ニ申シテ居ルノデアリマスガ、ソレデモ其ノ下部機構ト致シマシテ、只今仰セノヤウナ色々ナ種類ノモノヲ集メテ出スノニハ、ヤハリ或ル程度ノ統制ヲ要シマスノデ、急イデ出シタリ、或ハ一定ノ規格ヲ決メテ集メタリ致シマスニ付キマシテハ、自然一ツノ協會トカ、或ハ會社ヲ作ラセマシテ、其ノ團體ヲ通ジテ若干ノ統制ヲ加ヘテ居リマスノデ、貿易廳トシテ國家管理ノヤウナコトヲヤツテ行キマス間ハ、或ル程度マデ已ムヲ得ヌカト思ヒマス、併シ品物ヲ作ツタリ致シマスニ付キマシテハ、其ノ末端ノ方ハ全然自由デアリマスガ、其ノ役ニ當ツテ居ル者、或ハ其ノ任ニ當ツテ居ル協會ノ人達ガ、繩張りヲ持ツテ居ルヤウナ弊害モアラウカト思ヒマスノデ、或ベク今後サウ云フ弊害ノナイヤウニシナケレバナラヌ、又全然自由ニスルコトハ當分許サレナイノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ヌコトダト思ヒマスガ、併シ御期待ニ副フヤウニ、一日モ早ク全ク自由ノ所ヘ持ツテ行キタイ、斯様ニ思ツテ居ル次第デアリマス

○澤田委員 我先程カラ申シマシタ質問ニ對シテ、非常ニ御理解ヲ以テ皆様仰シヤツテ戴キマシタノデ、洵ニ諒トスル次第デゴザイマス、私此ノ質問ヲ打切ルノデゴザイマスガ、質問ヲ打切ルノ際シテ、一言附言シテ申上ゲタイコトハ、只今ノ政府諸公、洵ニ眞面目ニ、而モ正シク愛ノ精神ヲ推進シテ

行カレルヤウニ考ヘマシテ喜ブノデゴザイマスガ、少クモ此ノ愛ノ精神ヲ資本主義再建ノ爲ニ使用サレルコトデナク致シマシテ、資本主義ヨリ社會へ移リマスル過程ノ問題トシテ、此ノ協同組合法デ非常ニ民衆ニ柔カク「カバ」セラレンコトヲ切望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ル次第デゴザイマス

○加藤(一)委員長代理 次ニ質問留保ニナツテ居リマス山口靜江君ニ許シマス

○山口(靜)委員 先程、私ガ只今質問致シマス問題ヲ、同僚議員ノ方ニ依ツテ商工大臣ニ質問サレテ居リマシタ、私ハ國務大臣ノ御考ヘガ伺ヒタイト存ジマスノデ、代理ノ方ニ御回答願ヒタイト存ジマス、國務大臣ガ、先般ノ臨時物資供給調整法案委員會ニ於キマシテ、日本經濟ノ再建ニハ中小工業ニ重點ヲ置クト申サレ、且ツ安定本部ト致シマシテハ、財團トラストトノ解體ト共ニ、中小工業ヲ如何ニ建直スカヲ、我が國産業民主化ノ問題ノ一ツト考ヘ、中小工業ノ技術指導、資金供給、勞働問題ノ觀點カラ、安定本部ニ其ノ專門機關ヲ設ケテ研究中デアルトノコトデアリマスガ、其ノ中デ資金供給ニ對シマシテ、商工協同組合法トノ關係ヲ明カニシテ戴キタイト存ズルノデアリマス、中小工業ガ我が國産業ノ基礎ヲ成シテ居タト云フコトハ、今更重ネテ申上ゲルマデモゴザイマセヌ、其ノ中小工業者ガ今日如何ナル狀態ニ置カレテ居リマスカト申シマスト、戰爭中企業整備ノ爲ニ、設備ノ一ツ切ヲ供出致シマシテ、特殊預金ニ廻ワテ居ルノデゴザイマス、此ノ特殊預金ハ打切ラレテ居リマス、第二ニハ被災ニ依ル設備一切ヲ失ツテ居リマス、第

三ニハ平和産業ノ設備ヲ軍需産業ニ轉換セシメテ居リマス、第四ニハ戰爭中設備一切ヲ、山中其ノ他空襲ニ安全ナ地帯ニ疎開セシメタルモ、今日工場立地ノ條件ニ對シテ不適當ノ爲ニ、未ダニ放置セラレテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、其ノ他色々事情ニ妨ケラレマシテ、容易ニ生産活動ガ開始サレヌ狀態デゴザイマス、此ノ中小工業ノ活動セシメルニハ、何ト申シマシテモ第一ガ經濟問題デアルト存ジマス、商工協同組合法案中、第三章事業中、第十二條第二項ニ「事業資金ノ貸付並ニ組合員ノためにするその事業上の債務ノ保證」ヲ行フコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスガ、其ノ資金ノ對象ハ何處ニアルノデゴザイマセウカ、又復興金融庫ガ融資スルニ當リテハ、ソレヲ明カニシ、又政府ノ助成金ノ制度ヲ設ケル意思ガゴザイマスナラバ、ソレヲ明カニシテ戴キタイト存ジマス

○橋井政府委員 御答ヘ申上ゲマス、復興金融庫ガ目下ニ於ケル中小工業ノ所要資金ノ供給ニ當ルコトハ言フマデモナイノデゴザイマシテ、其ノ場合ニ協同組合ハ、或ハ復興金融庫ノ代理店トシ、又ハ其ノ他之ニ對スル協力機關ト致シマシテ、最大限度ニ中小工業ニ對シマシテ必要ナル資金ガ供給サレマスヤウニ、活動スルト云フコトヲ第一ノ狙ヒニ致シテ居リマス、同時ニ協同組合ハ、ソレ自體ノ事業ト致シマシテ資金供給ノ仕事ガゴザイマスノデ、從來ノ商工組合等ガ致シマシタト同ジヤウニ、又此ノ際ニ於キマシテバツレ以上ノ活動サツテ、單ナル代理店等デハナクシテ、組合自體ノ仕事ト致シマシテ、資金ノ供給ノ事業ヲ行フ、其ノ爲ニハ從來ノ例ニ依リマスレ

バ、組合ニ對シテ低利資金ヲ供給致シ
マストカ、サウ云フ問題ガ今後起ツテ
來ルコトト考ヘテ居ル譯デゴザイマ
ス、尙ホ組合ニ依リマスト、保證ノ
仕事ヲスルト云フモノ、御指摘ノ通り
デアリマシテ、當然此ノ際ニ於ケル復
興金融ノ必要上、其ノ機能モ大イニ活
潑ニ行ハレルト云フコトヲ豫想致シテ

セラレル譯デアリマスカラ、行ク／＼
國際關係ノ再開ニ當ツテモ、物價ノ水
準ヲドコニ置クカト云フコトモ今念頭
ニ置カレマシテ、日本ノ物價ヲ創設セ
ラレルコト勿論ト考ヘテ居リマス、此
ノ意味ニ於テ、經濟安定本部乃至ハ物
價廳ハ如何ナル方針ヲ臨シテ居ラレマ
スカ、一應承リタイト思ヒマス

ドモ、日本ガ世界ノ樞紐ニ活躍ヲ許
サレタト考ヘル時ニ、世界關係カラ考
ヘレバ、今日決メタ物價水準ガ毀サレ
ルコトハ必然ト考ヘマスノデ、其ノ點
一應御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒ
マス

物價廳ハ新設セラレタ、經濟安定本部
ハ今日創設セラレタノデカラ、只今計
畫立案中ト云フヤウナ御話ガアルノデ
アリマス、先般モ本會議デ、私ハ商工
大臣其ノ他ニ質問致シマシタ中ニモ書
イテゴザイマスルガ、大體現在ノ機構
ハ太政官布告以來出來タ機構ト云フコ
トハ、日本國民誰一人知ラヌ者ハアリ
マセヌ、官廳機構ハ時ニ變遷與廢ハア
リマシタガ、一貫シテ今日マデ來テ居
ル、如何ニ日本ガ戰爭ニ負ケタカラト
云ツテ、今日機關ガ新シク出來タカラ
ト云フ理由ヲ以テ、物價ニ對スル根本
方策モナケレバ、經濟安定本部ノ物價
ノ劃當、産業ノ再編成ニ對スル基本方
策モナカウタト云フコトハ、是ハ話ガ
一寸私ハ分リニクイノデス、商工大臣
ハ機構改革以來商工大臣トシテアルノ
デスカラ、商工省ノ政策ハ經濟安定本
部ノ政策ニナルコトハ分リ切ツテ居ル
話ナノデス、ソレガナラヌト云フナ
ラ、經濟安定本部ハ商工省方面カラ人
員ヲ取ル必要ハ毛頭ナカラウ、取ル以
上ハ商工省ノ政策ヲ經濟安定本部ノ政
策ニナサル、サウ考ヘテ參リマスレ
バ、物價廳ノ政策ト致シマシテモ、從
來ノ軌ヲ踏マズニ、眼ヲ世界ニ向ケ
テ、「ブレトン・ウッズ」協定ニ於テ
ハ、復興開發銀行又ハ國際金融機關
ハ、爲替取決メニ對シテハ中心のニナ
ツテ、爲替ノ關係ヲハツキリシヨウト
マデ聲明シテ居ル譯デスガ、日本ニ對
スル國ノ關係ナド、私ハ今カラデモ聯
合軍ト交通ヲ密ニシテ居リマスレバ、
片鱗デモ分ルトスウ思フノデス、若シ
國ヲ開イタ其ノ時ニ米價切下ヲヤラナ
ケレバナラヌト云フコトニナレバ、大
變ナコトニナリ、民心ハ政府ニ付カ
ヌ、斯ウナリマスレバ折角ノ復興モ物

バ、組合ニ對シテ低利資金ヲ供給致シ
マストカ、サウ云フ問題ガ今後起ツテ
來ルコトト考ヘテ居ル譯デゴザイマ
ス、尙ホ組合ニ依リマスト、保證ノ
仕事ヲスルト云フモノ、御指摘ノ通り
デアリマシテ、當然此ノ際ニ於ケル復
興金融ノ必要上、其ノ機能モ大イニ活
潑ニ行ハレルト云フコトヲ豫想致シテ

○樞井政府委員 將來「ブレトン・ウ
ツ」協定ニ參加スルコトハ、當然我々
ノ目標トシテ持タネバナライ所デア
ルコトハ、御指摘ノ通りデアリマス、
其ノ場合ニ國際通貨トシテ如何ナル水
準ガ保持レベキカト云フコトハ、只今ノ
所率直ニ申シテ見當付カナイ譯デゴ
ザイマスガ、兎ニ角國內ニ於ケル其ノ
聯合ノ物價水準ノ高低イガ、決定サ
レタ國際物價水準ニ相當ナ影響ノアル
デアラウト云フコトモ御指摘ノ通りト
思フノデアリマス、政府ト致シマシテ
ハ御承知ノ通り物價ヲ出來ルダケ公正
ニ、又非常ニ急激ナル不安定ノ上昇ノ
ナイヤウニ安定セシメタイ、斯ウ云フ
趣旨デ色々ノ施策ヲ考究致シテ居ル譯
デアリマスガ、今後ノ物價ノ決メ方ノ
狙ヒト致シマシテハ、米トカ石炭其ノ
他ノ基礎資材、斯ウ云フモノニ基準ヲ
置イテ、全體的ニ體系ノアル物價體系
ヲ作り上ゲル、是ハ必ズシモ只今ノヨ
リハ低イト云フ譯ニハ相成ラヌデセウ
ケレドモ、一遍決メタ以上ハ、之ヲ飽
クマデ維持シテ行キタイト云フ方針ヲ
執ツテ居ル次第デアリマス

○樞井政府委員 只今ノ物價ノ決メ方
ハ、御承知ノ通り國內ニ於テ或ル程度
ノ生産ノ飽クマデモ確保スル、其ノ爲
ノ頭ト云フモノガザイマシテ、又ソ
レニハ假令物價ヲ低ク決メマシテモ、
他面ニ生産ヲ確保スル爲ニ補償金等ヲ
多額ニ出スト云フコトモ出來ナイヤウ
ナ事情ガゴザイマシテ、現行ノ物價ガ
決リ、又決マラントシツ、アル、斯ウ
云フ狀況デゴザイマス、サウナリマシ
タ結果ガ國際のニ餘リニ高イモノデア
ルト云フコトニナリマス、御指摘ノ
ヤウナ事情ガ出來ルト思フノデアリ
マスガ、是ハモウ一ツ先程申上ゲマシ
タ爲替ノ換算率ト云フヤウナ問題モ殘
ツテ居リマスシ、又今後サウ云フ場合
ニ、色々決リ方ニ依リシテ善處致サ
ナケレバナラヌ點モアラウカト思フノ
デゴザイマス、兎ニ角只今ノ所デハ、
現行ノヤウナヤリ方ヲ執ルヨリ外ニ仕
方ガナイト云ヒマス、洵ニ智慧ノナ
イ話ノヤウニ御聽取リニナルカモ知レ
マセヌガ、正直ノ所其ノヤウニ考ヘテ
居ル譯デアリマス

○加藤(一)委員 左様ニ致シマス、
ドモ我々國民ト致シマシテハ不安デ
困ルノデスガ、從來ノ日本デ物價ノ考
ヘ、又施策スルニ當リマシテモ、ドウ
モ其ノ場限リノ考ヘ方ガ多イノデアリ
マシテ、隨國務大臣ハ屢々本議場ニ於
キマシテモ、本會議ニ於キマシテモ、

價ノ面カラ又崩レテ來ル、之ヲ私ハ懸
念スルガ故ニ、私ノ質問ノ神髓ニ觸レ
テ、モウ少シハツキリシタコトヲ御返
答願ヒタイ、今出來ナケレバ明朝デモ
宜シウゴザイマスカラ、隨國務大臣ガ
此ノ場ニ御臨席ニナツテ、懇切丁寧ニ
其ノ面ヲ國民ノ前ニ御闡明ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○樞井政府委員 申上ケ方方誤ハツ
タト思ヒマスガ、物價ヲ決メマス場
合、將來ハ當然「ブレトン・ウッズ」協
定ニモ參加スルト云フコトヲ頭ニ置イ
テ、國際的ナ見地カラモ、出來ルダケ
健康ナ物價水準ヲ保ツコトハ非常ニ重
要ナ要素トシテ考ヘテ居リマス、是ハ
當然ナコトデゴザイマシテ、今後物價
基準ヲ決メ、價格體系ヲ作ツテ行キ
合ニモ、十分ニ其ノ點ハ考慮シテ行キ
タイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○加藤(一)委員 樞井君ハ能ク御存ジ
ノ管ト思フノデス、日支事變中ニ實施
シタ、圓系物資ノ爲替差ニ基ク調整要
領ヲ御作りニナツタノハアナタ一人デ
アル、今ノヤウナ狀態デナク、國ガ開
ケタ場合、外國ノ力ガ日本ヲ壓倒シタ
時ニ如何様ニナルカト云フコトハ、火
ヲ賭ルヨリ明カナコトデアアルカラ、經
濟安定本部ガ出來タ以上ハ、アノ當時
ノコトヲ能ク考ヘ、日本ノ行末ガハツ
キリズルヤウナ對策ヲ、心ノ底カラ揮
ヒ出サナイト、其ノ悔ヒ百年ニ貽ルト
云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、
若シアナタガ御答ヘ出來ナケレバ、今
晩歸ラレテ、當時ヲ回想シテ國務大臣
ニ能ク御話シテ戴イテ、ハツキリトシ
タ御答辯ガ願ヒタイノデアリマス

○樞井政府委員 實ハ私爲替差損ノ要
領ヲ作ル時ニハ、其ノ事務ハ據當致シ
テ居リマセヌデシタ、併シ事情其ノ他

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○山口(靜)委員 有難ウゴザイマシ
タ、是デ私ノ質問ヲ打切りマス
○官前委員長代理 加藤君
○加藤(一)委員 先日本席ニ於テ商工
大臣ニ御伺ヒシタノデアリマスガ、
「ブレトン・ウッズ」協定ニ鑑ミテ日本
ガ國際經濟社會ニ復歸スルコトハ勿論
デアリマシテ、其ノ場合ニ全爲替本位
制ヲ採擇スルコトモ申スマデモナイ事
實ト私ハ考ヘテ居リマス、左様致シマ
スト、何ト申シテモ一番重要ナ問題ガ
日本ノ物價水準ヲドコノ線ニ置イテ國
ヲ開カト云フコトデアルト考ヘル
ノデアリマス、折角今日物價廳ガ新設
セラレテ、日本全國ノ物價ヲ一元統合

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

○加藤(一)委員 先日モ商工大臣ハ、
今樞井政府委員ガ御話ニナツタヤウ
ニ、米、石炭、其ノ他ヲ中心ニ日本ノ
物價ヲ建設スルノダト云フ御話デアリ
マシタガ、國內のニハ左様ナコトデ物
價水準ハ一應安定スルト思ヒマスケレ

ヲ能ク承知シテ居リマスコトハ、御指
摘ノ通りデアリマス、ソレ等ノ點ヲ考
ヘ、日本ノ今後ノ立場ヲ能ク考ヘテ行
クベキデアリト言ハレコトモ、洵ニ
御尤モト思ヒマス、御趣旨ハ十分ニ
國務大臣並ニ物價廳ニ傳ヘマシテ、今
後左様ナ點遺漏ノナイヤウニ致シテ行
キタイト考ヘテ居リマス

○加藤(一)委員 私ノ質問ハ是デ打切
リマス
○竹田委員長 早稻田君
○早稻田委員 ソレデハ先程ノ續キデ
アル本案ニ對スル具體的ナ問題ニ付
テ、尙ホ數點御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、本法ニ依リマスレバ、組合ノ金融
事業ヲ行ハル場合ハ他ノ事業ト併セテ行
ハナケレバナラナイト云フコトニ解釋
致シテ居リマスルガ、今後組合ノ健全
ヲ發達スル爲メニ於テ、金融事業ノ
必要面ガ非常ニ多イ、隨テ手形ノ割引
トカ、小切手ノ業務ヲ振フトカ云フヤ
ウナ仕事モ行ハナバナラヌヤウナ事態
ガ多イト思ヒマスガ、本法ニ於テ、ナ
ゼサウシタ點ヲ考慮シ入レラレナカ
タカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

(竹田委員長退席、加藤(一)委員
長代理著席)
ソレカラ更ニ商品券ノ發行トカ、或
ハソレニ附隨スル色々ナ證券ノ發行ト
云フコトニ付テモ、政府ノ御考ヘヲ承
ツテ置キタイト思ヒマス
次ニ本法施行後ニ於テ、統制組合ハ
何レモ解散ヲシナケレバナラヌコトニ
ナツテ居リマス、併シ從來ノ例ニ依リ
マシテモ、移行手續、解散手續ハ相當
ウルサイモノデアリマシテ、組合當局
ノ非常ニ困難面デアリマス、是ガ爲メ
理事者ハ相當頭ヲ痛メマスルガ、施設
組合ハ其ノ儘移行ガ出來ルト云フノ

ニ、統制組合ノミハサウシタ便法ガ設
ケラレナカッタコトヲ甚ダ遺憾ト致シ
マスノデ、出來レバ組合ノ議決ニ依リ
マシテ、舊組合ノ財産ハ總テ新シイ組
合ニ譲渡スル、營業全部モ是同ジヤ
ウニ譲渡スルト云フヤウナ議決ヲシタ
場合、其ノ權利義務ヲ包括的ニ譲リ渡
スコトガ出來ルカドウカ、サウシタ便
法ヲ考慮セラレテ居ルカドウカト云フ
問題ニ付テ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小出政府委員 只今御尋ネノ數點ニ
付テ御答ヘテ致シマス、最初ノ組合ノ
金融事業ノ點デアリマスガ、御話ノ通
リハ經濟事業ノ附帶事業トシテ認メ
テ居リマシテ、金融事業ガ行ハル所
即金融組合ノナモノハ認メテ居ナイノ
デアリマス、是ハ協同組合ノ目的カラ
申シマシテ、組合員ノ事業ノ經營ノ合
理化ト云フコトガ主眼デアリ、色々ナ
經濟事業ヲ行フコトガ目的デアリマシ
テ、其ノ經濟事業ヲ更ニ強化シテ行
ク云フヤウナ意味カラ、金融事業モ併
セテ行フコトガ出來ルト云フヤウニ致
シタノデアリマシテ、金融組合ヲ專ラ
專門ニ行フ組合トシテハ、現在既ニ市
街地信用組合ト云フ制度モアリマスノ
デ、是等ノ制度トノ競合ナリ、重複ヲ
避ケルト云フ意味ニ於キマシテモ、金
融事業ヲ附帶事業ト致シタノデアリマ
ス、尙ホサウ云フヤウナ關係カラ致シ
マシテ、信用組合トカ、市街地信用組
合ト云フヤウナ金融組合デハゴザイマ
セヌノデ、小切手業務デアルトカ、或
ハ手形ノ割引ト云フヤウナ所マデハ、
マダ行クノハ適當デハナイノデアリ
カト考ヘテ、其ノ點マデハ金融事業ノ
中ニ含メナイコトニ致シタノデゴザイ
マス

ソレカラ商品券デゴザイマスガ、是
ハ法文ニゴザイマスルヤウニ、行政官
廳ノ許可ニ依ツテ商品券ノ發行ガ出來
ルコトニナツテ居リマスルガ、是ハ業
種別ノ組合、或ハ地域別ノ組合乃至ハ
聯合形態ノ組合等、色々組合ノ形態ガ
アルト思ヒマスガ、組合ノ形態ニ依
テ商品券ノ發行ヲ制限シヨウト云フヤ
ウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯御承
知ノヤウニ、商品券取締法ト云フヤウ
ナ別箇ノ見地カラスル法律モゴザイマ
シテ、是ガ恰モ紙幣類似證券ノ如キ形
ニ於テ轉々流通スルコトハ、各種ノ弊
害モ起リマスルノデ、サウ云フ面カラ
致シマシテ、個々ノ組合ノ實情ニ即シ
マシテ、商品券ノ許可、不許可ヲ決定
シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○早稻田委員 早稻田君
○早稻田委員 ソレデハ先程ノ續キデ
アル本案ニ對スル具體的ナ問題ニ付
テ、尙ホ數點御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、本法ニ依リマスレバ、組合ノ金融
事業ヲ行ハル場合ハ他ノ事業ト併セテ行
ハナケレバナラナイト云フコトニ解釋
致シテ居リマスルガ、今後組合ノ健全
ヲ發達スル爲メニ於テ、金融事業ノ
必要面ガ非常ニ多イ、隨テ手形ノ割引
トカ、小切手ノ業務ヲ振フトカ云フヤ
ウナ仕事モ行ハナバナラヌヤウナ事態
ガ多イト思ヒマスガ、本法ニ於テ、ナ
ゼサウシタ點ヲ考慮シ入レラレナカ
タカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

ソレカラ更ニ商品券ノ發行トカ、或
ハソレニ附隨スル色々ナ證券ノ發行ト
云フコトニ付テモ、政府ノ御考ヘヲ承
ツテ置キタイト思ヒマス
次ニ本法施行後ニ於テ、統制組合ハ
何レモ解散ヲシナケレバナラヌコトニ
ナツテ居リマス、併シ從來ノ例ニ依リ
マシテモ、移行手續、解散手續ハ相當
ウルサイモノデアリマシテ、組合當局
ノ非常ニ困難面デアリマス、是ガ爲メ
理事者ハ相當頭ヲ痛メマスルガ、施設
組合ハ其ノ儘移行ガ出來ルト云フノ

ハ法文ニゴザイマスルヤウニ、行政官
廳ノ許可ニ依ツテ商品券ノ發行ガ出來
ルコトニナツテ居リマスルガ、是ハ業
種別ノ組合、或ハ地域別ノ組合乃至ハ
聯合形態ノ組合等、色々組合ノ形態ガ
アルト思ヒマスガ、組合ノ形態ニ依
テ商品券ノ發行ヲ制限シヨウト云フヤ
ウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯御承
知ノヤウニ、商品券取締法ト云フヤウ
ナ別箇ノ見地カラスル法律モゴザイマ
シテ、是ガ恰モ紙幣類似證券ノ如キ形
ニ於テ轉々流通スルコトハ、各種ノ弊
害モ起リマスルノデ、サウ云フ面カラ
致シマシテ、個々ノ組合ノ實情ニ即シ
マシテ、商品券ノ許可、不許可ヲ決定
シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○早稻田委員 早稻田君
○早稻田委員 ソレデハ先程ノ續キデ
アル本案ニ對スル具體的ナ問題ニ付
テ、尙ホ數點御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、本法ニ依リマスレバ、組合ノ金融
事業ヲ行ハル場合ハ他ノ事業ト併セテ行
ハナケレバナラナイト云フコトニ解釋
致シテ居リマスルガ、今後組合ノ健全
ヲ發達スル爲メニ於テ、金融事業ノ
必要面ガ非常ニ多イ、隨テ手形ノ割引
トカ、小切手ノ業務ヲ振フトカ云フヤ
ウナ仕事モ行ハナバナラヌヤウナ事態
ガ多イト思ヒマスガ、本法ニ於テ、ナ
ゼサウシタ點ヲ考慮シ入レラレナカ
タカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

ソレカラ更ニ商品券ノ發行トカ、或
ハソレニ附隨スル色々ナ證券ノ發行ト
云フコトニ付テモ、政府ノ御考ヘヲ承
ツテ置キタイト思ヒマス
次ニ本法施行後ニ於テ、統制組合ハ
何レモ解散ヲシナケレバナラヌコトニ
ナツテ居リマス、併シ從來ノ例ニ依リ
マシテモ、移行手續、解散手續ハ相當
ウルサイモノデアリマシテ、組合當局
ノ非常ニ困難面デアリマス、是ガ爲メ
理事者ハ相當頭ヲ痛メマスルガ、施設
組合ハ其ノ儘移行ガ出來ルト云フノ

○早稻田委員 早稻田君
○早稻田委員 ソレデハ先程ノ續キデ
アル本案ニ對スル具體的ナ問題ニ付
テ、尙ホ數點御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、本法ニ依リマスレバ、組合ノ金融
事業ヲ行ハル場合ハ他ノ事業ト併セテ行
ハナケレバナラナイト云フコトニ解釋
致シテ居リマスルガ、今後組合ノ健全
ヲ發達スル爲メニ於テ、金融事業ノ
必要面ガ非常ニ多イ、隨テ手形ノ割引
トカ、小切手ノ業務ヲ振フトカ云フヤ
ウナ仕事モ行ハナバナラヌヤウナ事態
ガ多イト思ヒマスガ、本法ニ於テ、ナ
ゼサウシタ點ヲ考慮シ入レラレナカ
タカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

シテ、組合ノ役員、商工協同組合ノ理
事ナリ監事ヲ任期中ニ於キマシテ總
デ解任致シマシタ場合ニ、其ノ解任サ
レタ役員ガ損害賠償ノ請求ガ出來ルカ
ドウカト云フ御尋ネデゴザイマスル
ガ、此ノ役員ヲ選任スルニ當リマシテ
モ、ヤハリ總會ヲ選任スルニ當リマシ
マシテ、其ノ人ヲ理事ナリ監事ニ御願
ヒラシタト云フコトハ、其ノ人ニ理事
リ監事トシテノ職責ヲ委任シタト見
レマスノデ、法律上一ハ一種ノ委任契約
ト云フ風ニ解釋スルノガ適當デアルト
思ヒマス、隨ヒマシテ之ヲ違ニ解任致
シマス場合ノ損害賠償ノ請求權ニ付キ
マシテモ、法律上ノ所謂契約解除ノ場
合ニ於ケル損害賠償ノ請求權ト云フモ
ノノ一般原則ニ依リマシテ解決スルコ
トガ出來ルト考ヘマス、隨ヒマシテ契
約解除ノ場合モ、一般原則ニ依リマシ
テ、委任契約ノ解除ニ基ク損害賠償ノ
請求權ガ發生スル譯デアリマス、ソレ
カラ第三十三號ノ組合ノ理事ト契約
ノ範圍デゴザイマスガ、是ハ具體的
ノ色々場合ガ考ヘラレマスルガ、苟モ
經濟的ナ利害ノ相反アルヤウナ契約
ノニ付キマシテハ、總テノ契約ハ其
ノ中ニ包括サレ、斯様ニ考ヘマス、
ソレカラ第四十條ノ家族デアルトカ、
或ハ使用人ト云フヤウナモノヲ代理人
トスルコトガ實際上便宜デアリ必要
デハナイカト云フコトデアリマスル
ガ、是ハ成程ソレ等ノ家族ナリ使用人
ヲ代理人トスルコトガ出來マスレバ、
非常ニ便利ナ場合モアラウカト考ヘラ
レマスルガ、協同組合ノ精神カラ考ヘ
マシテ、組合員自體ノオ互ヒノ密接ナ
結合ト云フコトガ強ク要求セラレテ居
リマスル以上ハ、ヤハリ組合員オ互ヒ

○早稻田委員 早稻田君
○早稻田委員 ソレデハ先程ノ續キデ
アル本案ニ對スル具體的ナ問題ニ付
テ、尙ホ數點御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、本法ニ依リマスレバ、組合ノ金融
事業ヲ行ハル場合ハ他ノ事業ト併セテ行
ハナケレバナラナイト云フコトニ解釋
致シテ居リマスルガ、今後組合ノ健全
ヲ發達スル爲メニ於テ、金融事業ノ
必要面ガ非常ニ多イ、隨テ手形ノ割引
トカ、小切手ノ業務ヲ振フトカ云フヤ
ウナ仕事モ行ハナバナラヌヤウナ事態
ガ多イト思ヒマスガ、本法ニ於テ、ナ
ゼサウシタ點ヲ考慮シ入レラレナカ
タカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

○早稻田委員 早稻田君
○早稻田委員 ソレデハ先程ノ續キデ
アル本案ニ對スル具體的ナ問題ニ付
テ、尙ホ數點御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、本法ニ依リマスレバ、組合ノ金融
事業ヲ行ハル場合ハ他ノ事業ト併セテ行
ハナケレバナラナイト云フコトニ解釋
致シテ居リマスルガ、今後組合ノ健全
ヲ發達スル爲メニ於テ、金融事業ノ
必要面ガ非常ニ多イ、隨テ手形ノ割引
トカ、小切手ノ業務ヲ振フトカ云フヤ
ウナ仕事モ行ハナバナラヌヤウナ事態
ガ多イト思ヒマスガ、本法ニ於テ、ナ
ゼサウシタ點ヲ考慮シ入レラレナカ
タカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

ノ間カラ代理人ヲ出スノガ適當デアリ
マシテ、又技術的ニ見マシテモ、家族、
使用人ノ範圍ニ付テモ色々ノ疑義ヲ
生ジマスシ、ソレ等ノ制限ヲ何處ニ置
クカト云フヤウナ技術的ナ點等モ考慮
致シマスレバ、必ズシモソコマデ代理
人ノ範圍ヲ擴張セルコトハ適切デナイト
考ヘラレマスノデ、代理人ハ組合員ニ
限定シテ次第デアリマス

○早稲田委員 細カイ問題デ恐縮デハ
ゴザイマスガ、現在統制ヲ行フテ居ル
組合等ガ解散ヲ致シマスシテ、新シク本
法ニ依ル組合ノ出來ルマデノ間、若干
ノ間隙ヲ生ジマスガ、サウ云フ場合統
制品ノ配給、或ハ是ガ處理ニ對シテ
色々手續等ハ、如何ナル方法ヲ執ツ
タラ宜イカト云フ點デアリマス、ソレ
カラ今日統制ヲ致シテ居リマス組合ニ
於キマシテハ、先程申シマシタヤウニ
轉廢業ヲシタ人ガ非常ニ多イ、是等ガ
終戦ト同時ニ組合ニ復歸シタイト云フ
申出ガ非常ニ多イ譯デアリマス、是等
ヲサウシタ統制ヲ現ニ行ヒツ、アル團
體ニ加入サセルコト、異存ハナイノデ
アリマスルガ、統制品ノ割當等ニハ非
常ニ煩雜ナ問題ガ生ズルト思ヒマス、
ソレデ是等ノ處理方法ヲ何ツテ置キタ
イト思ヒマス、更ニ本法ニ依ルト本
ノ構成組合員ハ何々業ヲ行フ者、斯
ナツテ居リマスガ、工場ノ支店デア
ルコト、出張所ト云フヤウナモノハ、組
合員トシテ加入セシメルコトガ出來
ルカドウカ、ソレカラ露店商トカ或ハ青
空市場等ニ出店ヲ出シテ居ルヤウナ場
合、之ヲ組合員トシテ加入セシメル
コトガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ點、ソ
レカラ更ニ本法ノ第九條ニ、組合ノ事
業トシテ、組合員ノ營業ニ對スル取締
モ行ヒ得ルヤウニ解シ得ル點ガアリマ

スガ、此ノ取締ニ付テノ當局ノ所見、
ソレカラ過意金等ニ付テノ御考ヘヲ承
ツテ見タイト思ヒマス

○小出政府委員 第一ノ御尋ネノ、斯
様ナ統制機構ノ處理ノ問題デゴザイマ
スガ、現在統制組合ノ中ニハ、相當多
數ノモノガ物資ノ統制機關トシテ尙且
ツ活用サレテ居ルノデゴザイマシテ、
是等ノ統制組合ガ解散ヲシテ、次ニ協
同組合ガ出來ルマデノ間ニ「ギャップ」
ヲ生ジマスシテ、統制機關ト云フモノガ
其ノ間ニ混亂ヲスル處ハナイカト云
フ、洵ニ御尤モナ御尋ネデゴザイマ
ス、今後臨時物資需給調整法ガ來月カ
ラ施行ニナルト假定致シマスシテ、此
ノ法律ニ基キマシテ、業種別ニドウ云フ
風ナ統制機構ヲ作ツテ行クカト云フコ
トニ付キマシテノ案ガ、既ニ大體出來
テ居ル譯デゴザイマス、之ニ基キマシ
テ、其ノ統制機構ノ中ニドウ云フ風ニ組
合ナリ、或ハ會社ナリ、或ハ其ノ他ノ
團體ヲ織込シテ行クカト云フ構想ガ出
來ル譯デゴザイマスノデ、大體其ノ構
想ニ基キマシテ、若シ今後モ統制組合
ニ代ルベキ協同組合ヲ統制團トシテ活
用シタイト云フ必要ガアル場合ニ於キ
マシテハ、豫メ協同組合ノ設立ヲ
——
是ハ強制スルコトハ出來ナイノデアリ
マスケレドモ、業界トノ話合ニ依ツテ
促進致シマスシテ、統制組合ガ出來ルマ
デニ協同組合ヲ作ツテ、サウシテ統制
組合ガ解散スル場合ニソレニ移行スル
ト云フコトモ出來ル譯デアリマス、ト
申シマスノハ、此ノ法律ガ施行ニナリ
マシテカラ、尙ホ三箇月間ハ統制組合
ノ存續スル猶豫期間ヲ置イテアリマス
ノデ、法律施行ト同時ニ統制組合ガ全
部ナクナル譯デハゴザイマセスノデ、
其ノ三箇月ノ猶豫期間ノ間ニ於テ、次

ノ組織ニ對スル移行ノ準備ガ出來ルコ
トニナツテ居リマス、實際ハサウ云フ
風ナ方法ガ解決ハ出來ルト考ヘテ居リ
マス

第二ノ轉廢業者ノ問題デアリマス
ガ、是モ現在統制組合ハ總テ當然加入
ニナツテ居リマスシテ、假コ轉廢業者ガ
再び昔ノ營業ニ戻ツテ事業ヲ始めマシ
タ場合ニハ、當然是ハ組合員トシテノ
資格ヲ持タマス以上、組合員トシナケ
レバナラナイ、ト申シマスヨリハ、モ
ウ組合員ニナツテシマフノデアリマ
ス、今後ノ協同組合ニ於キマシテハ、
加入、脱退ガ自由デアリマス關係上、
或ルモノヲ入ル、或ルモノヲ入レナイ
ト云フヤウナ事態ガ起ツテ來ル處ガア
ルノデアリマスガ、先程モ他ノ委員ノ
方ノ御質問ニ御答ヘ致シマシタヤウ
ニ、組合員トシテノ資格ヲ持ツテ居リ
マスル以上ハ、不當ニ加入ヲ拒ムコト
ハ出來ナイノデアリマスシテ、轉廢業者
ト雖モ其ノ中ニ包攝ヲシナケレバナラ
ナイノデアリマス、唯其ノ場合ニ、ソ
レニ依ツテ非常ニ少イ物資ノ割當等ニ
困難ナ事態ヲ生ズル譯デアリマスガ、
是等ニ付テハ事實上其ノ割當ノ適正ト
申シマスガ、或ハ能率ノ高イモノニ重
點ヲナシテ當ラサルコト云フヤウニ、各種
ノ條件ヲ勘案シテ、具體的ニ解決スル
以外ニ方法ハナイフデハナイカ、斯様
ニ考ヘマス

者ト云フヤウナ者ガ、組合ノ設立ガ出
來ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ
露店商デアリマスシテモ、或ハ青空市場
ノ出店者デアリマスシテモ、組合ノ定款
ノ決メ方ニ依リマスシテ、組合員トシテ
ノ資格ヲ具備シマスル以上ハ、當然
協同組合ノ設立ハ可能デアリマス
ソレカラ最後ニ組合ノ事業ト致シマ
シテ、取締デゴザイマスガ、今度ノ協
同組合ハ協同施設ガ中心デアリマス
シテ、組合員ノ營業ニ關スル取締ト云フ
テ、組合員ノ營業ニ關スル取締ト云フ
ヤウナコトハ原則トシテ出來ナイコト
ニナツテ居リマス、唯検査事業ト云フ
ヤウナコトヲ行ヒマス場合ニ於キマシ
テハ、其ノ検査ノ目的ヲ達スルニ必要
ナ最小限度ノ自主的ナ取締ト云フ程度
ノコトハ出來ルト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ尙ホ過意金ト云フコトガ問題デ
ゴザイマスガ、假ニ組合ガ色々定款ニ
決メテ居リマスヤウナコトニ、組合員
ガ違反ヲスルト云フヤウナコトガ起リ
マシタ場合ニ於キマシテハ、違反者ニ
對スル制裁ト致シマスシテ過意金ヲ課
ルト云フコトハ、是ハ定款ニ於テ規定
ヲスレバ出來ルト云フヤウニ解釋致シ
テ居リマス

○早稲田委員 只今最初ノ一點ニ付テ
ノ御答ヘヲ拜聴致シマスレバ、統制ヲ
行フテ居ル組合ガ解散シタ場合ニ、三
箇月間ノ猶豫期間ガアルカラ、其ノ間
ニ本法ニ依ル組合ヲ作ツテ之ニ仕事ヲ
サセルカラ支障ハナイト云フ御答ヘ御
尤モデゴザイマス、併シ此處デ更ニ此
ノ問題ニ付テ御尋ネシタイコトハ、先
程御説明ノ中ニモアリマスシタヤウニ、
本法ニ依ル組合ノ、臨時物資需給調整
法ニ基イテ發セラレル命令ニ依ル指定
機關ニ指定サレルヤウナ場合ガ多イト
推定サレマス、併シ加入、脱退ノ任意
ナ組合ヲ、サウシタ、指定機關ニ指定
スルコトニ付テ缺陷ハナイカ、斯ウ云
フコトヲ實ハ杞憂スルノデアリマス、
此ノ點更ニ御考ヘヲ承リタイト思ヒマ
ス

ソレカラモウ一ツハ、業者ガ指定セ
ラレタ期間内、三箇月ト云フ猶豫期間
中ニ、幸ヒ當局ノ希望サレルヤウナ
組合ヲ作レバ結構デアリマスガ、作
ナカッタ場合、統制事業ヲ行フコトガ
出來ナイヤウニナル場合モ推定サレマ
ス、斯ウ云フ場合ニハ強制設立ノ
方法ガアリマセス、若シ當局ノ御考ヘ
ノヤウデアラバ、先程御尋ネシマ
シタ消費組合ノ如キハ一ツノ資格ヲ有
スルヤウニ存ジマスガ、此ノ消費組合
ガ相當ツテ協同組合ヲ作ルコトガ出來
ルカドウカ、此ノ點何ツテ置キタイ
ト思ヒマス

○小出政府委員 統制機關トシテ現在
指定ヲ受ケテ居リマス統制組合ガ解散
ヲ致シマスシテ、假ニ協同組合ガ臨時物
資需給調整法ニ依ル統制機構ノ一ツト
シテ指定サレマシタ場合ニ、加入、脱
退ガ非常ニ自由デアリマス爲ニ、統制
ノ效力ガ確保出來ナイノデハナイカト
云フヤウナ御話デアリマスシテ、其ノ點
ノ御心配ハ洵ニ御尤モデアリマスガ、
若シ或ル協同組合ガ非常ニ「アウト」サ
イダー」ガ多イトカ、或ハ其ノ組織機
構ガシツカリ出來テ居ナイトカ、事業
ノ運営モ極メテ適正ニ行ツテ居ナイト
云フヤウナ場合デアリマスレバ、勿論
サウ云フ組合ハ統制機構トシテノ指定
ヲ受ケル資格ハナイ譯デアリマスシテ、
サウ云フモノハ事實上ニ於テ指定シナ
イコトニナルト思ヒマス、併シ協同組
合ノ如ク加入、脱退ガ任意デアリマシ
テモ、殆ド大部分ノ人、或ハ全部ノ人

ガ協同組合ニ一致シテ入ラウト云フ場
合モ相當ニアラウト思ヒマスノデ、サ
ウ云フ場合ニ於テハ、現在ノ統制組合
ト同ジヤウナ統制ノ效果ヲ得ルノ
デハナイカ、サウ云フ場合ニ於テハ、
進ンデ協同組合ヲ活用シテ差支ヘナイ
ト考ヘル次第デアリマス、ソレカラ至
然統制組合モ解散シ、協同組合モ出來
ナイト云フヤウナ狀態ガ出テ來タ場合
ニハドウスルカト云フ御話デアリマス
ガ、勿論サウ云フ場合モ考ヘラレノ
デゴザイマスケレドモ、併シ其ノ場合
ニ於キマシテモ、政府ノ方カラ強制的
ニ此ノ協同組合ヲ設立サセルコトハ勿
論不可能デアリマシテ、其ノ場合ニ
ハ、ドウシテモ何等カノ統制機構ガ必
要デアルト考ヘラレマス場合ニハ、或
ハ任意團體ト云フ方法モアリマスシ、
或ハ會社組織ト云フヤウナコトモ考ヘ
ラレマスシ、斯レ他ノ組織ニ依ツテ運
營スル以外ニ方法ハナイノデゴザイマシ
テ、此ノ組合法ニ依ツテ強制的ニ組合
ヲ作ラセルト云フコトハ、勿論ハ協
同組合ノ本質カラ申シテ出來ナイ譯デ
アリマス、併シ大體ニ於テ業界ノ動向
ヲ察知シマスレバ、統制ヲスルコト
ガ明カデアル物資ニ付キマシテハ、恐
ラク其ノ業界ノ方カラ、逸早く自發的
ニ結合ヲサレシモノト期待シテ居リマ
シテ、實際問題トシテハ、サウ云フヤ
ウナ空白狀態ハ先ツ起ラナイノデハナ
イカ、斯レニ考ヘテ居リマス

定サレマスノデ、之ヲ更ニ廣ク致シマ
シテ、營利事業トシテ行フ者以外ノ、
營利ヲ目的トシナイケレドモ、其ノ行
ヒマスル事業ハ、一般ノ營業者ト經濟
的ニ同ノ事業ヲ行ツテ居リマスヤウ
ナ團體、ソレモ此ノ中ニ含メテ考ヘテ
居リマス、隨テ御指摘ノヤウニ、消費
組合ガ此ノ協同組合ヲ設立スルト云フ
コトハ、理論上ハ出來ルコトニナル譯
デアリマス

○早稲田委員 大變御親切ナ御答辯ヲ
戴キマシテ感謝致シテ居リマスガ、運
營上モウツツ二ツダケ伺ツテ置キマ
ス、第二十條ノ組合ノ吸收合併ノ場合
デモ、此ノ出資ハ一口金額ガ均一デナ
ケレバナラヌカドウカト云フ點、ソレ
カラ未成年者、禁治產者、或ハ妻トカ、
外國人ト云フヤウナ者ガ營業ヲ行ツテ
居ル場合ニ、是ガ加入ヲ拒ム旨ヲ定款
ノ規定ニ入レルト致シマシタナラバ、
是ハ有效デアルカドウカ、斯ウ云フ點
デアリマス、ソレカラ今後此ノ問題ハ
非常ニ重要ニナツテ來ル點ガ多イト存
ジマスガ、從來ノ商工組合中央會、今
度ノ協同組合中央會デアリマスガ、是
ガ主體トナツテ自治的ニ色々ナ仕事ヲ
委任サレルヤウナ場合ガ多イト思ヒマ
ス、今後此ノ協同組合中央會ニ對スル
助成方法如何、此ノ三點ヲ伺ツテ、具
體的事項ニ對スル質疑ヲ終リタイト思
ヒマス、其ノ點ダケ御伺ヒ致シマス

○小出政府委員 第二十一條ニ於キマ
シテ、組合ノ吸收合併ノ場合デアリマ
スガ、此ノ場合ニ於キマシテモ出資一
口ノ金額ハ均一デナケレバナラナイカ
ト云フ問題デアリマス、ソレハ御話ノ
通り、組合ノ吸收合併ノ場合ニ於キマ
シテモ、出資一口ノ金額ハ均一ヲ要ス
ルト云フ原則ニ變リハナイノデアリマ
ス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、具體的
ニハ出資一口ノ金額ノ減少ト云フ事態
ガ分合的ニ起ツテ來ル譯デゴザイマス
ガ、之ニ付キマシテハ、其ノ場合ノ債
權者ヲ保護スル規定トシマシテ、特ニ
第五十五條ノ第二項ニ於キマシテ、第
四十四條及第四十五條ノ規定は、商工
協同組合ノ合併ノ場合にこれを準用
するト云フ規定ヲ設ケマシテ、即
チ出資一口ノ金額ノ減少ノ場合ノ
手續ヲ準用致シマシテ、債權者ノ保
護ヲ圖ツテ居ル譯デゴザイマス、ソ
レカラ次ニ第七條ノ資格ノ點デゴザイ
マスルガ、未成年者、禁治產者、或ハ
妻、外國人ト云フ者ガ組合員トナレ
ルカドウカト云フ風ナ問題、或ハソレ
ノ者ヲ除外スルヤウナ規定ノ規定ガ出
來ルカドウカ、是ハ有效デアルカドウ
カト云フ御尋ネデゴザイマスガ、禁治
產ニ付キマシテハ、禁治產ハ當然脫退
ノ理由ニナツテ居リマス關係上、禁治
產者ハ組合員ニナルコトハ出來ナイト
解釋シナケレバナリマセヌ、併シナガ
ラ、未成年者、妻、外國人ト云フモノ
ガ、自分事業ヲ行ツテ居リマス限リ
ハ、ソレハ組合員トナルコトガ勿論出
來ル譯デゴザイマス、ソコデ、若シソ
レ等ノ人達ヲ定款ノ規定デ以テ、特ニ
未成年者ヲ除外スルコト、或ハ妻ヲ除
外スルコト云フ風ナコトヲ書キマシタ場
合ニ、ソレガ有效カ無効カト云フコト
ニナリマス、ソレハ無効デハナイノ
デアリマシテ、サウ云フ規定モ出來ル
譯デアリマス、併シナガラ、是ハ多ク
ノ場合ニ於キマシテ甚ダ適當デナイ規
定ニナル場合ガ多カラウト思ヒマスノ
デ、サウ云フ場合ニハ具體的ナ問題ト
シテ、適當カ適當デナイカト云フコト
ヲ能ク判斷シテ參リタイト考ヘテ居リ
マス

○早稲田委員 長時間ニ互ツテ極メテ
懇切丁寧ナ御説明ヲ戴キマシテ、深ク感
謝致シマス、御説明ノ線ニ沿ツテ、今
後之方運籌ヲ圓滑ニサシメルヤウ
ニ、私共モ善處スルニ大イニ得ル所ガ
アツタゴトヲ有難ク存ジマス

○橋井政府委員 經濟安定ニ付キマシ
テ、特ニ經濟道義ノ昂揚、商工道義ノ
復元ト云フ精神面ノ考慮カ重要デア
ル御指摘ニナリマシタコトハ、洵ニ御
尤モト存ズルノデアリマス、此ノ點ニ
付キマシテハ、各般ノ經濟政策ヲ行ヒ
マス場合ニ、種々考慮ニ加ヘツ、アリ
マス、共ニ、元來ハ國民ノ道義全般
ノ問題、社會秩序ノ問題デゴザイマス
ノデ、併セテ政府全體トシテモ十分ニ
考慮シテ、又凡ル努力ヲ盡シテ行ク
ベキモノト考ヘテ居ル譯デアリマス、
例ヘテ言ヒマス、閣下問題ニ致シマ
シテモ、第一ハ經濟統制ノヤリ方ニ
付キマシテ、閣下スル人ガ得ツシ、信
用ノアル關係業者ガ手ヲ引イテ居ラ
ナケレバナラヌト云フヤウナヤリ方ヲ探
ラナイ經濟統制ヲ致スト同時ニ、反面
ニ於キマシテハ、警察等ニ於キマシテ、
又出來レバ社會全體ノ空氣ト致シマシ
テ、斯カル惡德ナル業者ヲ根絶スル方
向ニ向クヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘル
譯デアリマス、其ノ他工業生産ニ付キ
マシテモ、例ヘバ物ノ品質ニ致シマシ
テモ、亦價格其ノ他ニ付キマシテモ、
納期其ノ他ニ付キマシテモ、凡ル方

面道義ノ問題ガゴザイマスガ、要ハ、正直ナ者ガ決シテ損ヲシナイ、信用ノアル業者ガ眞面目ニヤツテ行ケバ、必ズ原材料モ手ニ入ルシ、又十分ノ販路モ得ラレシ、正シイ利得ガ獲得出來ル、是ガ根本ト考ヘマシテ、今後凡ニ各方面ノ經濟ノ復興開發ヲ考ヘル、又各般ノ經濟部門ノ運營ヲ救シマス場合ニ、サウ云フ趣旨デ經濟ノ計畫ナリ政策ナリヲ、關係各省ト協力シテ立テテ、又必ズ實行シテ行キタイ、斯ウ云フ心組ミデ居ル譯デナリマス

○早稻田委員 只今ノ御答ヘハ抽象的デ、私ハ満足ヲスルコトハ出來マセヌガ、サウ望ムノガ敗戦ノ今日無理カモ知レマセヌ、併シ折角經濟安定本部ガ出來タ以上ハ、一ツガツチリ尻ヲ落著ケテ、サウシテ先程申シマシヤウニ、正直ナ眞面目ナ商工業人ガ活躍出來ルヤウナ施策ヲ、具體的ニ一日モ早く作ラレマシテ、サウシテ經濟界ノ安定ヲ圖ルヤウニシテ欲シト私ハ思ヒマス、別ニ大キナ問題ヲ望ム譯デハアリマス、手近ナ問題デ澤山アリマス、具體的ニ例ヲ舉ゲルコトハ時間ガ掛リマスノデ省略シマスガ、金融問題ニシテモ、住宅ノ問題、店舗ノ問題、或ハ商取引ノ關係ニ付キマシテモ、政府ガ示唆シ打ツ手ハ澤山アル譯デスカラ、是等ヲ一々緊急ニ確立願ヒタイ、政府ガ垂範サレルナラバ、眞面目ナ商人ガ喜ンデ協力ヲ惜マナイト私ハ信ジテ居リマス、ドウカサウ云フ點ヲ御考慮願ヒタイと思ヒマス、ソレカラモウ一ツ序ニ伺ツテ置キタイと思ヒマス、ハ、我が國ノ將來ハ、好ムト好マナイトニ拘ラズ中小商工業ヲ中心トシテ推進センケレバナラス事態ニナツテ居リ、是ハ内外一般ノ齊シク認メテ居ル

所デアリマスガ、政府ハ屢々之ヲ聲明シテ居ナガラ、ドウモ其ノ施策ノ跡ヲ見マス、戰時中ト寸毫モ變ツテ居ナイヤウナ面ガアリマス、例ヘテ申シマスナラバ、今尙ホ、經濟安定本部ニ於テモ、或ハ商工業ニ於テモ、大工場、大企業中心主義ヲ繼續シテ居ルヤウナ面ガ多ク、デアリマス、時間ハ解體サレ、サウシテ大工場主義、大資本主義ト云フモノハ、拂拭サレツ、アル折柄、私ハ非常ニ遺憾ヲ思フ、今後經濟安定本部ニ於テハ、サウシテ從來ノ考ヘ方ヲサツバリ拂拭シテ、眞ニ中小商工業ヲ中心トシテ施策ヲ立テテ貰ヒタイ、口デ言フデハ何ニモナラスト思ヒマス、口デハ立派ニ、今後ハ中小商工業ヲ基礎トセンケレバナラスト云ツテ居ナガラ、實際ヤツテ居ルコトハ大工場、大資本ヲ對象トシタコトガ多ク、斯ウ云フ感ジヲ抱ケ者ハ獨リ私ノミデハナイト思ヒマス、ドウカ一ツ今後ノ施策ヲナサル場合ニハ、サウ云フ點ニ十分御留意ヲ戴キタイト存ジマス、之ニ對シテ御所見ヲ伺ツテ置クコトニシタイと思ヒマス

○橋井政府委員 我が國經濟ノ將來ノ中樞ガ、中小商工業ニ重點ヲ置ク形デ必ズ進ンデ行クコト云フコトニ付キマシテハ、御指摘ノ通りデゴザイマス、實ハ既ニ中小工業等ニ付キマシテハ、關係各省、又民間ノ有識經驗者ヲ以テ組織致シマス内部ノ協議會ヲ作りマシテ、種々具體的ナ政策ノ検討ニ入ツテ居リマス、其ノ場合ニ、從來ニ於キマスヤウニ、大工業ハ儼然トシテ存在シ、ソレハ日本ノ産業ノ中心デアル、中小工業ノ對策ハ寧ろ社會的ナ見地デアルトカ、或ハ輸出工業ニ對スル見地デケカラ考ヘテ行クノデアルト云フヤ

ウナ、一部ニ於テアリマシタヤウナ、偏ツタ考ヘ方ハ致シテ行カナイ積リデアリマス、只今ノ所其ノヤウニ動イテ居リマス、今後ニ於ケル中小商工業ノアリ方ヲ見マス、當然大工業、殊ニ大資本ハ解體致シマス、又大工場ノ相當多クノ部分ガ賠償デ撤去致サレマス、其ノ後デ中小商工業ガシツカリヤツテ行カナケレバナラナイノデ、例ヘバ、ソコデ扱ツテ行ク重要ナ品目別ニ付テ、技術ノ問題、又勞働ノ問題、品目別ノ品質ナリ、販路ナリノ問題、又資金ノ問題、是等ノ業者ノ組織ノ問題等ノ全面ヲ通ジマシテ、思ヒ切ツタ施策ヲ打ツテ行ク、サウ云フ方向ヲ以テマシテ、只今折角具體策ヲ検討ヲ致シテ居リマス、又逐次決マリマシタモノハ、全體ガ出來ルノヲ待ツト云フヤウナ生溫イ考ヘハ致シマセヌデ、ドンドン實行ニ移シタイ、斯ウ云フ方向デアリマス

○早稻田委員 只今ノ御説明ヲ承ツテ大變意ヲ強ウスル次第デアリマス、尙ホ商工大臣並ニ商工省ノ工務局長ニ、陶磁器産業ノ復興、陶磁器試驗場ノ擴充等ニ付テ承リタイト存ジマスガ、オ顔モ見エナイシ、時間モ參リマシタノデ、本日ハ是デ打切ツテ、尙ホ此ノ問題ニ付テハ明日又發言ヲ御許シ願フヤウニ致シタイと思ヒマス

○加藤(一)委員長代理 早稻田君ニ御相談致シマスガ、明日午前中ニ終リタイノデスガ、アトマダ六人質問者ガ居ルノデス、本日デ質問ヲ打切ル譯ニ參リマセヌカ

○早稻田委員 陶磁器關係ハドナタモ御存ジナイ方バカリデゴザイマスガ、ドウデゴザイマスガ、陶磁器産業ノ復興ニ付テ全面的ニ——是ハ加藤サンモ

御存ジノヤウニ、私共地元ノ生命ダカラ、眞劍ニ承リタイと思ツテ居ルノデスガ

○橋井政府委員 陶磁器關係デシタラ私モ可ナリ知ツテ居リマスガ

○早稻田委員 實ハ廣ク承リタイノデスガ、ソレデハ簡單ニ濟マセタイト思ヒマス、陶磁器産業ノ復興ニ付テデゴザイマスガ、戰前ニ於ケマシテハ、我が國輸出品ノ王座ヲ占メマシテ、世界市場ニ活躍ヲ致シテ居リマシタ陶磁器デアリマスガ、戰後ニ於ケマシテハ食糧ノ見返リ物資デアルトカ、或ハ復興用ノ建設資材デアルトカ、戰災者及ビ引揚者用ノ生活用品デアルトカ云フヤウナ、緊急不可缺ナ物ヲ造リマシテ、國內需要ヲ充シテ居ル譯デゴザイマス、併シ戰中ニ、此ノ陶磁器産業ハ平和産業デアルト云フノデ、其ノ一部ハ滿洲或ハ支那ニ移駐サレマシタ、殘餘ノ分ニ對シテハ軍需産業ニ變革ノ餘儀ナイ次第ニナリマシテ、殆ド壊滅狀態ニアル譯デアリマス、併シ只今申上ゲタヤウニ、且返リ物資トシテモ、或ハ國內需要ノ面カラ考ヘマシテモ、陶磁器産業ノ復興ガ必要デアルトハ言フ俟タヌノデアリマス、商工省ニ於テモ、今般省內ニ營業課ヲ設置セシレマシテ、營業課ヲ樹立サレルコトニナツタ熱意ハ大ニ多ク致シマス、併シ形デケハハ何ニモナラヌ譯デアリマシテ、眞ニ無業ノ發達ニ貢獻願ハナケレバナラス存ジテ居リマス、此ノ復興ニ付テハ、先ヅ生地ノ製造工場或ハ原料其ノ他大體地元——國內デ間ニ合フモノバカリデアリマス、此ノ要ハ石炭ガ足りナイト云フコトデ、此ノ問題ハ難カシイ問題デアリマス、一時ニ澤山戴キタイトハ申シマセヌガ、地元デ間ニ合フ亞炭デアルトカ、或ハ

木材燃料、竹材ト云ツタヤウナモノノデ間ニ合セテハ居リマスガ、尙ホ若干ノ石炭ヲ必要トシ、副資材ヲ必要ト致シテ居リマス、斯ウ云フモノノ對シテモ、既ニ日歸其ノ他カラソレハ、商工省ヘ申請ヲシテ居ルヤウデアリマス、併シ遅々トシテ御返事モナケレバ、又ハツキリシテ施策モ與ヘテ戴ケナイ、斯ウ云フ現狀デアリマスガ、此ノ陶磁器業界ノ高度ニ發達セシムル當局ノ所見如何、斯ウ云フ點ヲ伺ツテ置キマス、ソレカラ陶磁器指導機關トシテノ陶磁器試驗所ト云フノアリマス、此ノ試驗所ハ現在京都ニアリマシテ、愛知縣ノ瀬戸市ニ支所ガアル譯デアリマスガ、瀬戸物ノ本場デアラル愛知縣、岐阜縣地方ニ此ノ試驗所ヲ置クコトガ妥當デハナイカト考ヘマス、瀬戸ノ試驗所ヲ擴充強化シテ、ソシテ之ヲ獨立シタ試驗所ニスル、斯ウ云フヤウナコトニ地元ノ業者ハ熱望致シテ居リマス、細カイ問題ニ付テハ又日ヲ改メテ伺フコトニシマシテ、本日ハ此ノ二點、即チ陶磁器産業復興ニ付テハ御所見如何、ソレカラ陶磁器試驗所獨立ニ付テハ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○橋井政府委員 ソレデハ安定本部ト致シマシテノ意見ヲ申上ゲマス、我が國輸出品ノ最重要ヲ點ヲ占メテ居リマシタ陶磁器工業ガ、同時ニ見返リ品トシテ以外ニ、復興用ニ、又戰災者、引揚者用、其ノ他ニ非常ニ重要ナ地位ヲ占メテ居リマスコトハ仰セノ通りデゴザイマス、又戰時中是等ノ陶磁器工業ハ、或ハ輸出ガ止マツテ居リ、又國內のニモ民需ガ軍需ニ壓倒サレタ關係デ、本來ノ非常ニ盛ンデアツタ業ヲ失ツテシマツタ遺憾ナ狀態ニナツテ居ルト云フコトモ、御指摘ノ通りデゴザイマス、元

來陶磁器ハ、殆ンド總テガ我が國ノ中
デ出來ル原材料ヲ以テマシテ、勝レタ
我が國ノ技術ヲ以テ外國ニモ雄飛スル
ト云フ本質ヲ持ツテ居ルモノデアリ、
又國民ノ日常生活ノ最も重要ナモノデ
アリマス。コトニ鑑ミマシテ、現下ニ於
ケル復興上最も重要ナモノトシテ考ヘ
ルベキモノノ一ツデアアルコトハ申スマ
デモナイト思フノデアリマス、唯非常
ニ遺憾ナコトハ、原料デアアル、燃料、
御指摘ノアリマシタ石炭ガ、終戰以來
特ニ我が國ニ於テ不足デゴザイマシ
テ、陶磁器ニ「番大事」ナ原料ノ配給ガ、
ソレダケノ重要性ニモ拘ラズ、果今十
分デナイ、此ノ點ニ問題ガアル譯デア
リマス、石炭ノ需給狀況ハ御承知ノ通
リデゴザイマシテ、現在輸送ヲ維持シ、
又缺クベカラザル肥料業デアリマス。ト
カ、或ハ或ル程度ノ對外的負擔デアリ
マス。トカ、其ノ地ノ産業等ニ少シジツ
行クダケデアツテ、何處モ十分デナイ
ト云フノガ實情デゴザイマス、商工省
石炭廳ヲ中心ト致シマシテ、折角努力
ノ結果、又産業關係ノ勞資兩方ノ非常
ナ努力ノ結果、石炭ノ生産ハ御承知ノ
通り近時非常ニ上リツ、アリマス、其
ノ出テ來マス結果ヲ見マス、輸送ノ
面ハマダ「殖サナケレバナリマセヌ
」レドモ、併シ今後ハ産業面ニ對スル
石炭ノ配給ハ、明ルイ將來ヲ見透シテ
宜カラウ、斯ウ思フノデアリマス、其
ノ場合ニ、當然陶磁器ニ對スル石炭ノ
配給ハ、先ヅ見返リ品カラ始マリマシ
テ、逐次復興用又國民生活用等ニ付キ
シテモ、豐カニナルト云フコトヲ私共
期待致シテ居ルノデアリマス、同時ニ
御承知ノ通り、戰前ニ於キマシテハ陶
磁器ノ燃料ト致シマシテハ或ル程度電
氣モ使ヒ、又相當ニ重油ヲ用ヒテ居ツ

タ譯デアリマス、戰爭中重油ガ供給出
來ナカツタ爲ニ、色々苦心ラシテ石炭
系統ニ替ヘタヤウナモノモゴザイマス
ノデ、今後ハ石炭以外ニサウ云フ燃料
ノ供給力ト見合セラ致シマシテ、ヤハ
リ幅ノ廣イ熱源ヲ考慮スルコトモ必要
デハナイカト考ヘラレマシテ、ソレ等
ノ點モ燃料ノ供給計畫ト併セマシテ、
考究シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居
ル譯デゴザイマス

次ニ陶磁器試驗所デゴザイマスガ、
京都ニアリマス他ニ、瀬戶物ノ重點デ
アル瀬戶ニ御承知ノ通り支所ガゴザイ
マシテ、過去十何年ニ互リマシテ、非
常ニ業績ヲ擧ゲテ參ツテ來タ譯デゴザ
イマスガ、愛知、岐阜、即チ中部日本
ニ於ケル最大ノ陶磁器生産地ニ於キマ
シテ、更ニ基礎ヲ固メタ試驗所ガ必
要デアルト云フ御趣旨ハ、洵ニ御尤モ
ト存ジマス、唯國家ノ經費ノ關係、其
ノ他全體のナ見地モゴザイマスノデ、
ソレ等ノ點ヲ能ク見合致シマシテ、御
質問ノ御趣旨ヲ考究致シタイ、斯ウ考
ヘテ居ル譯デゴザイマス、以上簡單ニ
御答ヘ致シマス

○早稻田委員 陶磁器ノ特殊性ニ付
テ、非常ニ認識ノアラセラレル含ミノ
アル御答辭ヲ戴キマシテ、感謝致シテ
居リマス、折角今後陶磁器産業ノ開發
ニ付テ、熱意ヲ持ツテ御指導ト御善處
アラシコトヲ只管御願ヒ致シマシテ、
私ノ質問ヲ打切りマス

○加藤(一)委員長代理 本日ハ是ニテ
散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開
會致シマス

午後五時十一分散會

昭和二十一年十一月十九日印刷

昭和二十一年十一月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局